

毛呂山町  
男女共同参画に関する  
アンケート調査  
集計結果報告書

平成27年9月  
毛 呂 山 町



# 毛呂山町男女共同参画に関するアンケート調査集計結果報告書

## <目次>

アンケート概要 .....	1
毛呂山町男女共同参画に関するアンケート調査結果概要 .....	3
(1) 調査の目的.....	3
(2) 調査実施期間.....	3
(3) 調査実施対象者.....	3
(4) 調査票の配布・回収方法.....	3
(5) 調査票の回収数及び有効回収率.....	3
(6) 報告書を見る際の注意事項.....	3
住民アンケート集計結果 .....	5
【回答者属性】 .....	6
【1 男女平等意識について】 .....	12
【2 家庭生活について】 .....	15
【3 就業について】 .....	20
【4 社会参加について】 .....	24
【5 配偶者などに対する暴力について】 .....	30
【6 町の男女共同参画の推進に対する施策について】 .....	35
中学生アンケート集計結果 .....	45
住民アンケートクロス集計結果 .....	55
【1 男女平等意識について】 .....	56
【2 家庭生活について】 .....	58
【3 就業について】 .....	60
【4 社会参加について】 .....	62
【5 配偶者などに対する暴力について】 .....	68
【6 町の男女共同参画の推進に対する施策について】 .....	73
中学生アンケートクロス集計結果 .....	79



## アンケート概要





## ■毛呂山町男女共同参画に関するアンケート調査結果概要

### (1) 調査の目的

この調査は、平成 27 年度に「第三次もろやま男女共同参画プラン」を策定するにあたり、町民の男女共同参画に関する意識の把握及び町が取り組むべき施策の基礎資料とするため、住民意識調査を実施しました。

### (2) 調査実施期間

配布：平成 27 年 5 月 29 日（金）

回収：平成 27 年 6 月 15 日（月）

### (3) 調査実施対象者

・町内在住の 20 歳以上の方を無作為抽出。合計 2,000 名

### (4) 調査票の配布・回収方法

・返信用封筒を同封して発送・郵送回収

### (5) 調査票の回収数及び有効回収率

対象	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回収率
住民	2,000	1,146	57.3%	1,144	57.2%
中学生	286	286	100.0%	283	99.0%

### (6) 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を示しています。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答事業所数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率が 100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。
- クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合があります。





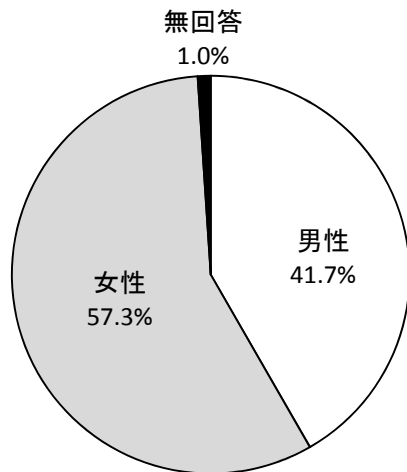
## 住民アンケート集計結果

---

## 【回答者属性】

### 問1 あなたの性別は。

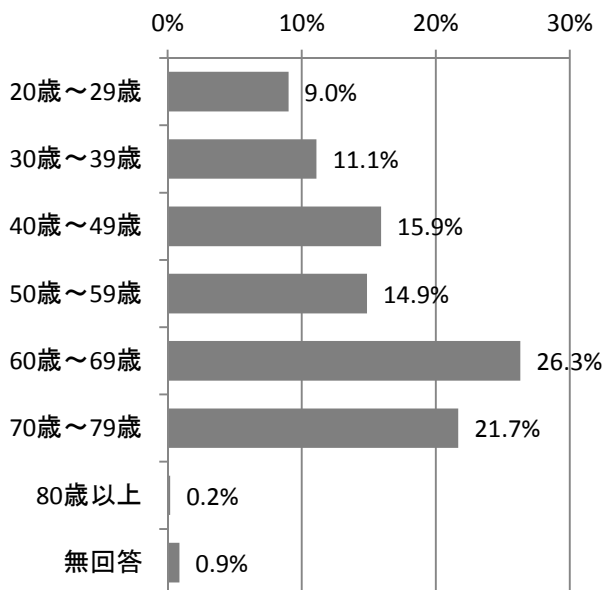
「男性」41.7%、「女性」57.3%と女性がやや上回っています。



項目	人数	%
男性	477	41.7%
女性	655	57.3%
無回答	12	1.0%
合計	1,144	100.0%

### 問2 あなたの年齢は。

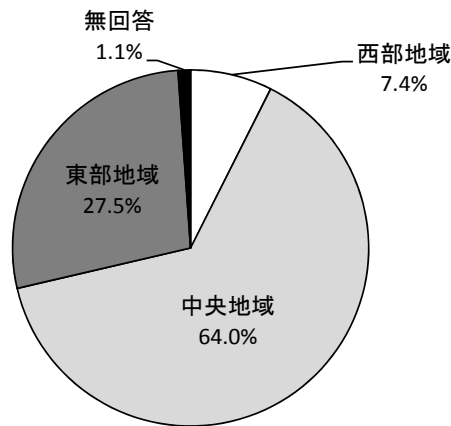
「60歳～69歳」が26.3%と最も多く、次いで「70歳～79歳」21.7%、「40歳～49歳」15.9%、「50歳～59歳」14.9%となっています。



項目	人数	%
20歳～29歳	103	9.0%
30歳～39歳	127	11.1%
40歳～49歳	182	15.9%
50歳～59歳	170	14.9%
60歳～69歳	302	26.3%
70歳～79歳	248	21.7%
80歳以上	2	0.2%
無回答	10	0.9%
合計	1,144	100.0%

**問3 あなたの居住地は。**

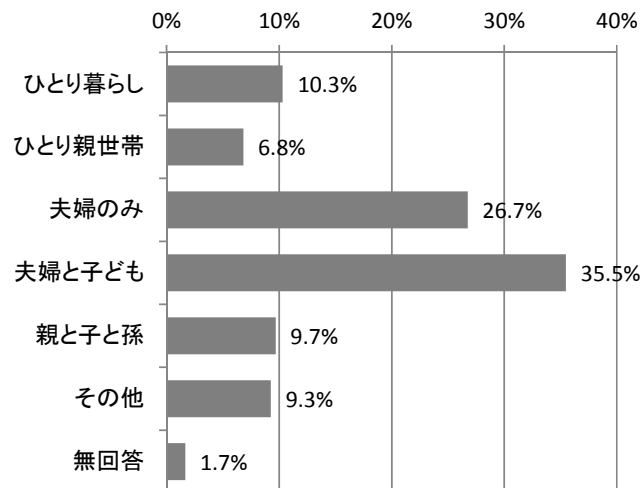
「中央地域」が 64.0%と最も多く、次いで「東部地区」27.5%、「西部地区」7.4%となっています。



項目	人数	%
西部地域	85	7.4%
中央地域	731	64.0%
東部地域	315	27.5%
無回答	13	1.1%
合計	1,144	100.0%

**問4 あなたの世帯構成は。**

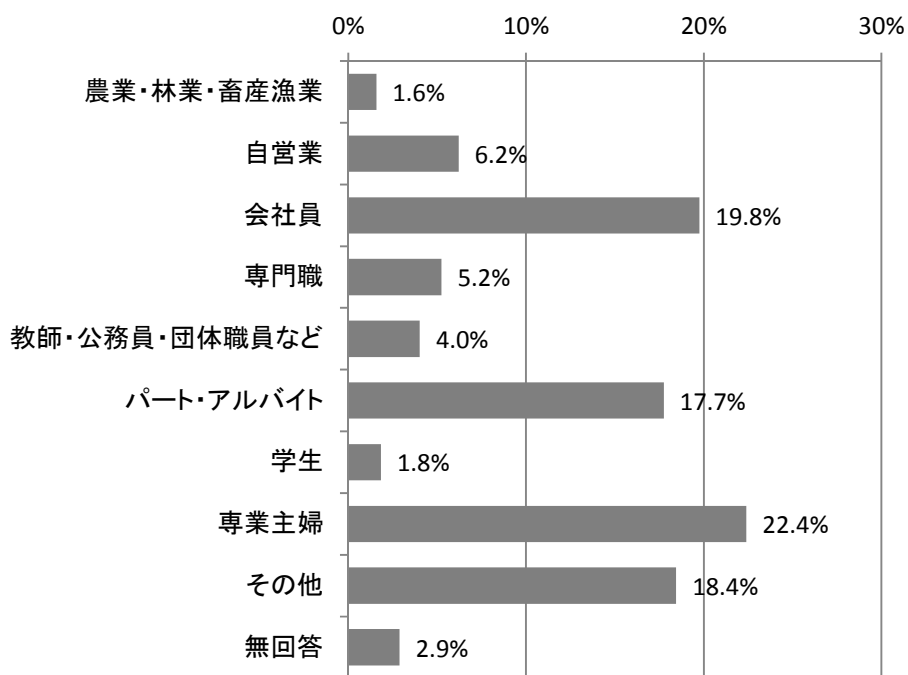
「夫婦と子ども（2世代世帯）」が 35.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ」26.7%、「ひとり暮らし」10.3%となっています。



項目	人数	%
ひとり暮らし	118	10.3%
ひとり親世帯	78	6.8%
夫婦のみ	306	26.7%
夫婦と子ども(2世代世帯)	406	35.5%
親と子と孫(3世代世帯)	111	9.7%
その他	106	9.3%
無回答	19	1.7%
合計	1,144	100.0%

**問5 あなたの職業は。**

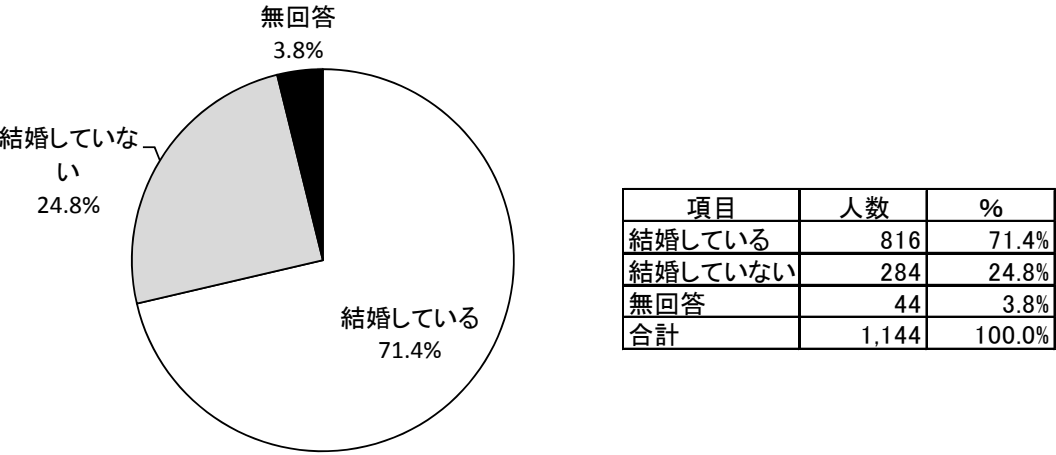
「専業主婦」が 22.4%と最も多く、次いで「会社員（給与所得者）」19.8%、「パート・アルバイト」17.7%となっています。



項目	人数	%
農業・林業・畜産漁業	18	1.6%
自営業(商店・飲食店・企業経営など)	71	6.2%
会社員(給与所得者)	226	19.8%
専門職(医師・看護師・弁護士・会計士・税理士など)	60	5.2%
教師・公務員・団体職員など	46	4.0%
パート・アルバイト	203	17.7%
学生	21	1.8%
専業主婦	255	22.4%
その他	211	18.4%
無回答	33	2.9%
合計	1,144	100.0%

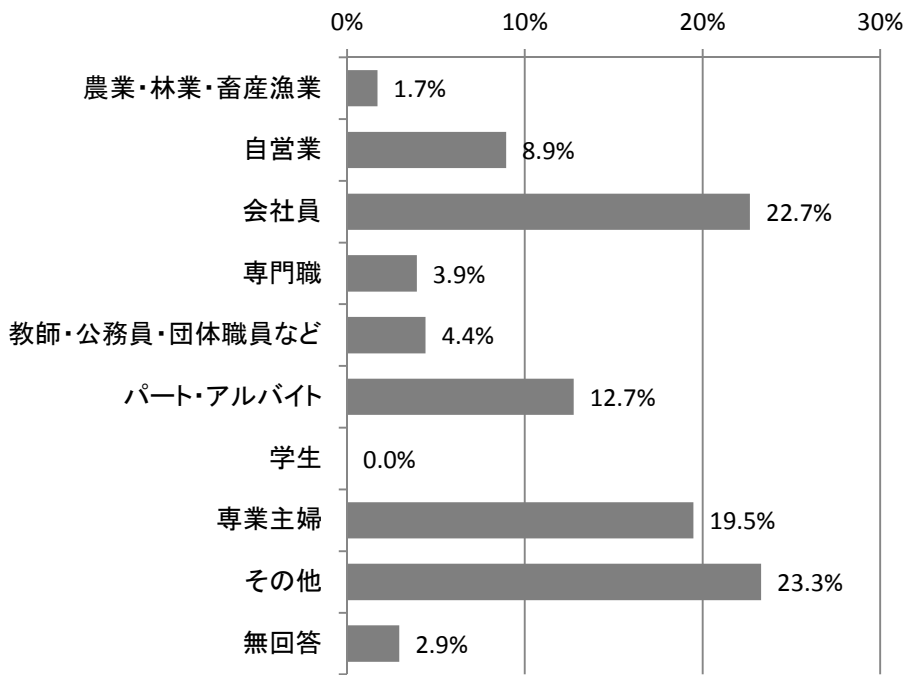
**問6 あなたは結婚していますか。**

「結婚している」が71.4%、「結婚していない」が24.8%と7割以上が結婚をしていると回答しています。



**問6-1 問6で「結婚している」と回答した方にうかがいます。  
配偶者の方の職業は何ですか。**

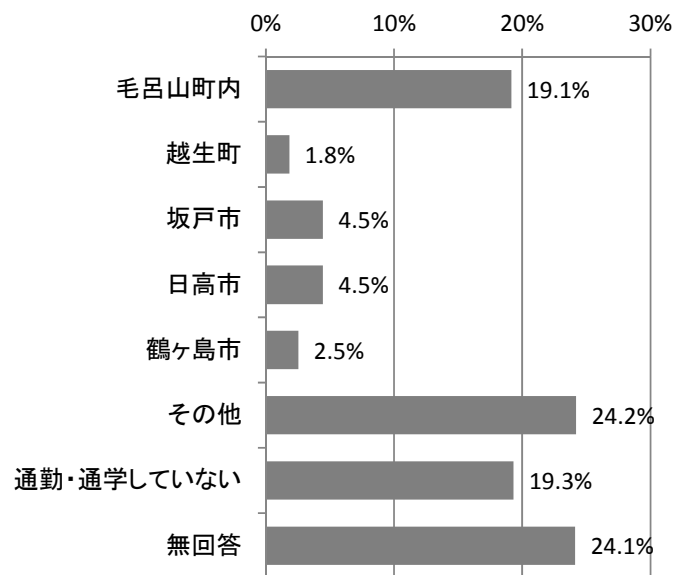
配偶者の職業では、「会社員（給与所得者）」が22.7%と最も多く、次いで「専業主婦」19.5%、「パート・アルバイト」12.7%となっています。



項目	人数	%
農業・林業・畜産漁業	14	1.7%
自営業(商店・飲食店・企業経営など)	73	8.9%
会社員(給与所得者)	185	22.7%
専門職(医師・看護師・弁護士・会計士・税理士など)	32	3.9%
教師・公務員・団体職員など	36	4.4%
パート・アルバイト	104	12.7%
学生	0	0.0%
専業主婦	159	19.5%
その他	189	23.3%
無回答	24	2.9%
回答者数	816	100.0%
非該当	328	
合計	1,144	

**問7 あなたの通勤・通学先はどこですか。**

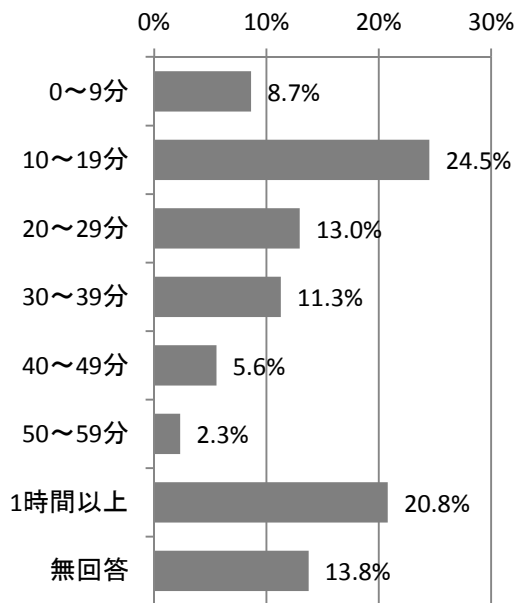
「通勤・通学していない」が19.3%と最も多く、「毛呂山町内」が19.1%となっています。



項目	人数	%
毛呂山町内	219	19.1%
越生町	21	1.8%
坂戸市	51	4.5%
日高市	51	4.5%
鶴ヶ島市	29	2.5%
その他	276	24.2%
通勤・通学していない	221	19.3%
無回答	276	24.1%
合計	1,144	100.0%

**問7-1 「通勤・通学」している方にうかがいます。  
通勤・通学時間はどのくらいですか。**

通勤・通学の時間では「10～19分」が24.5%と最も多く、次いで「1時間以上」が20.8%、「20～29分」13.0%、「30～39分」11.3%となっています。

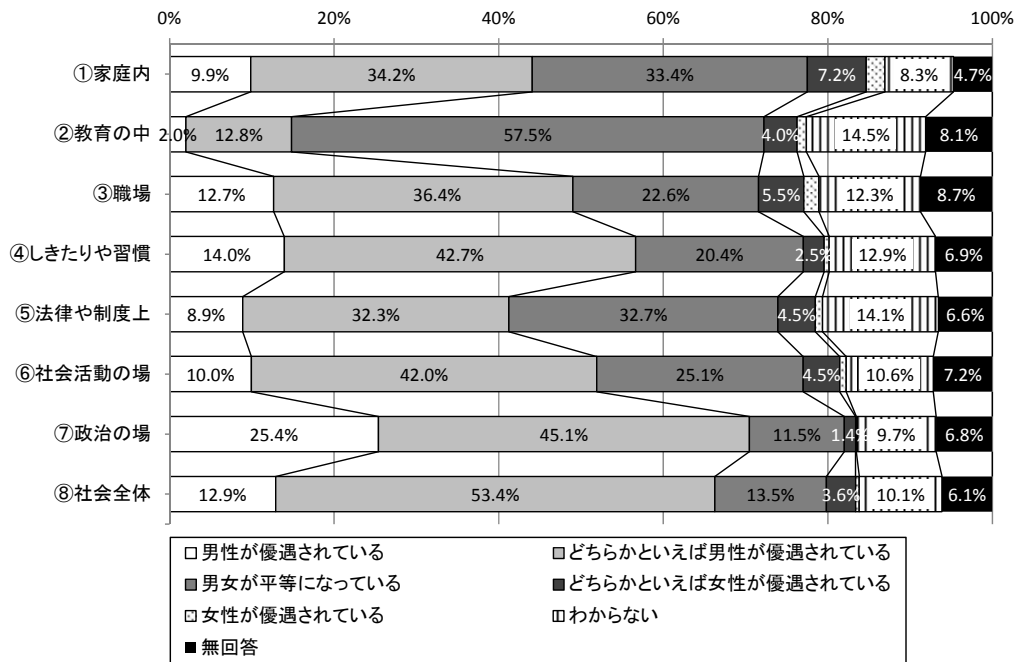


項目	人数	%
0～9分	56	8.7%
10～19分	159	24.5%
20～29分	84	13.0%
30～39分	73	11.3%
40～49分	36	5.6%
50～59分	15	2.3%
1時間以上	135	20.8%
無回答	89	13.8%
回答者数	647	100.0%
非該当	497	
合計	1,144	

## 【1 男女平等意識について】

問8 あなたは、次の分野で男女の地位はどうなっていると思いますか。  
(回答は、それぞれ1つ)

「男性が優遇されている」の項目では、「政治の場」が25.4%と最も多く、「男女が平等になっている」の項目では、「教育の中」が57.5%となっています。「女性が優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせてもすべての項目で1割弱となっています。



	男性が優遇されている	性がどちらか優遇かといえはる男	いる男女が平等になって	性がどちらか優遇かといえはる女	る女性が優遇されてい	わからない	無回答	合計
①家庭内	113	391	383	82	26	95	54	1,144
②教育の中	23	147	657	46	13	165	93	1,144
③職場	145	416	258	63	21	141	100	1,144
④しきたりや習慣	160	489	232	29	7	148	79	1,144
⑤法律や制度上	102	370	374	52	10	161	75	1,144
⑥社会活動の場	114	480	287	51	9	121	82	1,144
⑦政治の場	291	515	132	16	1	111	78	1,144
⑧社会全体	148	610	155	41	5	115	70	1,144

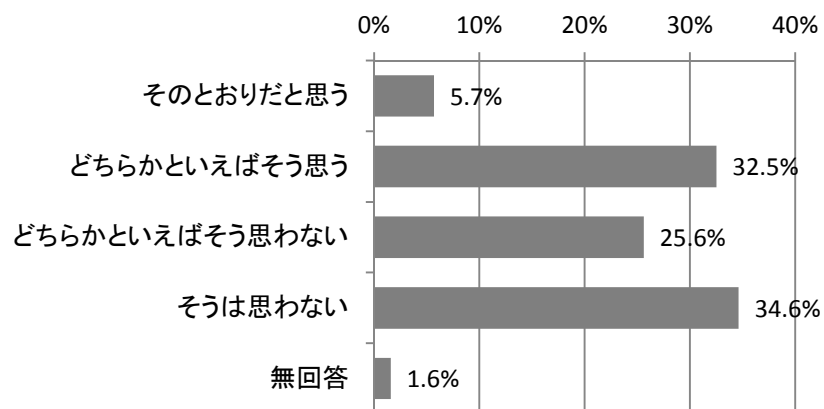
  

①家庭内	9.9%	34.2%	33.4%	7.2%	2.3%	8.3%	4.7%	100.0%
②教育の中	2.0%	12.8%	57.5%	4.0%	1.1%	14.5%	8.1%	100.0%
③職場	12.7%	36.4%	22.6%	5.5%	1.8%	12.3%	8.7%	100.0%
④しきたりや習慣	14.0%	42.7%	20.4%	2.5%	0.6%	12.9%	6.9%	100.0%
⑤法律や制度上	8.9%	32.3%	32.7%	4.5%	0.9%	14.1%	6.6%	100.0%
⑥社会活動の場	10.0%	42.0%	25.1%	4.5%	0.8%	10.6%	7.2%	100.0%
⑦政治の場	25.4%	45.1%	11.5%	1.4%	0.1%	9.7%	6.8%	100.0%
⑧社会全体	12.9%	53.4%	13.5%	3.6%	0.4%	10.1%	6.1%	100.0%



**問9 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方を、どのように思いますか。(回答は、1つ)**

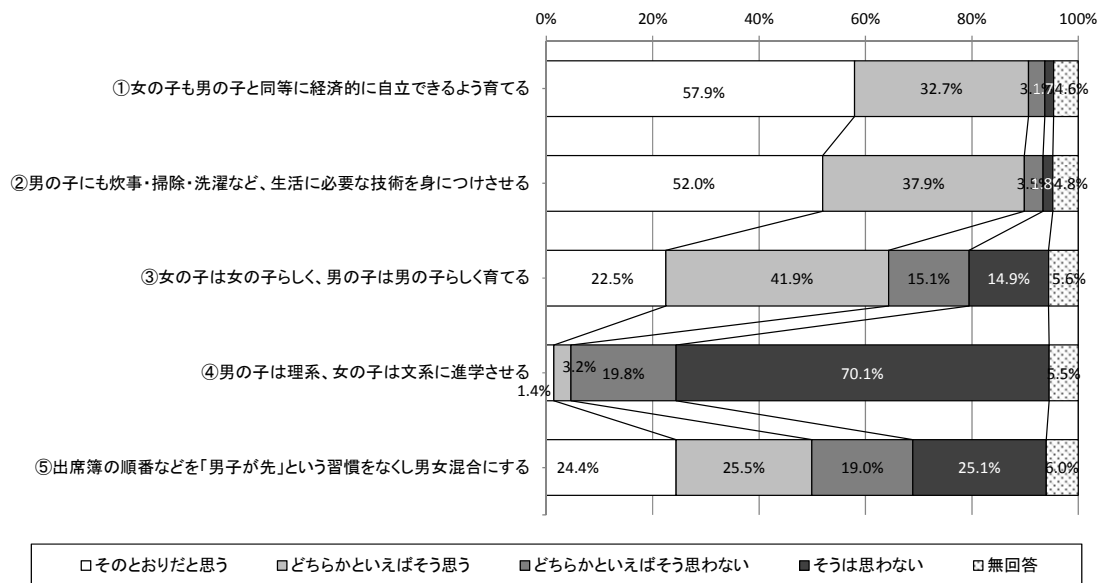
「そうは思わない」が34.6%と最も多く、「どちらかといえばそう思わない」と合わせると6割以上となっています。一方、「そのとおりだと思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると38.2%となっています。



項目	人数	%
そのとおりだと思う	65	5.7%
どちらかといえばそう思う	372	32.5%
どちらかといえばそう思わない	293	25.6%
そうは思わない	396	34.6%
無回答	18	1.6%
合計	1,144	100.0%

**問 10 子どもの教育・しつけや家庭内の男女のあり方について、あなたの考えに近いのはどれですか。(回答は、それぞれ1つ)**

「その通りだと思う」の項目では、「女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる」が57.9%、「男の子にも炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる」が52.0%と多く5割を越えています。一方、「そうは思わない」の項目では、「男の子は理系、女の子は文系に進学させる」が70.1%となっています。



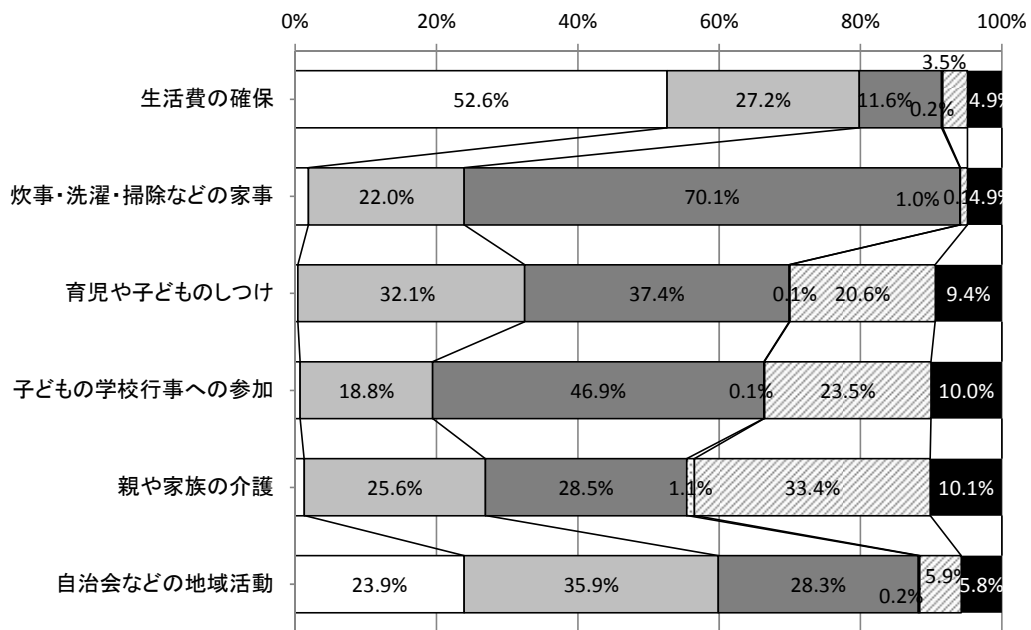
	そのとおりだと思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない	無回答	合計
①女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる	663	374	35	19	53	1,144
②男の子にも炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる	594	434	40	21	55	1,144
③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる	257	479	173	171	64	1,144
④男の子は理系、女の子は文系に進学させる	16	37	226	802	63	1,144
⑤出席簿の順番などを「男子が先」という習慣をなくし男女混合にする	279	292	217	287	69	1,144

①女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう育てる	57.9%	32.7%	3.1%	1.7%	4.6%	100.0%
②男の子にも炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる	52.0%	37.9%	3.5%	1.8%	4.8%	100.0%
③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる	22.5%	41.9%	15.1%	14.9%	5.6%	100.0%
④男の子は理系、女の子は文系に進学させる	1.4%	3.2%	19.8%	70.1%	5.5%	100.0%
⑤出席簿の順番などを「男子が先」という習慣をなくし男女混合にする	24.4%	25.5%	19.0%	25.1%	6.0%	100.0%

## 【2 家庭生活について】

問11 現在、あなたの家庭では次のことを主にどなたが行っていますか。  
(回答は、それぞれ1つ) (一人暮らしの方は問12へ)

「主として女性」の項目では、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が70.1%と最も多くなっています。「主として男性」の項目では、「生活費の確保」が52.6%と最も多く、「共同して分担」の項目では、「自治会などの地域活動」35.9%が最も多くなっています。



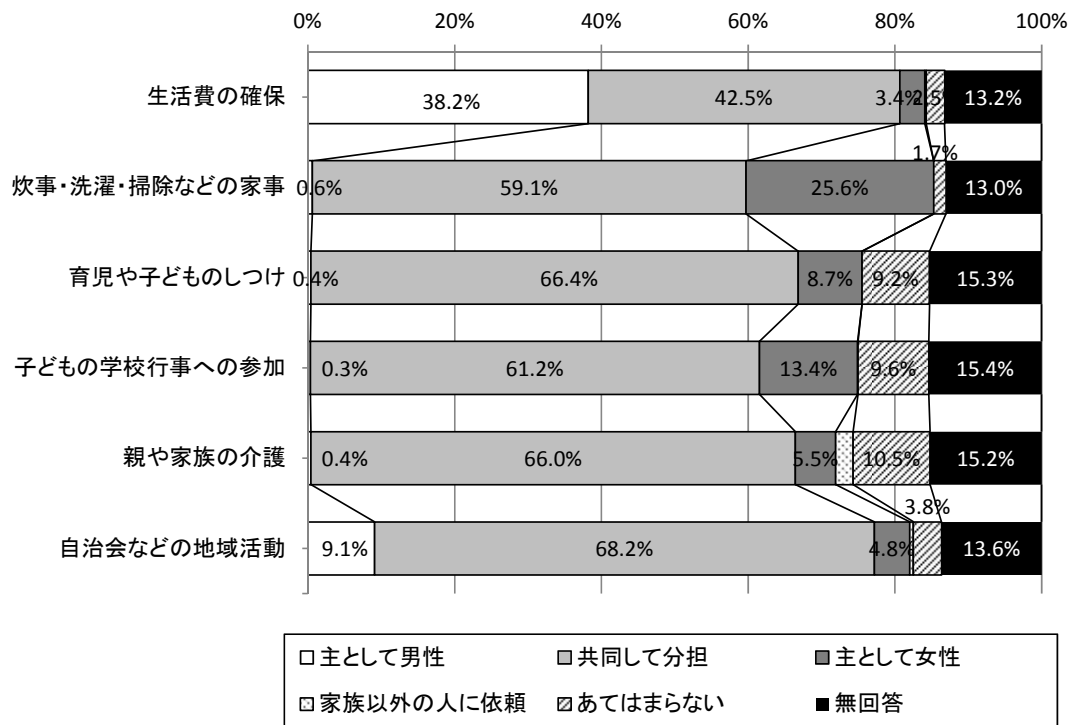
□主として男性 □共同して分担 ■主として女性 ▨家族以外の人に依頼 ▩あてはまらない ■無回答

	主として男性	共同して分担	主として女性	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答	回答者数	非該当	合計
生活費の確保	530	274	117	2	35	49	1,007	137	1,144
炊事・洗濯・掃除などの家事	19	222	706	1	10	49	1,007	137	1,144
育児や子どものしつけ	4	323	377	1	207	95	1,007	137	1,144
子どもの学校行事への参加	7	189	472	1	237	101	1,007	137	1,144
親や家族の介護	13	258	287	11	336	102	1,007	137	1,144
自治会などの地域活動	241	362	285	2	59	58	1,007	137	1,144

生活費の確保	52.6%	27.2%	11.6%	0.2%	3.5%	4.9%	100.0%		
炊事・洗濯・掃除などの家事	1.9%	22.0%	70.1%	0.1%	1.0%	4.9%	100.0%		
育児や子どものしつけ	0.4%	32.1%	37.4%	0.1%	20.6%	9.4%	100.0%		
子どもの学校行事への参加	0.7%	18.8%	46.9%	0.1%	23.5%	10.0%	100.0%		
親や家族の介護	1.3%	25.6%	28.5%	1.1%	33.4%	10.1%	100.0%		
自治会などの地域活動	23.9%	35.9%	28.3%	0.2%	5.9%	5.8%	100.0%		

**問 12 あなたは、家庭での役割について主に男性、女性のどちらが担うほうが良いと思いますか。（回答は、それぞれ1つ）**

「主として男性」の項目では、「生活の確保」が 38.2%となっています。「生活の確保」を除いた項目では、「共同して分担」が5割を越えています。

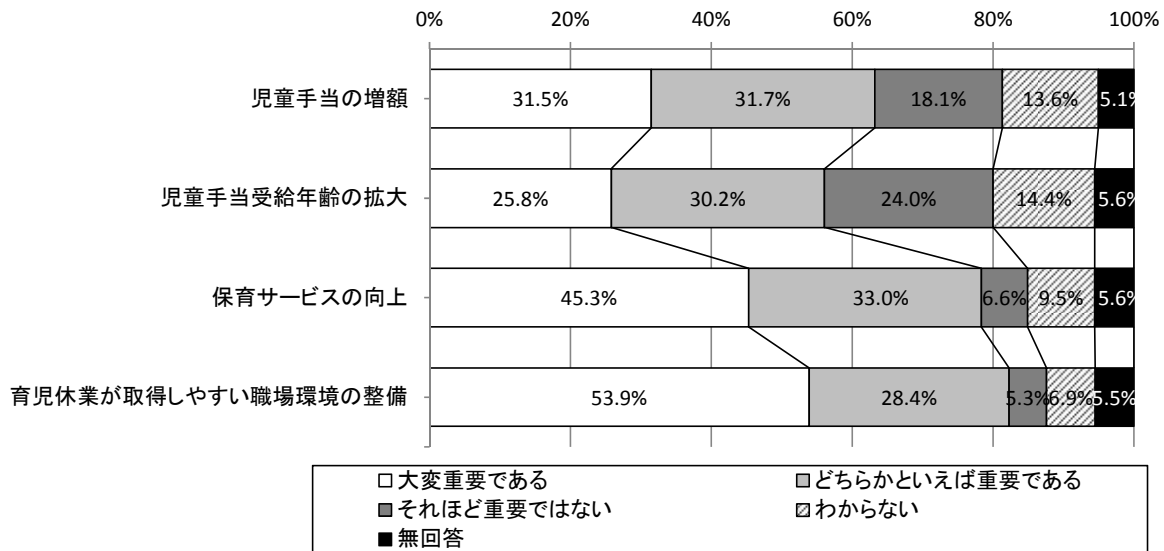


	主として男性	共同して分担	主として女性	家族以外の人に依頼	あてはまらない	無回答	合計
生活費の確保	437	486	39	2	29	151	1,144
炊事・洗濯・掃除などの家事	7	676	293	0	19	149	1,144
育児や子どものしつけ	5	759	100	0	105	175	1,144
子どもの学校行事への参加	4	700	153	1	110	176	1,144
親や家族の介護	5	755	63	27	120	174	1,144
自治会などの地域活動	104	779	55	6	44	156	1,144

生活費の確保	38.2%	42.5%	3.4%	0.2%	2.5%	13.2%	100.0%
炊事・洗濯・掃除などの家事	0.6%	59.1%	25.6%	0.0%	1.7%	13.0%	100.0%
育児や子どものしつけ	0.4%	66.4%	8.7%	0.0%	9.2%	15.3%	100.0%
子どもの学校行事への参加	0.3%	61.2%	13.4%	0.1%	9.6%	15.4%	100.0%
親や家族の介護	0.4%	66.0%	5.5%	2.4%	10.5%	15.2%	100.0%
自治会などの地域活動	9.1%	68.2%	4.8%	0.5%	3.8%	13.6%	100.0%

**問 13 あなたは、子どもを持つ人に対する次の支援策は、どの程度重要だと思いますか。（回答は、それぞれ1つ）**

「大変重要である」の項目では「育児休業が取得しやすい職場環境の整備」が 53.9%と最も多くなっています。「それほど重要ではない」の項目では「児童手当受給年齢の拡大」の 24.0%が多くなっています。

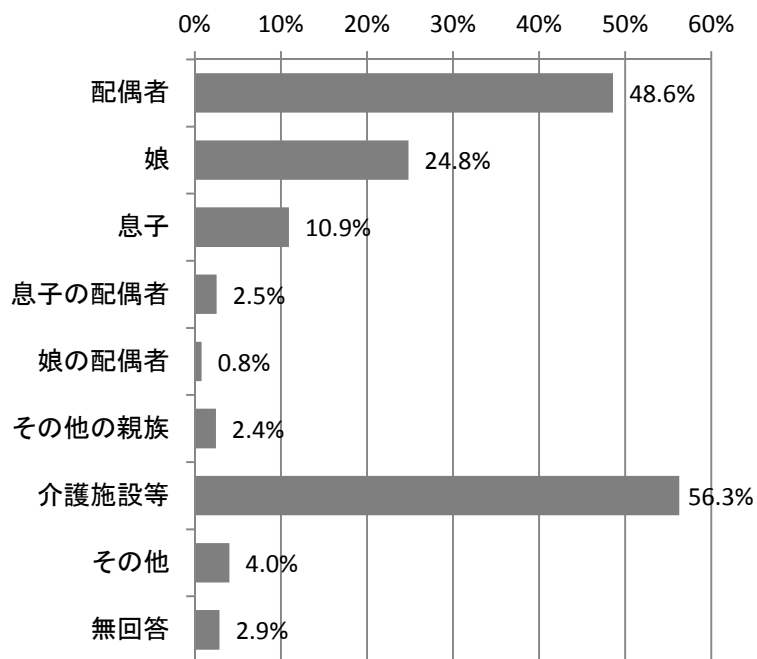


	大変重要である	どちらかといえば重要である	それほど重要ではない	わからない	無回答	合計
児童手当の増額	360	363	207	156	58	1,144
児童手当受給年齢の拡大	295	346	274	165	64	1,144
保育サービスの向上	518	378	75	109	64	1,144
育児休業が取得しやすい職場環境の整備	616	325	61	79	63	1,144

児童手当の増額	31.5%	31.7%	18.1%	13.6%	5.1%	100.0%
児童手当受給年齢の拡大	25.8%	30.2%	24.0%	14.4%	5.6%	100.0%
保育サービスの向上	45.3%	33.0%	6.6%	9.5%	5.6%	100.0%
育児休業が取得しやすい職場環境の整備	53.9%	28.4%	5.3%	6.9%	5.5%	100.0%

問 14 あなたが介護が必要になった場合、どなたに介護してほしいですか。  
(複数回答可)

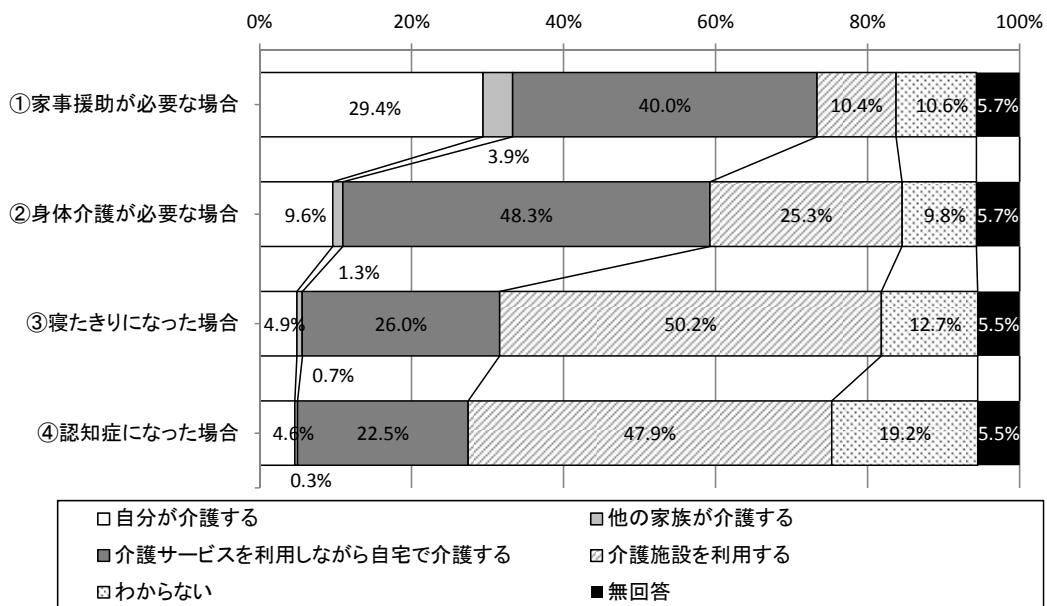
介護してほしい人では「介護施設等」が 56.3%と最も多く、次いで「配偶者」が 48.6%、「娘」 24.8%となっています。



項目	人数	%
配偶者	556	48.6%
娘	284	24.8%
息子	125	10.9%
息子の配偶者	29	2.5%
娘の配偶者	9	0.8%
その他の親族	28	2.4%
介護施設等	644	56.3%
その他	46	4.0%
無回答	33	2.9%
回答者数	1,144	

**問 15 あなたは、家族のなかで介護が必要な人がいる場合、どのように対応しますか。（すでに介護をしている方は、今後の希望として）  
（回答は、それぞれ1つ）**

「介護サービスを利用しながら自宅で介護する」の項目では、「身体介護が必要な場合」48.3%、「家事援助が必要な場合」40.0%で4割を越えています。「自分が介護する」の項目では「家事援助が必要な場合」が29.4%となっています。「介護施設を利用する」の項目では、「寝たきりになった場合」50.2%、「認知症になった場合」47.9%と約5割となっています。

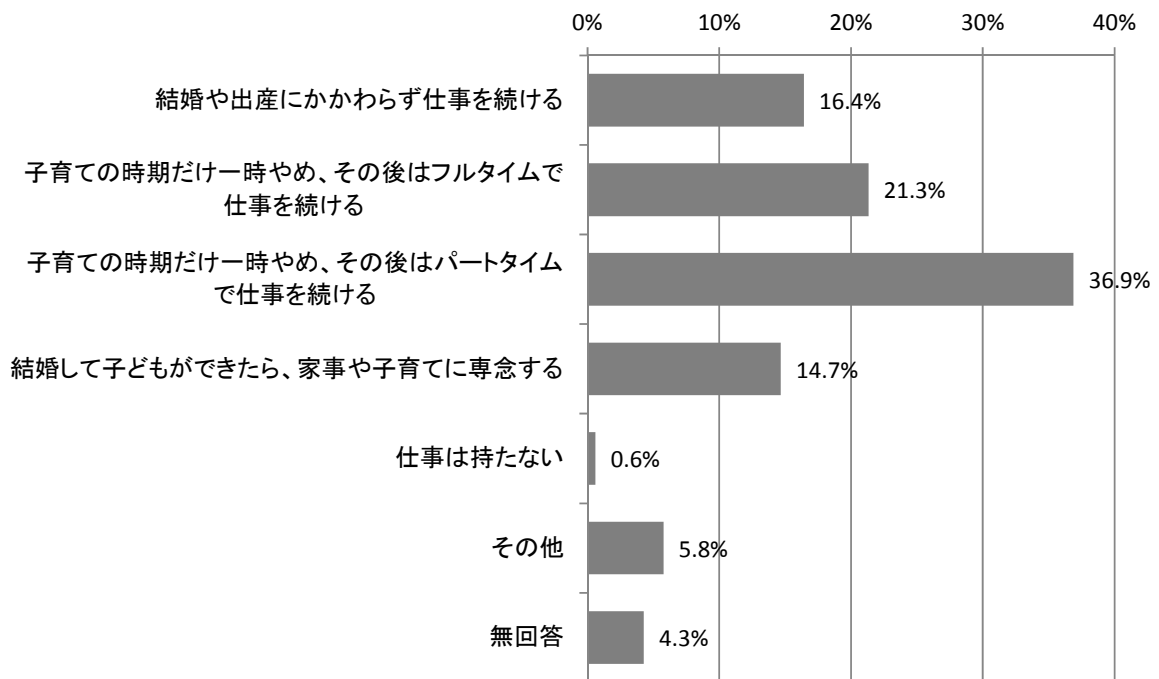


	自分が介護する	他の家族が介護する	介護サービスを利用しながら自宅で介護する	介護施設を利用する	わからない	無回答	合計
①家事援助が必要な場合	336	45	458	119	121	65	1,144
②身体介護が必要な場合	110	15	553	289	112	65	1,144
③寝たきりになった場合	56	8	297	575	145	63	1,144
④認知症になった場合	53	4	257	547	220	63	1,144
①家事援助が必要な場合	29.4%	3.9%	40.0%	10.4%	10.6%	5.7%	100.0%
②身体介護が必要な場合	9.6%	1.3%	48.3%	25.3%	9.8%	5.7%	100.0%
③寝たきりになった場合	4.9%	0.7%	26.0%	50.2%	12.7%	5.5%	100.0%
④認知症になった場合	4.6%	0.3%	22.5%	47.9%	19.2%	5.5%	100.0%

### 【3 就業について】

問 16 あなたは、女性の働きかたについて、理想はどうあるべきだと思いますか。(回答は、1つ)

「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」が 36.9%と最も多く、次いで「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」21.3%、「結婚や出産にかかわらず仕事を続ける」16.4%、「結婚して子どもができれば、家事や子育てに専念する」14.7%となっています。

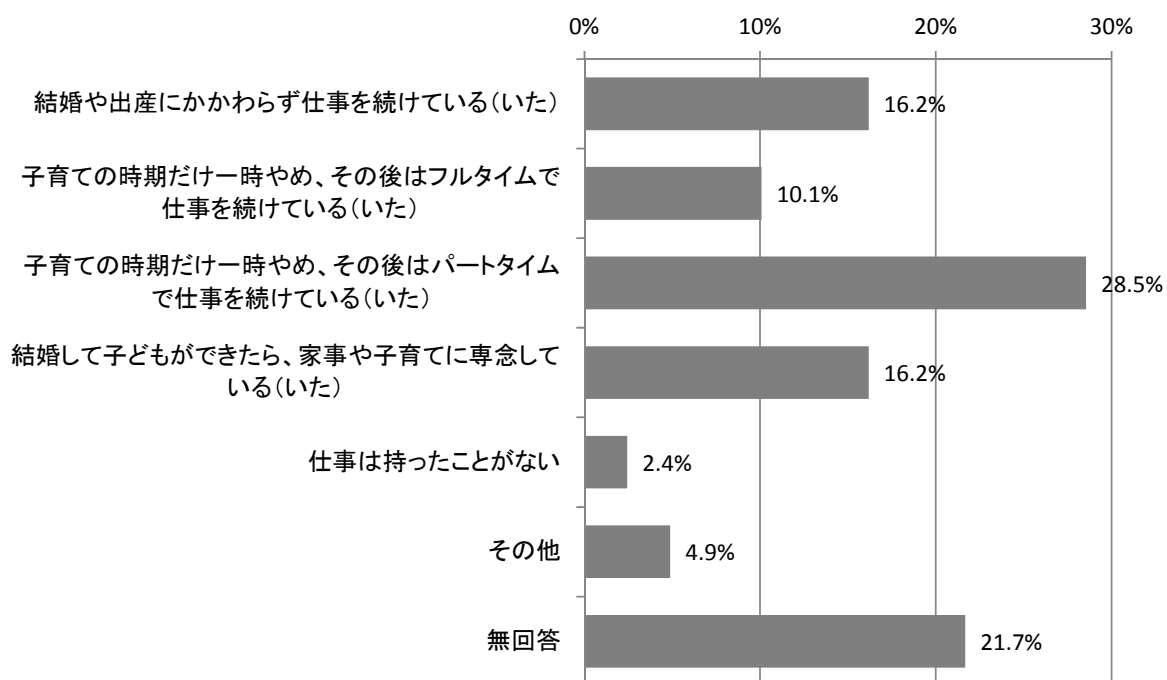


項目	人数	%
結婚や出産にかかわらず仕事を続ける	188	16.4%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける	244	21.3%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける	422	36.9%
結婚して子どもができれば、家事や子育てに専念する	168	14.7%
仕事は持たない	7	0.6%
その他	66	5.8%
無回答	49	4.3%
合計	1,144	100.0%



**問17 あなたの働きかたは、現実にとれにあたりますか。(回答は、1つ)  
(男性や子育て経験のない女性は、問18へ)**

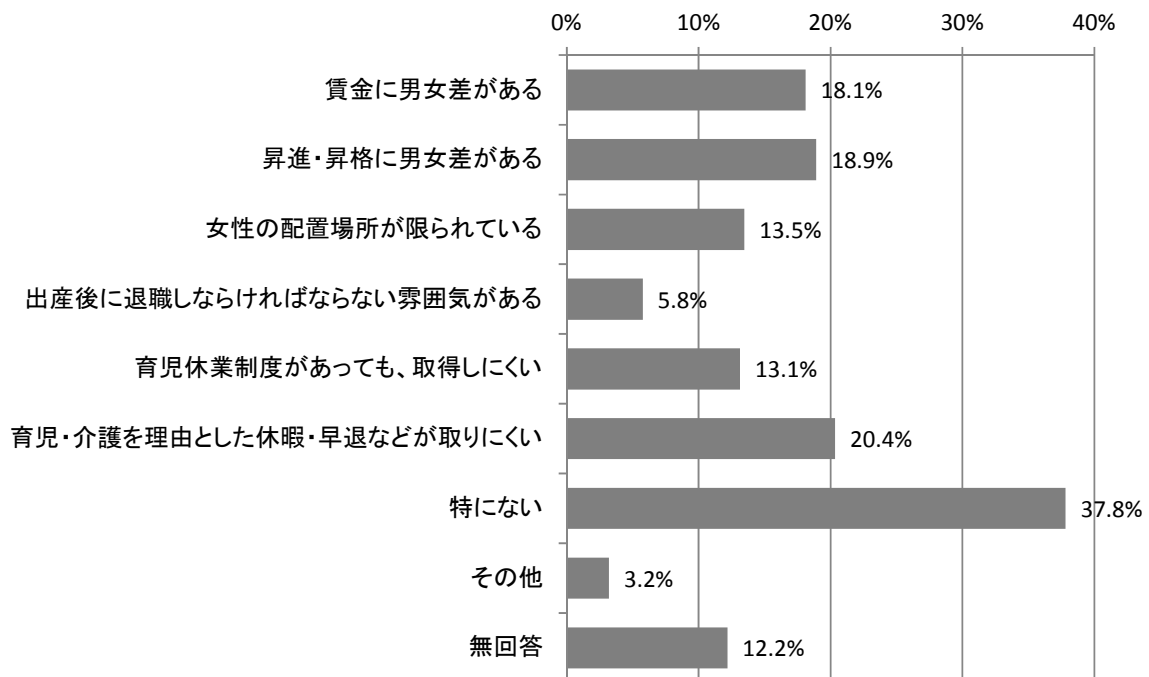
「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている(いた)」が28.5%と最も多く、次いで「結婚や出産にかかわらず仕事をしている(いた)」、「結婚して子どもができたなら、家事や子育てに専念している(いた)」が同数の16.2%となっています。



項目	人数	%
結婚や出産にかかわらず仕事をしている(いた)	106	16.2%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事をしている(いた)	66	10.1%
子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事をしている(いた)	187	28.5%
結婚して子どもができたなら、家事や子育てに専念している(いた)	106	16.2%
仕事は持ったことがない	16	2.4%
その他	32	4.9%
無回答	142	21.7%
回答者数	655	100.0%
非該当	489	
合計	1,144	

**問 18 あなたは、職場で、仕事の内容や待遇において次のようなことがありますか。（複数回答可）（就労していない方は、問19へ）**

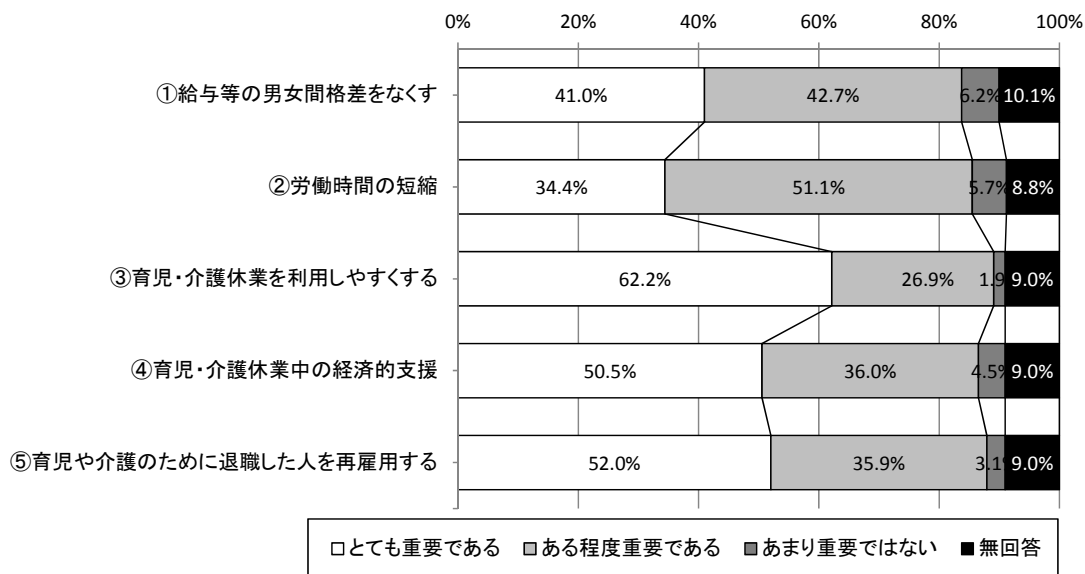
「育児・介護を理由とした休暇・早退などが取りにくい」が20.4%と最も多く、次いで「昇進・昇格に男女差がある」18.9%、「賃金に男女差がある」18.1%となっています。一方「特にない」が約4割となっています。



項目	人数	%
賃金に男女差がある	113	18.1%
昇進・昇格に男女差がある	118	18.9%
女性の配置場所が限られている	84	13.5%
出産後に退職しなければならない雰囲気がある	36	5.8%
育児休業制度があっても、取得しにくい	82	13.1%
育児・介護を理由とした休暇・早退などが取りにくい	127	20.4%
特にない	236	37.8%
その他	20	3.2%
無回答	76	12.2%
回答者数	624	
非該当	520	
合計	1,144	

**問 19 あなたは、男女がともに仕事と家庭を両立していくために、次のような労働環境の整備はどの程度重要だと思いますか。（回答は、それぞれ1つ）**

「とても重要である」の項目では、「育児・介護休業を利用しやすくする」が62.2%と最も多く、すべての項目において「とても重要である」、「ある程度重要である」と合わせると8割以上となっています。一方「あまり重要でない」では、すべての項目も1割以下となっています。



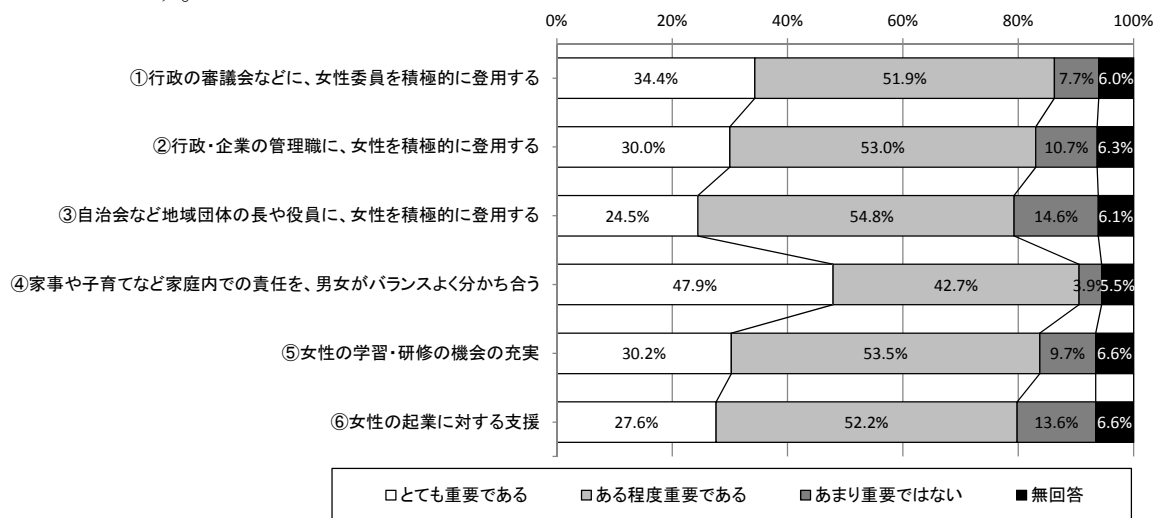
	とても重要である	ある程度重要である	あまり重要ではない	無回答	合計
①給与等の男女間格差をなくす	469	489	71	115	1,144
②労働時間の短縮	394	584	65	101	1,144
③育児・介護休業を利用しやすくする	711	308	22	103	1,144
④育児・介護休業中の経済的支援	578	412	51	103	1,144
⑤育児や介護のために退職した人を再雇用する	595	411	35	103	1,144

①給与等の男女間格差をなくす	41.0%	42.7%	6.2%	10.1%	100.0%
②労働時間の短縮	34.4%	51.1%	5.7%	8.8%	100.0%
③育児・介護休業を利用しやすくする	62.2%	26.9%	1.9%	9.0%	100.0%
④育児・介護休業中の経済的支援	50.5%	36.0%	4.5%	9.0%	100.0%
⑤育児や介護のために退職した人を再雇用する	52.0%	35.9%	3.1%	9.0%	100.0%

## 【4 社会参加について】

問 20 あなたは、方針・政策決定の場に女性の参画をさらに促進するために、次のことはどの程度重要だと思いますか。（回答は、それぞれ1つ）

「とても重要である」の項目では、「家事や子育てなど家庭内での責任を、男女がバランスよく分かち合う」が47.9%と最も多く、すべての項目において「とても重要である」、「ある程度重要である」と合わせると8割以上となっています。一方「あまり重要でない」では、「自治会など地域団体の長や役員に、女性を積極的に登用する」の14.6%が最も多くなっています。

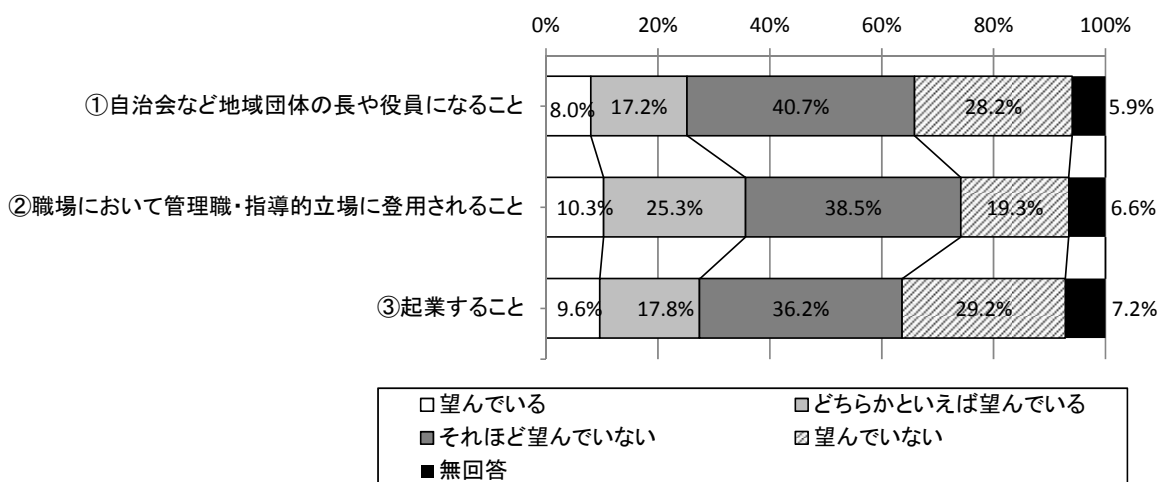


	とても重要である	ある程度重要である	あまり重要でない	無回答	合計
①行政の審議会などに、女性委員を積極的に登用する	393	594	88	69	1,144
②行政・企業の管理職に、女性を積極的に登用する	343	607	122	72	1,144
③自治会など地域団体の長や役員に、女性を積極的に登用する	280	627	167	70	1,144
④家事や子育てなど家庭内での責任を、男女がバランスよく分かち合う	548	488	45	63	1,144
⑤女性の学習・研修の機会の充実	346	612	111	75	1,144
⑥女性の起業に対する支援	316	597	156	75	1,144

①行政の審議会などに、女性委員を積極的に登用する	34.4%	51.9%	7.7%	6.0%	100.0%
②行政・企業の管理職に、女性を積極的に登用する	30.0%	53.0%	10.7%	6.3%	100.0%
③自治会など地域団体の長や役員に、女性を積極的に登用する	24.5%	54.8%	14.6%	6.1%	100.0%
④家事や子育てなど家庭内での責任を、男女がバランスよく分かち合う	47.9%	42.7%	3.9%	5.5%	100.0%
⑤女性の学習・研修の機会の充実	30.2%	53.5%	9.7%	6.6%	100.0%
⑥女性の起業に対する支援	27.6%	52.2%	13.6%	6.6%	100.0%

問 21 あなたは、方針・政策決定の場に女性が参画することについてどのように思いますか。女性のかたは自分自身が参画することについて、男性のかたは配偶者（または家族）が参画することについて回答してください。（回答は、それぞれ1つ）

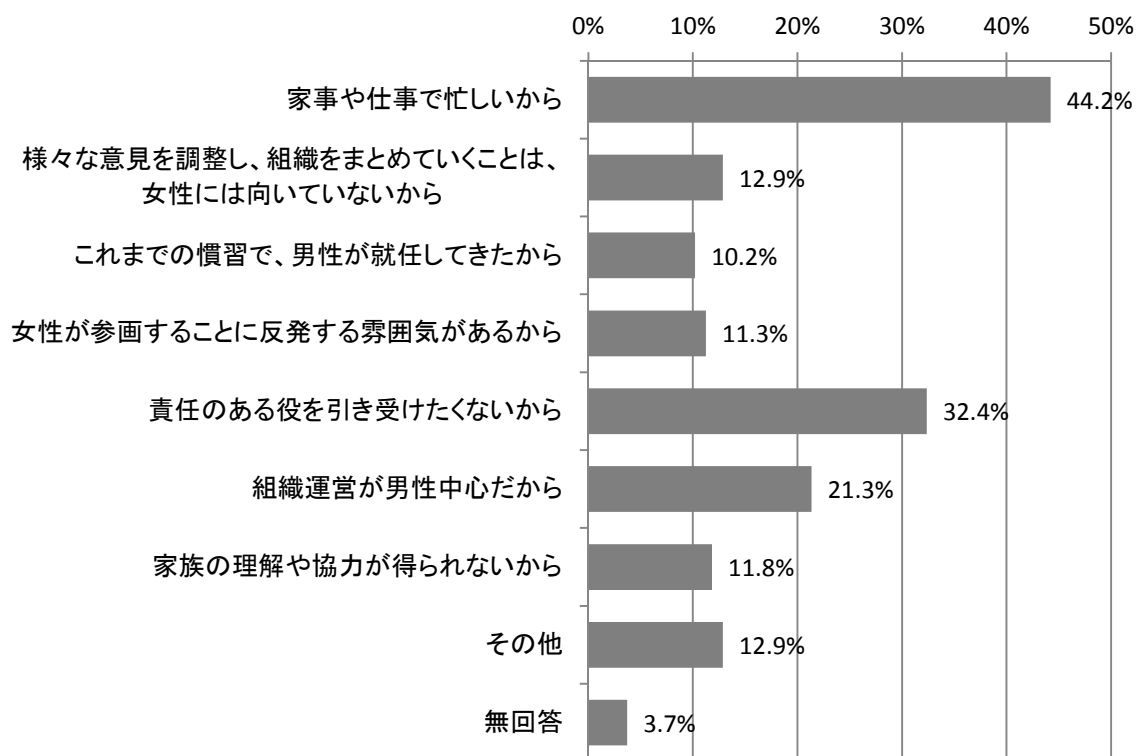
「望んでいる」、「どちらかといえば望んでいる」を合わせた項目では、「職場において管理職・指導的立場に登用されること」が35.6%と最も多く、「望んでいない」、「それほど望んでいない」を合わせた項目では、どの項目も約6割～7割となっています。



	望んでいる	どちらかといえば望んでいる	それほど望んでいない	望んでいない	無回答	合計
①自治会など地域団体の長や役員になること	92	197	464	323	68	1,144
②職場において管理職・指導的立場に登用されること	118	290	440	221	75	1,144
③起業すること	110	204	414	334	82	1,144
①自治会など地域団体の長や役員になること	8.0%	17.2%	40.7%	28.2%	5.9%	100.0%
②職場において管理職・指導的立場に登用されること	10.3%	25.3%	38.5%	19.3%	6.6%	100.0%
③起業すること	9.6%	17.8%	36.2%	29.2%	7.2%	100.0%

問 22 問 21 の設問で1つでも「それほど望んでいない」、「望んでいない」を選んだかたにおたずねします。あなたが、方針・政策決定の場に参画することを望まない理由はなぜですか。(複数回答可)

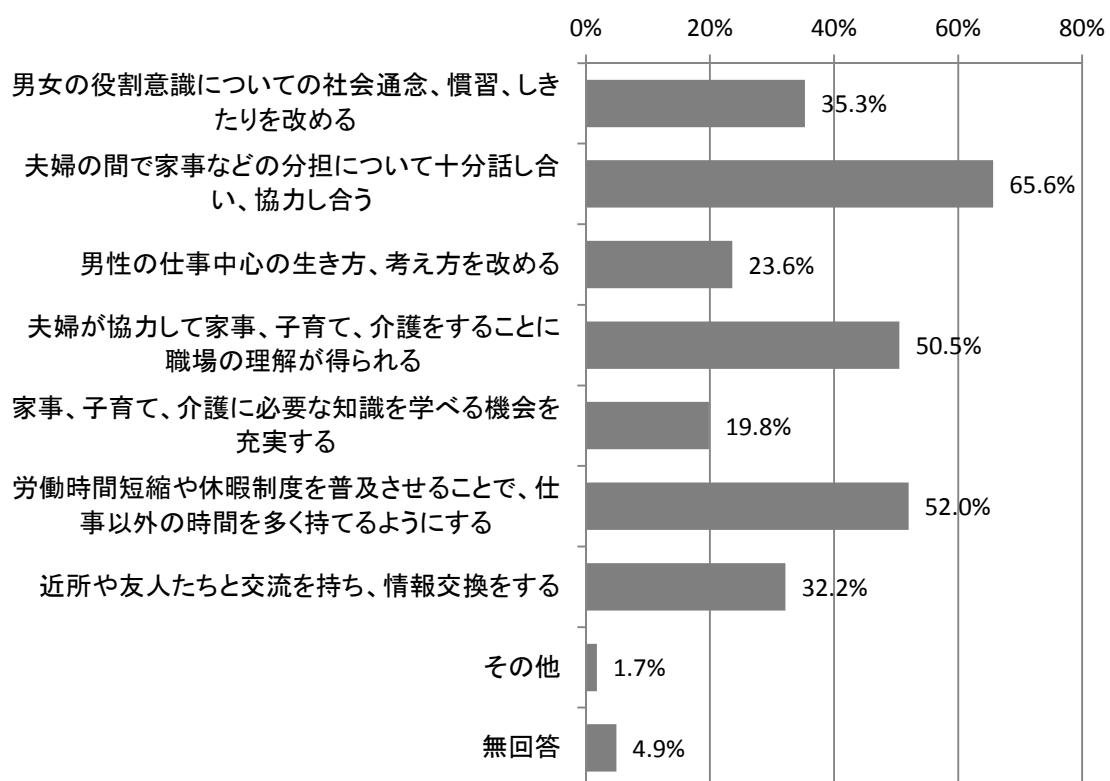
「家事や仕事で忙しいから」が 44.2%と最も多く、次いで「責任のある役を引き受けたくないから」32.4%、「組織運営が男性中心だから」21.3%となっています。



項目	人数	%
家事や仕事で忙しいから	381	44.2%
様々な意見を調整し、組織をまとめていくことは、女性には向いていないから	111	12.9%
これまでの慣習で、男性が就任してきたから	88	10.2%
女性が参画することに反発する雰囲気があるから	97	11.3%
責任のある役を引き受けたくないから	279	32.4%
組織運営が男性中心だから	184	21.3%
家族の理解や協力が得られないから	102	11.8%
その他	111	12.9%
無回答	32	3.7%
回答者数	862	
非該当	282	
合計	1,144	

**問 23 あなたは、男女がともに家事、子育て、介護を担うためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）**

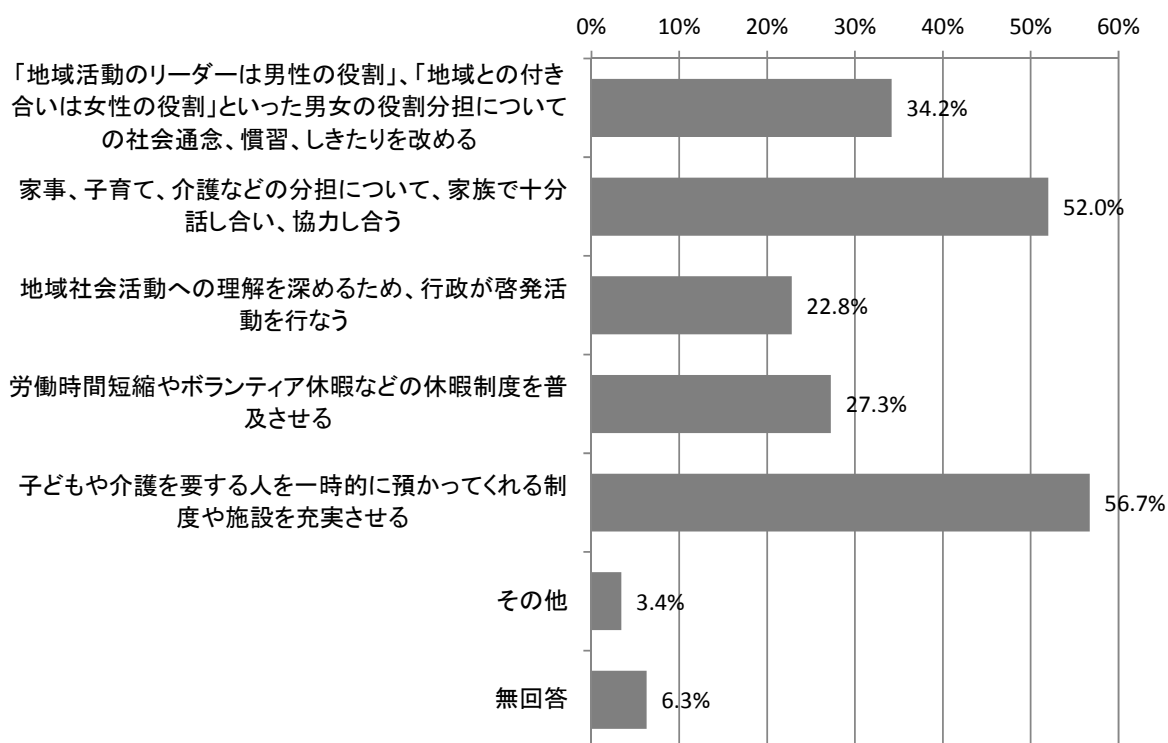
「夫婦の間で家事などの分担について十分話し合い、協力し合う」が 65.6%と最も多く、次いで「労働時間短縮（残業時間を減らすなど）や休暇制度（育児・介護休業なども含む）を普及させることで、仕事以外の時間を多く持てるようにする」52.0%、「夫婦が協力して家事、子育て、介護をすることに職場の理解が得られる」50.5%となっています。



項目	人数	%
男女の役割意識についての社会通念、慣習、しきたりを改める	404	35.3%
夫婦の間で家事などの分担について十分話し合い、協力し合う	751	65.6%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	270	23.6%
夫婦が協力して家事、子育て、介護をすることに職場の理解が得られる	578	50.5%
家事、子育て、介護に必要な知識を学べる機会を充実する(休日、夜間の開催等)	227	19.8%
労働時間短縮(残業時間を減らすなど)や休暇制度(育児・介護休業なども含む)を普及させることで、仕事以外の時間を多く持てるようにする	595	52.0%
近所や友人たちと交流を持ち、情報交換をする	368	32.2%
その他	20	1.7%
無回答	56	4.9%
回答者数	1,144	

**問 24 あなたは、女性も男性もそれぞれの個性や能力を生かし、より積極的に地域の団体やサークル活動に参加できるようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）**

「子どもや介護を要する人を一時的に預かってくれる制度や施設を充実させる」が56.7%と最も多く、次いで「家事、子育て、介護などの分担について、家族で十分話し合い、協力し合う」52.0%、「地域活動のリーダーは男性の役割」、「地域との付き合いは女性の役割」といった男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」34.2%となっています。

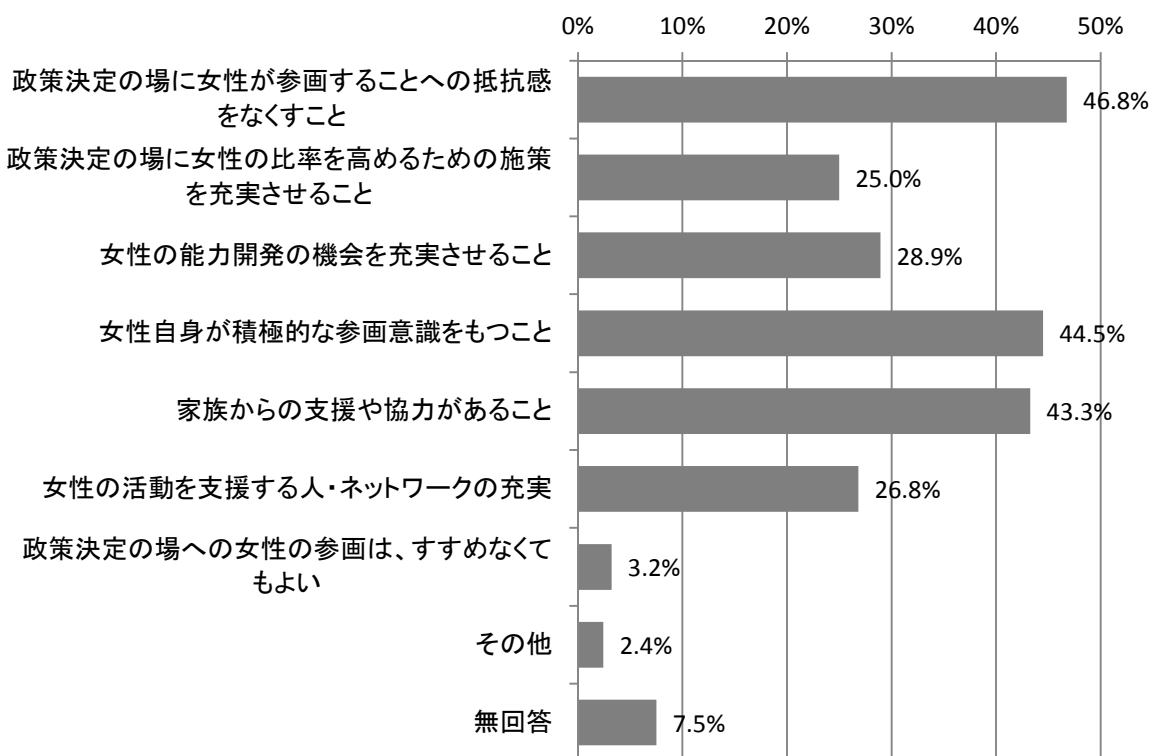


項目	人数	%
「地域活動のリーダーは男性の役割」、「地域との付き合いは女性の役割」といった男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	391	34.2%
家事、子育て、介護などの分担について、家族で十分話し合い、協力し合う	595	52.0%
地域社会活動への理解を深めるため、行政が啓発活動を行なう	261	22.8%
労働時間短縮やボランティア休暇などの休暇制度を普及させる	312	27.3%
子どもや介護を要する人を一時的に預かってくれる制度や施設を充実させる	649	56.7%
その他	39	3.4%
無回答	72	6.3%
回答者数	1,144	



**問 25 あなたは、審議会等の委員など政策決定の場に女性の参画が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)**

「政策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと」が 46.8%と最も多く、次いで「女性自身が積極的な参画意識をもつこと」44.5%、「家族からの支援や協力があること」43.3%となっています。

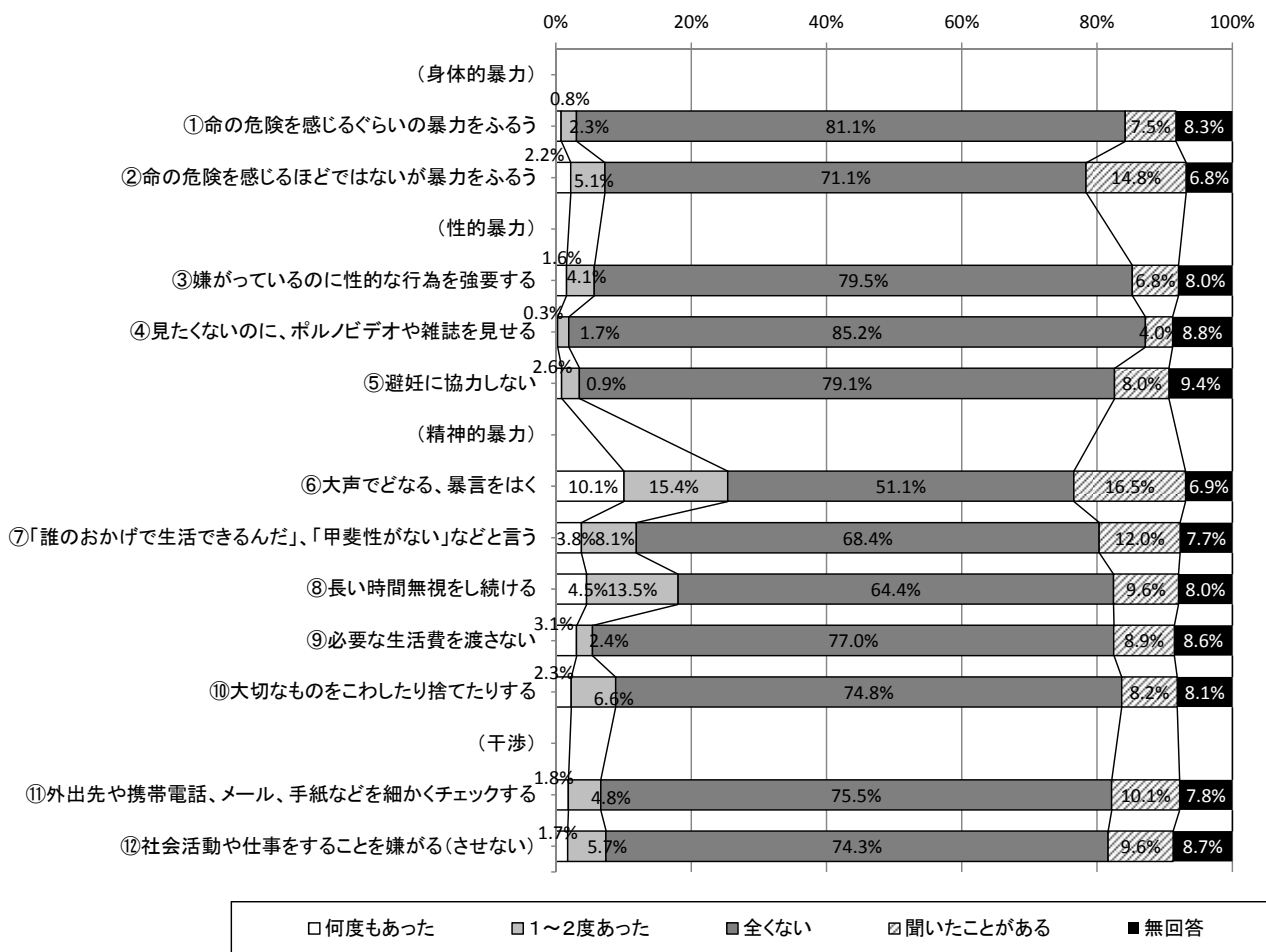


項目	人数	%
政策決定の場に女性が参画することへの抵抗感をなくすこと	535	46.8%
政策決定の場に女性の比率を高めるための施策を充実させること	286	25.0%
女性の能力開発の機会を充実させること	331	28.9%
女性自身が積極的な参画意識をもつこと	509	44.5%
家族からの支援や協力があること	495	43.3%
女性の活動を支援する人・ネットワークの充実	307	26.8%
政策決定の場への女性の参画は、すすめなくてもよい	37	3.2%
その他	28	2.4%
無回答	86	7.5%
回答者数	1,144	

## 【5 配偶者などに対する暴力について】

問 26 あなたは、恋人、配偶者、パートナーから次のような行為をされたことがありますか。また、あなたの周りで聞いたことがありますか。(回答は、それぞれ1つ)

全体では、「全くない」がすべての項目も5割～9割となっていますが、「何度もあった」の項目では「大声でどなる、暴言をはく」が10.1%と最も多く、「1～2度あった」では「大声でどなる、暴言をはく」15.4%、「長い時間無視をし続ける」13.5%と多くなっています。

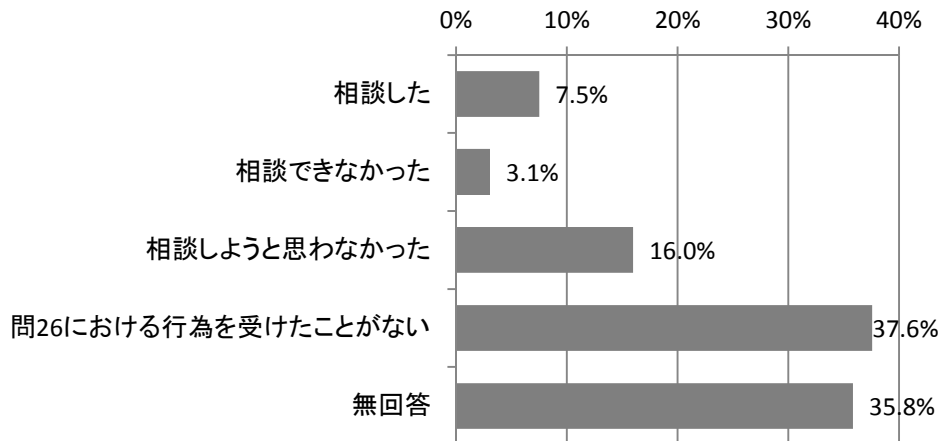


	何 度 も あ っ た	1 〜 2 度 あ っ た	全 く な い	聞 い た こ と が あ る	無 回 答	合 計
<b>(身体的暴力)</b>						
①命の危険を感じるぐらいの暴力をふるう	9	26	928	86	95	1,144
②命の危険を感じるほどではないが暴力をふるう	25	58	814	169	78	1,144
<b>(性的暴力)</b>						
③嫌がっているのに性的な行為を強要する	18	47	910	78	91	1,144
④見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる	3	19	975	46	101	1,144
⑤避妊に協力しない	10	30	905	92	107	1,144
<b>(精神的暴力)</b>						
⑥大声でどなる、暴言をはく	115	176	585	189	79	1,144
⑦「誰のおかげで生活できるんだ」、「甲斐性がない」などと言う	43	93	783	137	88	1,144
⑧長い時間無視をし続ける	52	155	736	110	91	1,144
⑨必要な生活費を渡さない	35	27	882	102	98	1,144
⑩大切なものをこわしたり捨てたりする	26	75	856	94	93	1,144
<b>(干渉)</b>						
⑪外出先や携帯電話、メール、手紙などを細かくチェックする	21	55	864	115	89	1,144
⑫社会活動や仕事をするのを嫌がる(させない)	20	65	849	110	100	1,144

<b>(身体的暴力)</b>						
①命の危険を感じるぐらいの暴力をふるう	0.8%	2.3%	81.1%	7.5%	8.3%	100.0%
②命の危険を感じるほどではないが暴力をふるう	2.2%	5.1%	71.1%	14.8%	6.8%	100.0%
<b>(性的暴力)</b>						
③嫌がっているのに性的な行為を強要する	1.6%	4.1%	79.5%	6.8%	8.0%	100.0%
④見たくないのに、ポルノビデオや雑誌を見せる	0.3%	1.7%	85.2%	4.0%	8.8%	100.0%
⑤避妊に協力しない	0.9%	2.6%	79.1%	8.0%	9.4%	100.0%
<b>(精神的暴力)</b>						
⑥大声でどなる、暴言をはく	10.1%	15.4%	51.1%	16.5%	6.9%	100.0%
⑦「誰のおかげで生活できるんだ」、「甲斐性がない」などと言う	3.8%	8.1%	68.4%	12.0%	7.7%	100.0%
⑧長い時間無視をし続ける	4.5%	13.5%	64.4%	9.6%	8.0%	100.0%
⑨必要な生活費を渡さない	3.1%	2.4%	77.0%	8.9%	8.6%	100.0%
⑩大切なものをこわしたり捨てたりする	2.3%	6.6%	74.8%	8.2%	8.1%	100.0%
<b>(干渉)</b>						
⑪外出先や携帯電話、メール、手紙などを細かくチェックする	1.8%	4.8%	75.5%	10.1%	7.8%	100.0%
⑫社会活動や仕事をするのを嫌がる(させない)	1.7%	5.7%	74.3%	9.6%	8.7%	100.0%

**問 27 問 26 における行為を受けたとき、あなたは、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(回答は、1つ)**

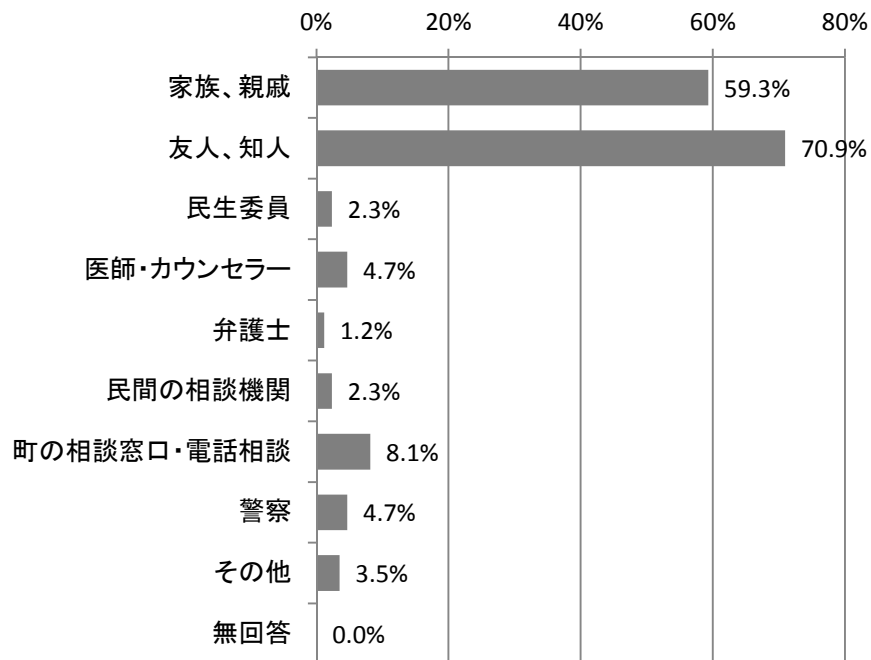
「問 26 における行為を受けたことがない」が 37.6%と最も多く、次いで「相談しようと思わなかった」16.0%、「相談した」7.5%となっています。



項目	人数	%
相談した	86	7.5%
相談できなかった	35	3.1%
相談しようと思わなかった	183	16.0%
問26における行為を受けたことがない	430	37.6%
無回答	410	35.8%
合計	1,144	100.0%

問 27-1 問 27 で「1 相談した」と回答した方にうかがいます。  
誰（どこ）に相談しましたか。（複数回答可）

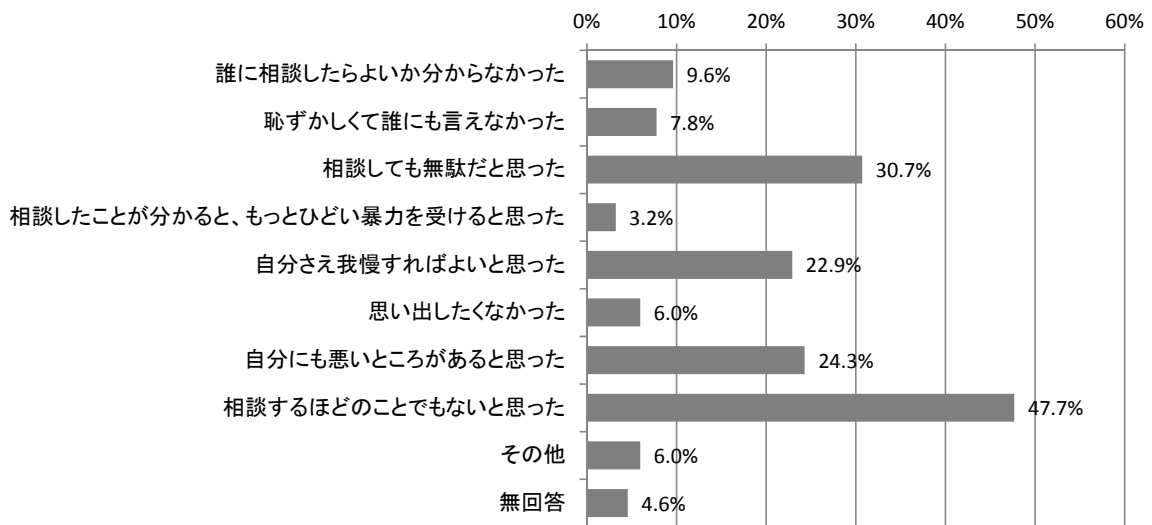
「友人、知人」が 70.9%と最も多く、次いで「家族、親戚」59.3%、「町の相談窓口・電話相談」8.1%となっています。



項目	人数	%
家族、親戚	51	59.3%
友人、知人	61	70.9%
民生委員	2	2.3%
医師・カウンセラー	4	4.7%
弁護士	1	1.2%
民間の相談機関	2	2.3%
町の相談窓口・電話相談	7	8.1%
警察	4	4.7%
その他	3	3.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	86	
非該当	1,058	
合計	1,144	

問 27-2 問 27 で「2 相談できなかった」、「3 相談しようとは思わなかった」と回答した方にうかがいます。誰（どこ）にも相談できなかった、しようと思わなかったのはなぜですか。（複数回答可）

相談しなかった理由では、「相談するほどのことでもないと思った」が 47.7%と最も多く、次いで「相談しても無駄だと思った」30.7%、「自分にも悪いところがあると思った」24.3%、「自分さえ我慢すればよいと思った」22.9%となっています。

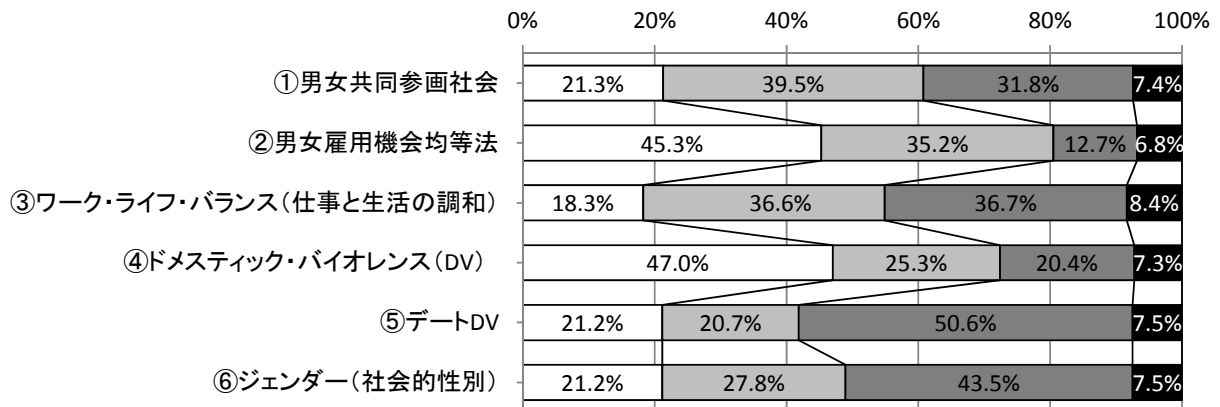


項目	人数	%
誰に相談したらよいか分からなかった	21	9.6%
恥ずかしくて誰にも言えなかった	17	7.8%
相談しても無駄だと思った	67	30.7%
相談したことが分かると、もっとひどい暴力を受けると思った	7	3.2%
自分さえ我慢すればよいと思った	50	22.9%
思い出したくなかった	13	6.0%
自分にも悪いところがあると思った	53	24.3%
相談するほどのことでもないと思った	104	47.7%
その他	13	6.0%
無回答	10	4.6%
回答者数	218	
非該当	926	
合計	1,144	

## 【6町の男女共同参画の推進に対する施策について】

問 28 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(回答は、それぞれ1つ)

「内容を知っている」の項目では、「ドメスティック・バイオレンス (DV)」の47.0%が最も多く、次いで「男女雇用機会均等法」の45.3%となっています。一方、「知らない」で最も多い項目は、「デートDV」50.6%、「ジェンダー(社会的性別)」43.5%となっています。



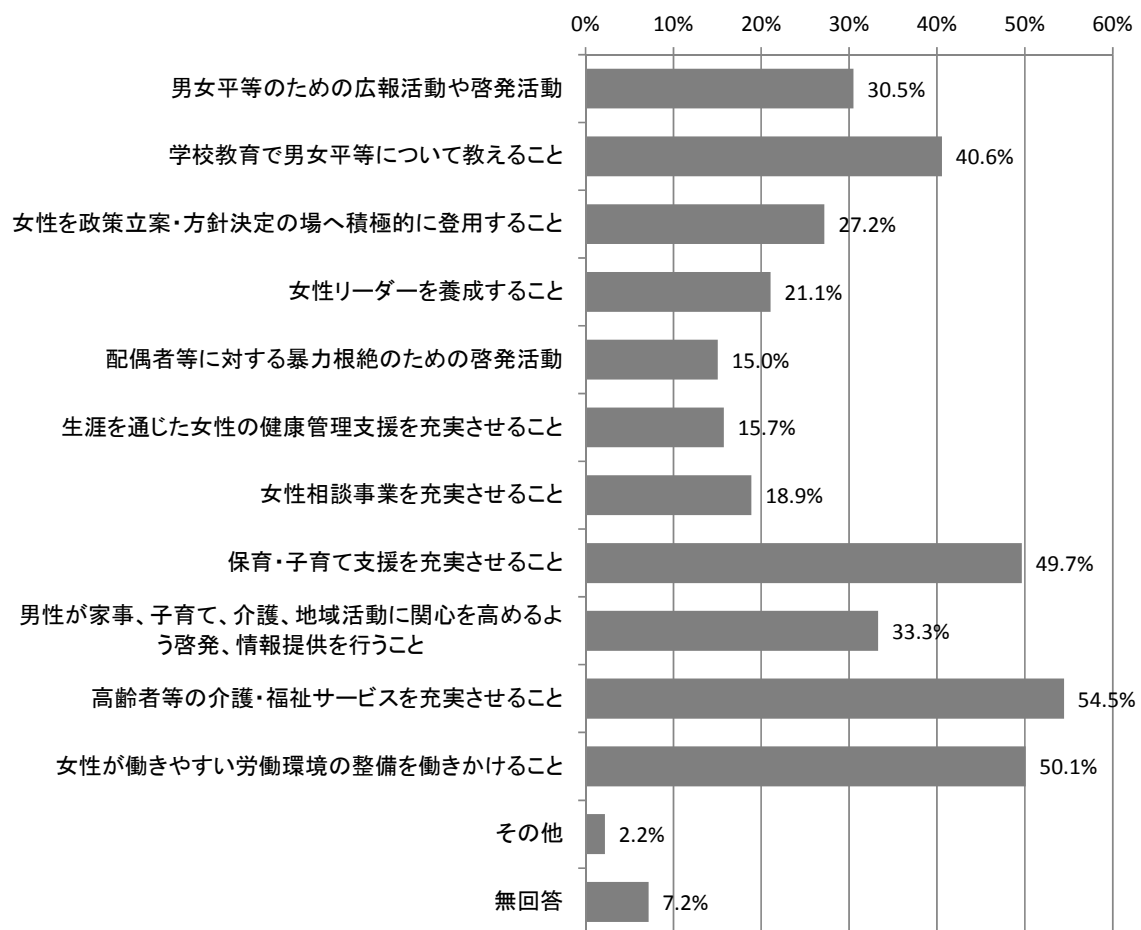
□内容を知っている □聞いたことはあるが、内容は知らない ■知らない ■無回答

	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない	無回答	合計
①男女共同参画社会	244	451	364	85	1,144
②男女雇用機会均等法	518	403	145	78	1,144
③ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	209	419	420	96	1,144
④ドメスティック・バイオレンス(DV)	538	290	233	83	1,144
⑤デートDV	242	237	579	86	1,144
⑥ジェンダー(社会的性別)	242	318	498	86	1,144

①男女共同参画社会	21.3%	39.5%	31.8%	7.4%	100.0%
②男女雇用機会均等法	45.3%	35.2%	12.7%	6.8%	100.0%
③ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	18.3%	36.6%	36.7%	8.4%	100.0%
④ドメスティック・バイオレンス(DV)	47.0%	25.3%	20.4%	7.3%	100.0%
⑤デートDV	21.2%	20.7%	50.6%	7.5%	100.0%
⑥ジェンダー(社会的性別)	21.2%	27.8%	43.5%	7.5%	100.0%

**問 29 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、今後、町はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答可）**

今後町で、力を入れていくべきことでは、「高齢者等の介護・福祉サービスを充実させること」が54.5%と最も多く、次いで「女性が働きやすい労働環境の整備を働きかけること」50.1%、「保育・子育て支援を充実させること」49.7%となっています。



項目	人数	%
男女平等のための広報活動や啓発活動	349	30.5%
学校教育で男女平等について教えること	464	40.6%
女性を政策立案・方針決定の場へ積極的に登用すること	311	27.2%
女性リーダーを養成すること	241	21.1%
配偶者等に対する暴力根絶のための啓発活動	172	15.0%
生涯を通じた女性の健康管理支援を充実させること	180	15.7%
女性相談事業を充実させること	216	18.9%
保育・子育て支援を充実させること	568	49.7%
男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発、情報提供を行うこと	381	33.3%
高齢者等の介護・福祉サービスを充実させること	623	54.5%
女性が働きやすい労働環境の整備を働きかけること	573	50.1%
その他	25	2.2%
無回答	82	7.2%
回答者数	1,144	



今後の男女共同参画社会づくりについてご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

- 現在の社会環境、職場環境、家庭環境、地域環境は、地域によって異なることがあるのではないかと思います。これから高齢化社会を迎えるにあたり男女共同参画社会づくりは、必要不可欠なテーマだと思います。多くの方が確かな情報を共有できればと思います。(男性, 50歳~59歳)
- 男女の役割分担はある程度は仕方ないこと。無理に分担することはなく、“困った”がおきた時の受皿がどうであるかということだと思う。介護も、子育ても終わりがいつやってくるかわからないから大変なのだということ、このことに公共事業がどのようにかかわってくれるか、助けてくれるか、だと思う。(女性, 50歳~59歳)
- 今の社会は、女性、女性と言い過ぎると思う。また、そう言うことに女性自身も甘えることが多いと思う。もちろん男性もいまだに昔風の考えに、すがっている人も多いです。男ももう少し自分のことは自分で出来るように協力をしなければと思います。でも、今の若い人たちは、かなりそういう点はしっかり協力して、うまくやっております。教育しなければならぬのは、むしろ50才以上の男性だと思います。特に日本は年令を制限しすぎます。年をとっても働きたい、女性はたくさんおります。そう言う部分にも目を向けてほしいと、特に思っています。(女性, 70歳~79歳)
- 女性が外に出られるよう、保育・子育て支援等、充実させることが必要だと思いますが、まだまだ、女性から積極的に役員等を引き受ける態度が見られない。このような態度の背景に潜んでいる問題点をみつけ出すような施策が必要と思う。まだまだ、女性ではダメみたいな社会風潮もあると思うので、進んで社会参画できるようなサポート体制づくりをして、失敗しないようにし、「女性でもできるんだ」という雰囲気づくりが大切だと思う。(男性, 60歳~69歳)
- 女性ばかり優遇されているような気がする。男性のために社会を変えてもらいたいときもある。なんでもかんでも、女性、女性といって女性中心の世界になっているような気がして、男性ばかりが世間の中心から外されているような気がしてならない。今のままでいいとは思わないが、女性中心になってしまい、男性が、ないがしろにされているような気がしてならない。(男性, 40歳~49歳)
- 近年女性の社会進出は目を見張るものがあります。行政の女性役職者も増加傾向にあると思う。もっと「男女共同参画社会」を作るには、働く環境を良くすることが必要かと思う。まだまだ社会一般では、女性には高度な仕事は任せられないとの風潮があると思う。大学の学長、会社の取締役等重要な地位に女性が進出しているので、政府の後押しもあり、今後変っていくのではないかと。世の中男性、男子、の名の付いた本、団体、集り、グループは少ないが、女性、婦人、の付いたものは多い。少し気になる。(男性, 70歳~79歳)

- 社会がいくら男女平等を啓発しても男性自身の考え方が変わらなければ家庭はそのままであり続ける。(女性, 60歳~69歳)
- 今まで男は仕事だけとっていたが、少子高齢化社会になってゆくと男も家事、介護などできるようになっておかないと思う。(男性, 60歳~69歳)
- 女性が結婚、出産をしても社会と関わっていくことが大切だと思います。女性が働きやすい労働環境を望みます。また、生涯高齢者でも働きながら生き生きと生活できたらよいと思います。特に介護に関しては介護者の育成が必要だと思います。(女性, 50歳~59歳)
- ・広報等でPRする・自治会等を通じてPR、教育等をする・ある程度強制が必要と思う(男性, 60歳~69歳)
- 男女共同参画社会を前面に押し出すよりも男女共に適材適所に生かせる能力のある人が参加していければ良いと思っています。男女共に権利を主張するだけでなく相手の能力を見極める力のある人が先導者となり社会、地域活動を行っていければ良いと思います。(女性, 50歳~59歳)
- ・女性のためのセミナーを定期的に開催し、なるべく多くの女性が参加できる様工夫する。・女性の政治への参加(町会議員の女性の割合を増やす)(男性, 60歳~69歳)
- 基本は「適材適所」だと思います。(男性, 60歳~69歳)
- 男女平等と言われるが、根本的に男と女の身体的条件が違うのに同様の仕事ができる場合とできない場合があるのは当たり前です。その点を考えて男女共同参画社会を説明する必要があります。(男性, 60歳~69歳)
- 男女平等で良いのですが、やはり男性女性と違いがあり、いちがいにとっちが良いとか言う問題ではないのでしょうか。おのずと男性女性の立場で協力し合い臨機応変に進めて良いのではないかと思います。やはり男性を立てる時には立てていいのではと思います。女性はやはり内側を守る事の大切さも必要と思います。(女性, 60歳~69歳)
- 私は公務員なので、産休も育休もしっかりとれる環境にあり、とても感謝しています。しかし、妊娠中上司に毎日いやみを言われて、とてもストレスを感じました。市役所ですらこのような状態なのだから民間の女性はとても大変なのだろうと思いました。リーダー職には男性が多いです。国会を見てもそうです。うちの職場もそうです。女性リーダーを増やす動きで、女性管理職が増えています。うちの職場でも女性の課長や部長が増えてきました。しかし、男性から「女だからなれた」と陰口をたたかれています。やはり女性が社会で働き上を目指すのは大変です。主人は家事も育児も積極的に行ってくれますが、友人の多くは協力を得られていません。「男女共同参画社会」とは言葉で言う程簡単ではないと思います。(女性, 30歳~39歳)
- 元来、男、女は心身が異なります。少子化による労働力不足を解決するために女性の社会進出を国をあげて進めています。少子化が進めば、国の発展は低下します。女性が社会で働くことと男女平等社会をつくることは別の次元のことと思われまます。難しい問題

がいろいろあるように思います。(男性, 70歳~79歳)

- 各自が共同参画の意義を認識し、自分に相応する計画に積極的に参加することにより、良い展望に繋がる事は間違いないものと思うのだが。なかなか描いた思惑通りに展開することは稀なことだと思うに、行政としては前問(問29)に示す内容に沿って、広報「もろやま」等で住民への浸透を計ることが根幹と思う。(男性, 70歳~79歳)
- これからは20代30代の男女問わず、考える場、知る場、教えてもらえる場を設けてもらいたい。(女性, 50歳~59歳)
- 身近に障害者があるために「平等」「権利」については長年考えて参りましたが、差別即平等、平等即差別と思うようになりました。同じ様に男女平等についても隔たりがなければ意識することなく男女共同参画の社会は作れると思います。形を整えることだけではなく男性であれ女性であれ得意とする分野で活躍していくという意識だと思います。互いに認め合う、受け入れの心が最も大切な事ではないでしょうか。今の世の中には、自己主張はしても相手を受け入れる心が乏しいように思います。男女共同参画社会とは、互いに受け入れていく心が根底になれば、例え形を整えたところで、本来目指していく姿とはなっていないように私は思います。互いに尊重し合う、受け入れの心を育てていけばそのような理想とする社会になっていくのではないのでしょうか？(女性, 50歳~59歳)
- 男性の考え方を変えることが、何より大事である。有能な女性は沢山いるのです。先ず任せてみるべき。但し、男性に甘えている女性が多数いることも事実でしょう。(男性, 70歳~79歳)
- こういった列島に根強く残る男尊女卑の問題については、いくら枠や外堀を埋めようとしても、差別問題しかり、中途半端に取り上げるから、浅はかにも過去の伝記として残るものでもあります。風土や文化、そういったものを築くには「いつの間にかそうなっている」という風習になることです。(男性, 30歳~39歳)
- 行政が中心となり、環境や習慣を変えていくことを期待します。(男性, 60歳~69歳)
- 1人の人間として自分で責任を持って行動する。男女の区別は考えず力のある人が参画する社会でありたい(女性, 70歳~79歳)
- 現在の仕組みではとても男女平等とは言えません。私は母子家庭の母として子供を0歳の頃から保育園に預け仕事を続けていますが、学校や保育園の指導者があまり仕事への理解がないように思います。というのも以前、保育園の職員の方から、仕事がフルタイムで土日しか子どもと長く過ごせないことを指摘され、母子家庭であることや仕事への理解もないような(フルタイム勤務がよくないような)発言があり、とても傷ついたことがあります。(仕事を辞めるべきか悩みました)また、保育園の通常預かりの時間が4:30(今は何時ですか?)までというのもフルタイム勤務の人からみれば無理があります。5:00ピッタリに終了したとしてもお迎えに行くには時間もかかりますし、そのあたりのシステムの見直しが女性の社会進出のためには必要ではないのでしょうか。また学校の行

事も平日ばかりで仕事を休まなければなりません。土曜日にすること等を検討していたら夫婦で参加しやすくなりますし、男性の子育てへの意識も高まります。学校教育のシステムの見直しを職場環境の見直しと合わせて行うことが重要なのではないのでしょうか？それが女性が働きたい、働いてみたいと考える一歩になるとと思います。(女性, 20歳~29歳)

- 男女平等と唱えつつ、現在の職場は女性は内勤、男性は外勤と別れている状態です。今年度からは女性の外勤や管理職を選任したりしていますが、ごく一部です。女性が出産により育児休暇を取得するのは、今では当たり前のようになっていますが、男性だとやはりまだあまり理解がされていない感じがします。雇用自体を増やすことにより職場全体が休暇を取得しやすい環境になれば、男女関係無く家事、子育て、介護等、様々な活動をできるようになるのではないのでしょうか。(女性, 20歳~29歳)
- 男性も育児、介護休暇が取れるようになれば、女性の負担が減り女性の社会進出も進むのではないかと。休暇や時短が取れるのは女性が多く、女性優先ではまったく進歩しないのではないかと。(女性, 20歳~29歳)
- 鎌倉市のストーカーによる被害は犯人が役所で女性の住所を聞いて発生した可能性があるため、ストーカーの身分確認を十分に行うか、ストーカーや性的犯行の可能性のある犯罪者がどこにいるのかアラームのシステムを構築することが必要(米国で実際に行われている)(男性, 50歳~59歳)
- 人口減少、高齢者比率が上昇し続ける現状を打破するためにも保育、子育て支援を充実させ、3人位の子供が育てられる環境づくりが急がれる。(男性, 70歳~79歳)
- 女性に優しい社会づくりを希望します。男性だから女性だからといった性差で考えるのではなく、同等の人間としての対応を望みます。家庭でも社会でも1人の人間としての女性の権利を主張します。(女性, 40歳~49歳)
- 同じ人がいくつもの役を持つ(つく)のではなく、できるだけ広い範囲から人を発掘し多くの人に仕事をしてもらうようにしてはどうか。また同一人の継続する期間は長くなくローテーションをはかるのが望ましいと思う。(男性, 70歳~79歳)
- 大人になってからは仕事等のためどうしても時間を取られてしまい、広報・啓発活動等に触れる機会を確保することにも限界がある部分もあると思います。まだ子どものうちから学校教育の場において男女平等について教育を施すことが、数十年先を見据えて重要ではないかと考えます。また、制度を整えても最終的には女性自身に行動して頂くことになると思います。そこに至ってきちんと意思決定・行動選択ができるよう、女性個人の能力開発や人としての強靭さも不可欠な要素ではないかと考えます。(男性, 20歳~29歳)
- 男性にもっともっと家事・育児が毎日で大変なことをわかってもらいたい。仕事が休みでも家事・育児に休みないことを感じてほしい。(女性, 30歳~39歳)
- 男性、女性は体のつくりから、女性は出産ができ、男性はできないといった明確な差が

どうしてもあります。その差が社会では大きな差になり、出産、育児休暇後に職場に復帰することが困難になることがあるのです。どうしてもなくなるならこの差をなくす支援が増えて欲しいと思います。(女性, 20歳~29歳)

- とにかく本人たち(男女共)の意識の問題だと思う。(男性, 50歳~59歳)
- ストレスが少なく、男性女性も働きやすく、親切で楽しく優しい社会になってほしいと思います。(女性, 60歳~69歳)
- 男女雇用機会均等法の制定は古い教育を受けた私は反対です。男性は家族を養う、女性は出産、育児、家庭を守る。少子化が叫ばれて久しいのに、ただ保育所を増やせば解決するのでしょうか？子が親を、親が子を殺める最近のニュース、何か間違っているのではと考えます。(女性, 60歳~69歳)
- 高齢少子化の社会にとって、男女共同参画は絶対必要であり、また元気な高齢者の活用も必要になると思われる。子育て、介護、福祉サービスを充実させるためにもどしどし高齢者を利用していただきたい。女性だけでなく高齢者もまた参画を希望している方も多くいると思われる。(男性, 70歳~79歳)
- 男子たる夫が外事に努め、女子たる妻が内事を務める。そういう陰陽正しい家道を守るべきです。それを守らなければ、ますますおかしな日本へと墜ちていくことでしょう。(男性, 40歳~49歳)
- この内容をよく知りませんが、自分が高齢になり介護、福祉サービスの充実などに関心があります。よろしく願いいたします。(女性, 70歳~79歳)
- 私は女子大学の学生なので、女性の人権がいかに大事か叩き込まれるように大学で教えられたと思います。まだまだ男尊女卑な日本ですが毛呂山町から変えられたら、大きな話ですが、日本の未来にも繋がると思います。だから、そのような社会づくりに賛成です。(女性, 20歳~29歳)
- 職場、地域あらゆる場所において男女の差をなくす努力につとめる。能力のある者は男女区別なく登用していく意識を持つ社会になるよう努める。適材適所を考えて人の運用をする。(男性, 60歳~69歳)
- 保守的な当町行政では無理。(男性, 60歳~69歳)
- 町役場へ行くと重要ポストには男性が多いように見ることがあります。役場としても改善に向けた動きを取っているか否かは不明ですが、町の男女共同参画社会づくりのビジョンがより見えてくると民間、町民にも波及するのではないかと思います。田舎町故に男性優位の雰囲気都市部より濃く感じる場合があります。行政がトップとなって良いところは継承し悪いところは改善してほしいです。(男性, 20歳~29歳)
- まだまだ男女平等ではないことが沢山あると思います。子どもの時からの教えが必要だと思います。(女性, 50歳~59歳)
- ・女性が働きやすい職場環境の充実・保育所、学費の充実(女性が安心して働ける)・夫、家族の協力を理解・女性管理職を増やすための職場や管理者の支援(女性, 60歳~69歳)

- 男性女性に分けず、能力のある人がリーダー等できることをすればいいと思います。介護等も家族で協力しあって施設等の力を借りてやっていけばいいと思います。自分の中では、男だから女だからという意識はあまりしないようにしている。みんなが生活しやすいステキな町づくりを進めて下さい。(女性, 40歳~49歳)
- 女性の住み良い町にして下さい。妻は東京より越してきましたが、女性に対する配慮が足りないみたいです。(トイレなど) (男性, 30歳~39歳)
- 社会全体に浸透するのは、時間がかかるとは思いますが、継続して行動し、訴えかけていく必要があると思います。(男性, 40歳~49歳)
- 町では、DVを体験した女性のためのサポートグループの取り組みをしているのか?もし、そのようなサポートグループがあるならもっと大々的に宣伝してほしい。(それとも私が知らないだけ?) サービス業に従事している者は、なかなか土、日、祝日の行事には参加しづらいので、一考を望みたいが、せめて参加できないことを責めないでほしい。(女性, 60歳~69歳)
- 男女の違いがあるのだから、何でもかんでも平等という考えは賛成できない。社会に出たければ自分の意思で出れば良いし、各々の考え方で良いと思う。行政があればこれ工作する必要はないと思う。日本国内における自然な成り行きで良いのではないか。例えば女性議員が少ないが、立候補する意志の人が少なければ、割合としてそうなるはず。実際立候補するにあたって、生活基盤のリスクとしては女性の方が小さいはず。女性のバイタリティの問題なのではないか。(男性, 50歳~59歳)
- 男女共同参加に向けて過去のしきたり制度を見直し平等を基本に進めてほしい。できることから確実に。(男性, 60歳~69歳)
- 現在の主に男性(特に中高年の)の意識、認識を変えていくことはとても難しいと思う。長期的に考えて、教育の中で男女ともに働き、子育てをし、地域の中で生活していくものであることが当然であることを伝えていけばよいと思う。ただ、女性が子どもを産み育てる支援はもっと充実させるべきであると思う。(女性, 30歳~39歳)
- ・職場や社会の中においては、まだまだ男性優位な面が多いと思います。また制度は充実していても、なかなか現実的ではないことがあると思います。例えば育休産休などの制度が充実していく一方、待機児童の問題も深刻です。私の職場でも、子供が保育園に入れずなかなか職場復帰できない方がいます。女性が社会で活躍できる制度の充実と共に、社会の環境がより良くなると良いです。・一方で「女性専用車両」「レディースデイ」などに対して不満をもつ男性も多いようです・・・。(女性, 20歳~29歳)
- 子育て支援も大切ですが、不妊治療に対しても理解と支援を充実させていただきたいと思います。子供がほしいのに、頑張っている方はたくさんいらっしゃいますので、そちらにも目を向けていただけたら幸いです。(女性, 30歳~39歳)
- 育児、介護に関しては、男女関係無く休暇を取り易くする仕組みが必要。今は、制度はあっても休暇が取りにくい。また、女性の参加を促すために女性だから優遇というのは、

そもそも女性が参加できていなかった原因を解消できていない。また、性による差別をなくすという考えからも反した政策である。(男性, 20歳~29歳)

- 女性の家庭での家事や育児における負担が大きい。そのため、フルタイムで働く時間と体力もない。家族での話し合いが必要とは思いますが、夫やその両親と話し合いをしても、昔ながらの考え(嫁が家事等をする)を変えていくのは難しいと思う。家族の協力がないと女性が働いていくのは大変だと思う。(女性, 40歳~49歳)
- 問29にあげられた事は今回のアンケートで具体的で早急に広報活動で知らせていくと良いと思いました。(女性, 60歳~69歳)
- これまでの社会通念、偏見等を無くすための啓発活動が必要であり、その一環として広報もろやまに特設コーナーを設けて関係するコラムを掲載すると良いのではと思います。(男性, 70歳~79歳)
- 「女性リーダー」という言葉をあえて使ったり女性のためのリーダー養成を必要以上に意識しなくても働く意欲のある職業意識の高い人物が男性ではなくたまたま女性であるという場合には高い地位に(その女性を)ためらいなく登用することが当たり前の社会になれば良いと思う。(女性, 50歳~59歳)
- 町内イベント含め、男性スタッフが主になっていることが多い。女性をもっと増やした方が色々な意見、アイデアもでると思います。でも、年配の方々はどうしても考え方が「女性は家庭」という思いが強いので意見を出にくくしていると思います。しきたりやルールも(今までこうしてきた等)あると思いますが、時代も変わっていくのだから考え方を変えても良いと思います。(女性, 30歳~39歳)
- 男女を問わず能力に応じ適材適所に登用する。(女性, 70歳~79歳)
- 男女を問わず、それぞれの個性に合った役割分担で各々がふさわしい仕事に尽力し、皆で協力、支えあいながら良い家庭、社会、町づくりに努力できたらと思います。(女性, 50歳~59歳)
- 教育の場においては男女平等(むしろ女子が強い)が非常に感じられるが、社会においてはまだ業務によっては格差があると感じているので、社会の通念及びシステムが今後変わっていく事が望ましいと感じている。(男性, 40歳~49歳)
- 専業主婦が弱い立場にあるように感じます。私の場合、夫の希望もあって家を守る道を選んだのですが、主従関係が顕著です。多くの家庭がそうであるわけではないのですが・・・夫は女性を軽く見ています(妻だけではありません)。そしてそれは経済力の格差のように思います。ですから男性中心の社会から女性も自立して、対等な立場で社会に加わり自分らしく生きる。それは大変重要であると感じています。(女性, 50歳~59歳)
- 女性も働いている方が多くなってきているので男女共同参画社会づくりは必要ではあると思いますが、個人の生活スタイルがあるので本人次第ではないかと思います。(女性, 50歳~59歳)

- 本件、男女共同参画社会の実現における課題については、古来より日本にある文化的背景からくるものが根強い様に感じます。若年層よりもむしろ、中高年層における意識の改革が重要だと思います。(男性, 30歳~39歳)
- 男女共同参画社会づくりの5つの基本理念に共感を持てるが、それ以前に、本当の意味で社会生活の中で男女は平等であるのか疑問。痴漢冤罪問題や、交代勤務、各種休暇制度等、男性が不利なことも多々あると思う。選挙等でも若く美しい女性が立候補しただけでメディア等に取り上げられたり、話題に上がり、認知度が上がる。真面目に政策を考え、年月を重ねてきた現職が欠職する事も過去の選挙でも散見されます。各政党の議席争いに利用する方にも問題があるが、このような状態で本当の意味で男女共同参画社会が実現できるとは思えない。毛呂山町は、国の方針に協力する以前に、高齢化や、地域の産業や、町おこし等をもっと真剣に考えていく時だと思います。(男性, 30歳~39歳)
- 働きたいと思うことは何度もあります。でも、現実的に考えて、とても難しい状況です。預け先もそうですが、費用的な事も... 小さい子はすぐに熱を出したり体調を崩します。月の半分休む、なんて事もあると思います。兄弟姉妹で年が近ければ尚です。(我が家は1才と3才) 保育料を払って終わりになっては働く意味がありません。これは主婦の方、ほとんどの方が思っていると思います。女性が社会に出やすくなるサポートや対策がもっと出てきてくれれば... と思います。(女性, 20歳~29歳)
- 本当にやりたいことなら、やらせてみればいいと思います。なぜなら、その個人の人生だからです。否定したり邪魔したりする人は、その相手の人生を背負えますか? そうでないなら、協力してあげる、情報をあげるなど、前に進めるように、成長できるように、この日本の中が変わっていけばもっと良くなっていくと思います。(女性, 20歳~29歳)
- 男性の労働時間を短くすることが民間の職場でできれば、男が女性の負担を減らせる。(男性, 50歳~59歳)
- 「男女は平等である。」という意識も持つことが大事だと思うのですが、女性が家のこと(育児、家事など)をするのが当然という長い歴史があり、根付いてしまっているので、これを変えるには、長い時間が必要だと思います。ただ、制度として変えていくことは可能だと思います。そうすることによって人々の考え方も、変っていくのではないのでしょうか。(女性, 50歳~59歳)
- 男性が家事や子育て(育休や育児時間)、介護(介護休業)などすることがあたりまえに思えるような社会になってほしい。(女性, 60歳~69歳)
- 学校などの教育の場では比較的「男女平等」への活動が進んでいるように思いますが、いざ社会に出るとまだ男女間格差が消えていないように思います。(女性, 20歳~29歳)

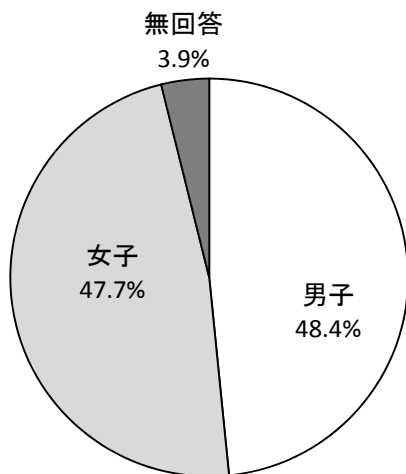


## 中学生アンケート集計結果

---

**問1 あなたの性別を記入してください。**

「女子」47.7%、「男子」48.4%とほぼ半数となっています。

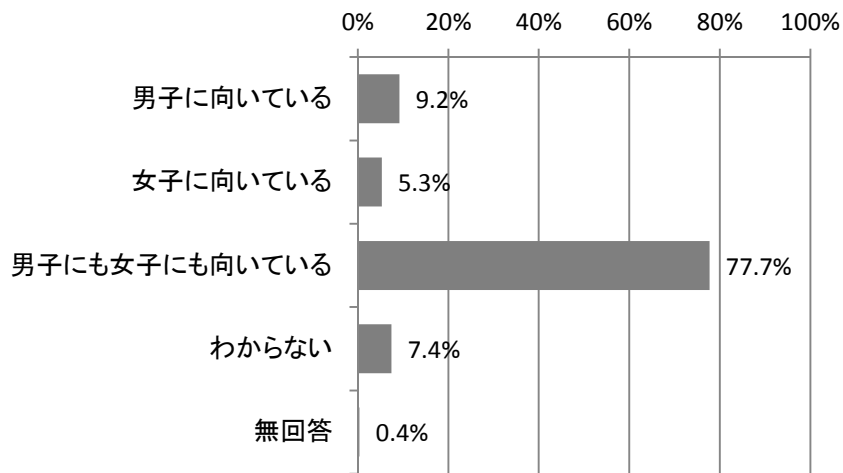


項目	人数	%
男子	137	48.4%
女子	135	47.7%
無回答	11	3.9%
合計	283	100.0%

**問2 次のことについてどう思いますか？（○はそれぞれ1つ）**

① 学級委員や生徒会長は、

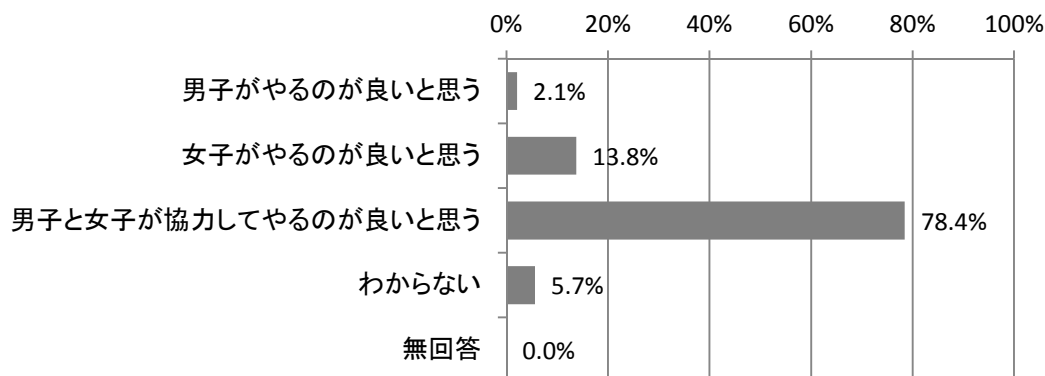
「男子にも女子にも向いている」が77.7%と約8割となっています。



項目	人数	%
男子に向いている	26	9.2%
女子に向いている	15	5.3%
男子にも女子にも向いている	220	77.7%
わからない	21	7.4%
無回答	1	0.4%
合計	283	100.0%

② 教室のそうじや整理整頓は、

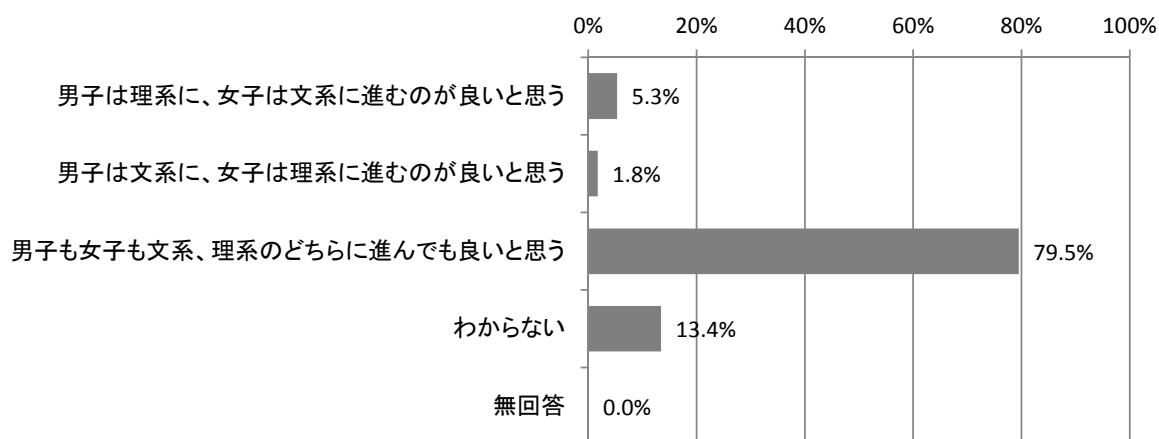
「男子と女子が協力してやるのが良いと思う」が78.4%と約8割となっています。



項目	人数	%
男子がやるのが良いと思う	6	2.1%
女子がやるのが良いと思う	39	13.8%
男子と女子が協力してやるのが良いと思う	222	78.4%
わからない	16	5.7%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

③ 進路を決めるとき、

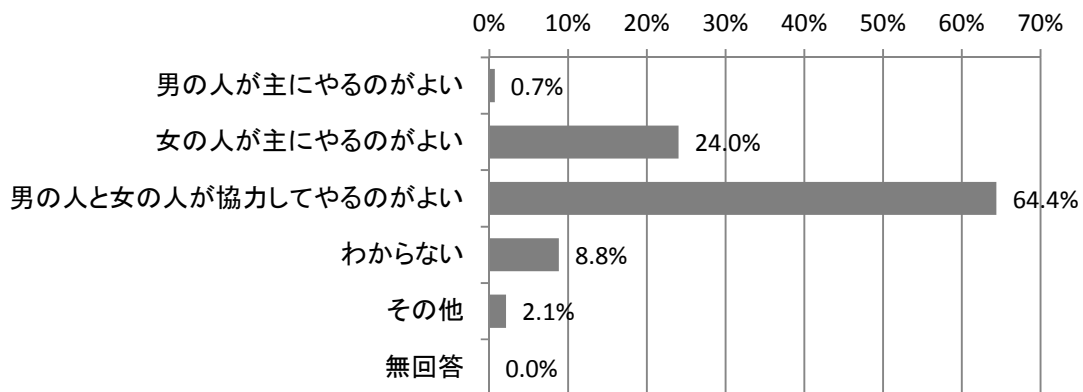
「男子も女子も文系、理系のどちらに進んでも良いと思う」が79.5%と約8割となっています。



項目	人数	%
男子は理系に、女子は文系に進むのが良いと思う	15	5.3%
男子は文系に、女子は理系に進むのが良いと思う	5	1.8%
男子も女子も文系、理系のどちらに進んでも良いと思う	225	79.5%
わからない	38	13.4%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

**問3 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、だれがやるのがよいと思いますか。(〇は1つ)**

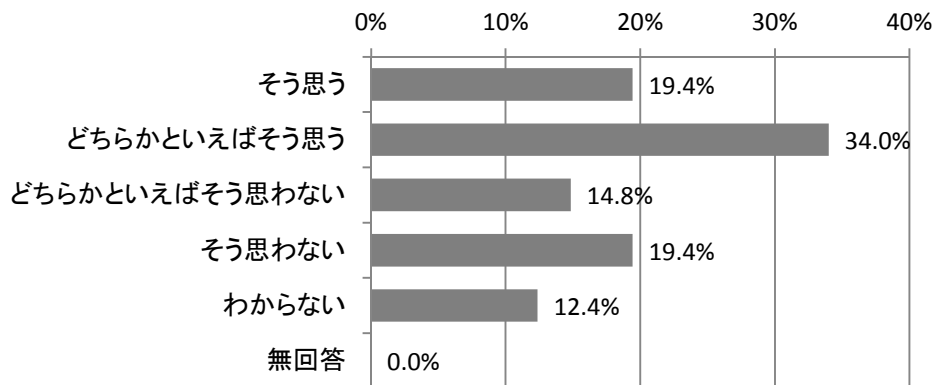
「男の人と女の人が協力してやるのがよい」が 64.4%と最も多く、次いで「女の人が主にやるのがよい」24.0%となっています。



項目	人数	%
男の人が主にやるのがよい	2	0.7%
女の人が主にやるのがよい	68	24.0%
男の人と女の人が協力してやるのがよい	182	64.4%
わからない	25	8.8%
その他	6	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

**問4 「男は仕事、女は家庭」という考えかたがありますが、この考え方についてどう思いますか。(○は1つ)**

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると 53.4%と5割を越えています。一方「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合わせると 34.2%となっています。

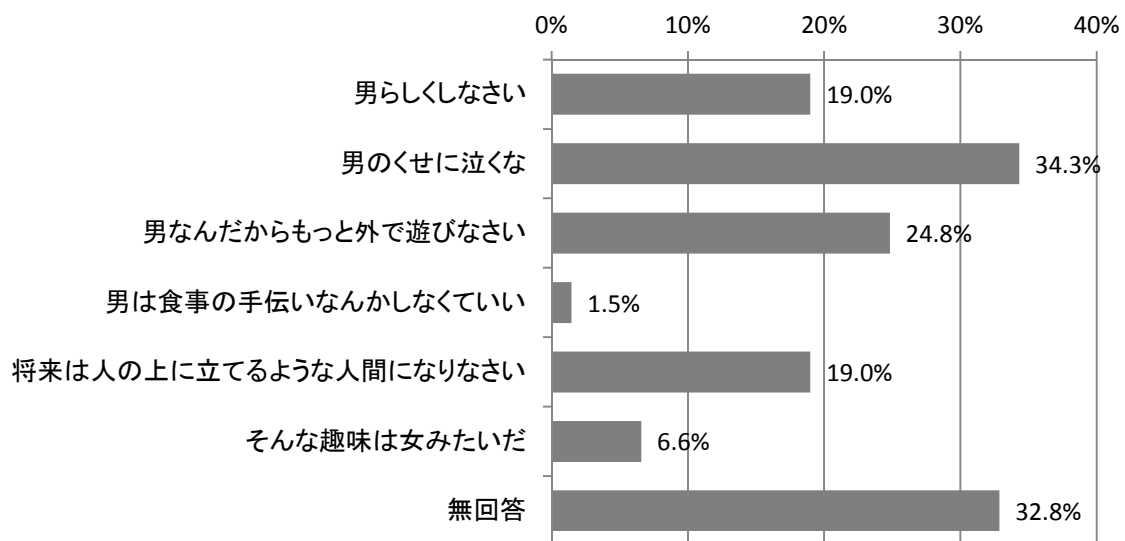


項目	人数	%
そう思う	55	19.4%
どちらかといえばそう思う	96	34.0%
どちらかといえばそう思わない	42	14.8%
そう思わない	55	19.4%
わからない	35	12.4%
無回答	0	0.0%
合計	283	100.0%

問 5-1 あなたはこれまでに次のようなことを言われた経験がありますか？  
 男子は①について、女子は②についてあてはまるものに○をしてください。  
 (○はいくつでも)

① 男子

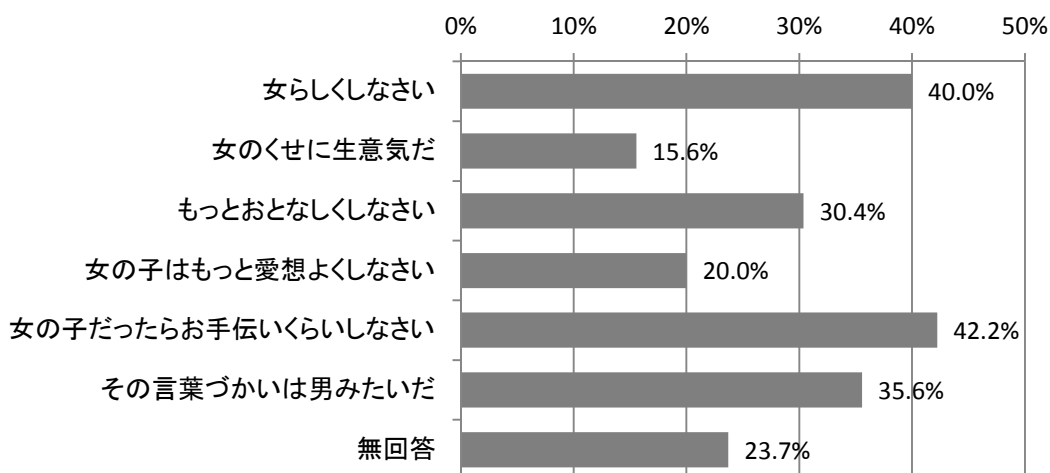
「男のくせに泣くな」が 34.3%と最も多く、次いで「男なんだからもっと外で遊びなさい」24.8%、「男らしくしなさい」、「将来は人の上に立てるような人間になりなさい」が同数の 19.0%となっています。



項目	人数	%
男らしくしなさい	26	19.0%
男のくせに泣くな	47	34.3%
男なんだからもっと外で遊びなさい	34	24.8%
男は食事の手伝いなんかなくていい	2	1.5%
将来は人の上に立てるような人間になりなさい	26	19.0%
そんな趣味は女みたいだ	9	6.6%
無回答	45	32.8%
回答者数	137	
非該当	146	
合計	283	

## ② 女子

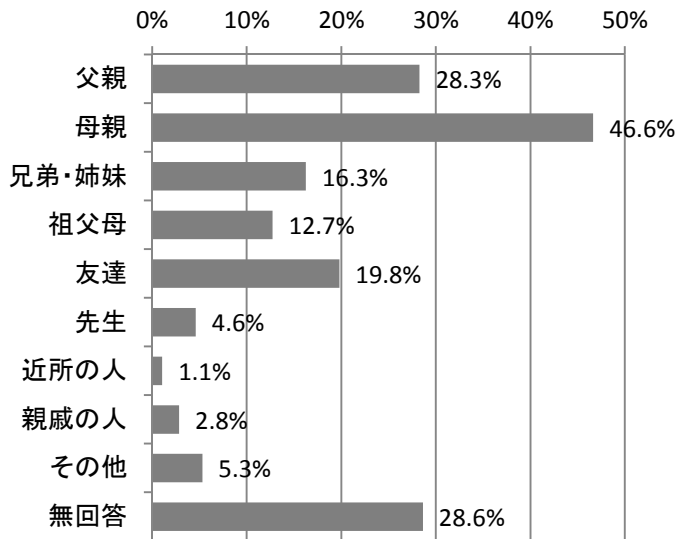
「女の子だったらお手伝いくらいしなさい」が 42.2%と最も多く、次いで「女らしくしなさい」40.0%、「その言葉づかいは男みたいだ」35.6%となっています。



項目	人数	%
女らしくしなさい	54	40.0%
女のくせに生意気だ	21	15.6%
もっとおとなしくしなさい	41	30.4%
女の子はもっと愛想よくしなさい	27	20.0%
女の子だったらお手伝いくらいしなさい	57	42.2%
その言葉づかいは男みたいだ	48	35.6%
無回答	32	23.7%
回答者数	135	
非該当	148	
合計	283	

問 5-2 あなたにそれらのことを言う人は誰ですか？あてはまるものに○をしてください。（○はいくつでも）

「母親」が 46.6%と最も多く、次いで「父親」28.3%、「友達」19.8%、「兄弟・姉妹」16.3%となっています。

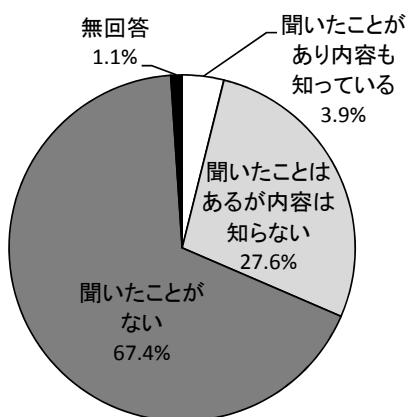


項目	人数	%
父親	80	28.3%
母親	132	46.6%
兄弟・姉妹	46	16.3%
祖父母	36	12.7%
友達	56	19.8%
先生	13	4.6%
近所の人	3	1.1%
親戚の人	8	2.8%
その他	15	5.3%
無回答	81	28.6%
回答者数	283	

問 6 あなたは次の言葉をきいたことがありますか？（○はそれぞれ1つ）

① 男女共同参画

「聞いたことがない」が 67.4%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」の 27.6%となっています。

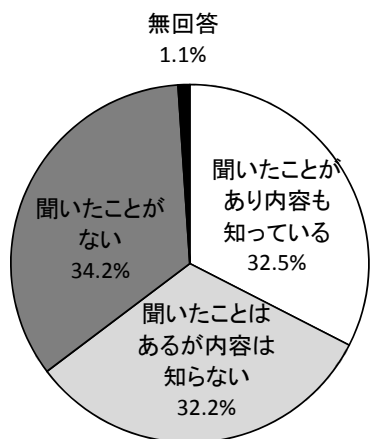


項目	人数	%
聞いたことがあり内容も知っている	11	3.9%
聞いたことはあるが内容は知らない	78	27.6%
聞いたことがない	191	67.4%
無回答	3	1.1%
合計	283	100.0%



## ② DV（ドメスティック・バイオレンス）

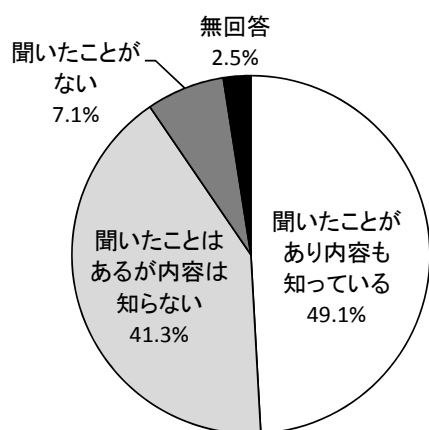
「聞いたことがない」が 34.2%と最も多く、次いで「聞いたことがあり内容も知っている」32.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」32.2%となっています。



項目	人数	%
聞いたことがあり内容も知っている	92	32.5%
聞いたことはあるが内容は知らない	91	32.2%
聞いたことがない	97	34.2%
無回答	3	1.1%
合計	283	100.0%

## ③ セクシャルハラスメント

「聞いたことがあり内容も知っている」が 49.1%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」の 41.3%となっています。



項目	人数	%
聞いたことがあり内容も知っている	139	49.1%
聞いたことはあるが内容は知らない	117	41.3%
聞いたことがない	20	7.1%
無回答	7	2.5%
合計	283	100.0%



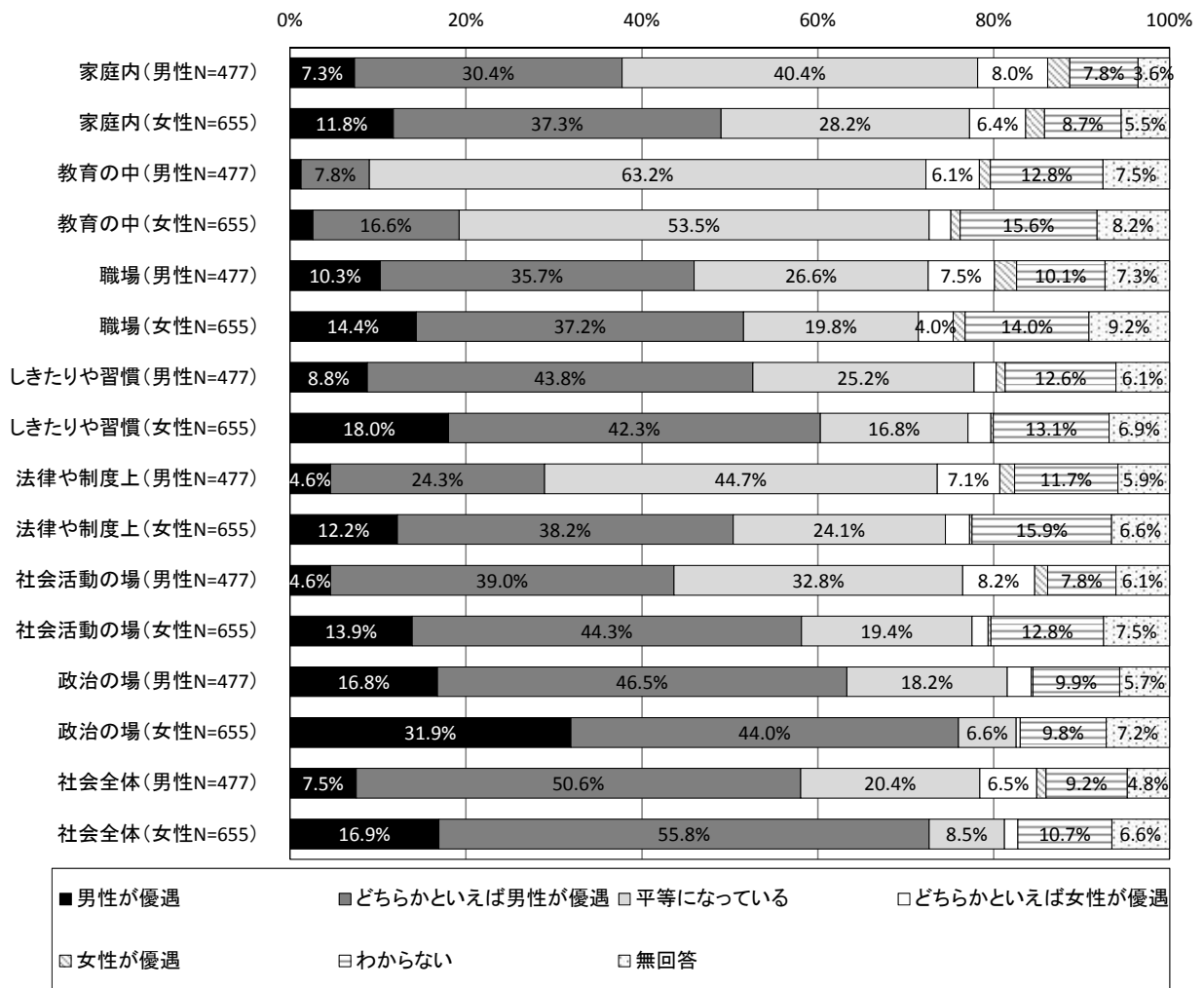
## 住民アンケートクロス集計結果

---

## 【1 男女平等意識について】

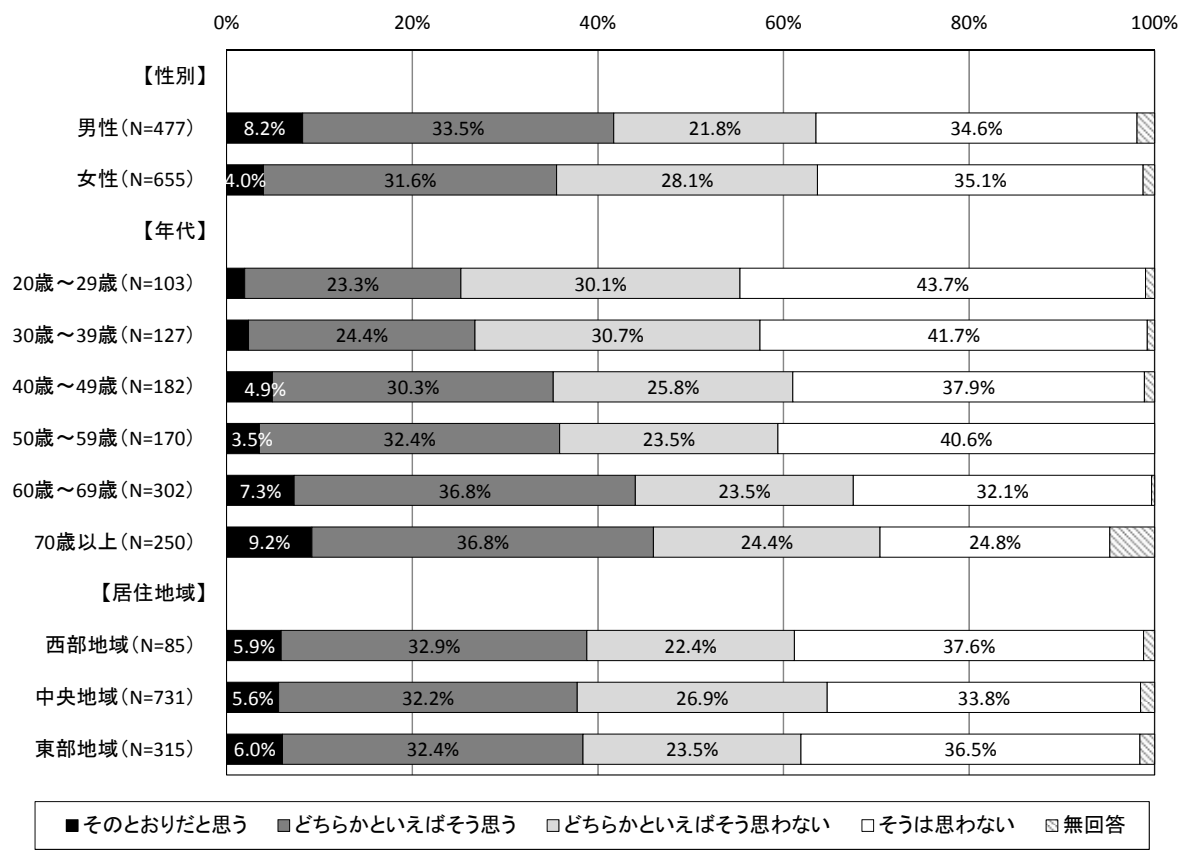
問8 あなたは、次の分野で男女の地位はどうなっていると思いますか。  
(回答は、それぞれ1つ)

すべての項目で、男性より女性のほうが「(どちらかといえば) 男性が優遇」と回答していますが、特に「法律や制度上」、「社会活動の場」、「社会全体」では顕著な差となっています。



**問9 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方を、どのように思いますか。(回答は、1つ)**

女性より男性の方が「(どちらかといえば) そのとおりだと思う」と回答しています。  
 年代では、年齢が上がるに従って、「(どちらかといえば) そのとおりだと思う」と回答しています。  
 居住地域ではあまり差はありませんでした。



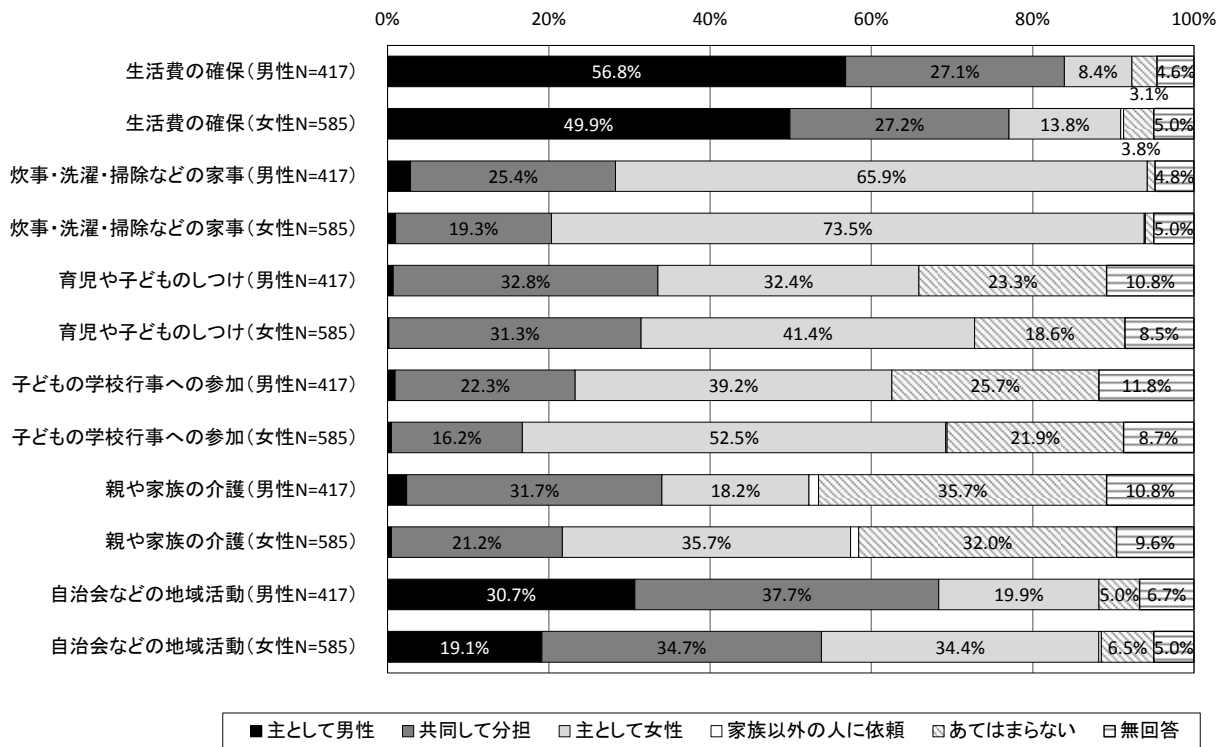
## 【2 家庭生活について】

問11 現在、あなたの家庭では次のことを主にどなたが行っていますか。  
(回答は、それぞれ1つ) (一人暮らしの方は問12へ)

「自治会などの地域活動」で、女性より男性の方が「主として男性」が参加していると回答しており、女性では「主として女性」が参加していると回答しています。

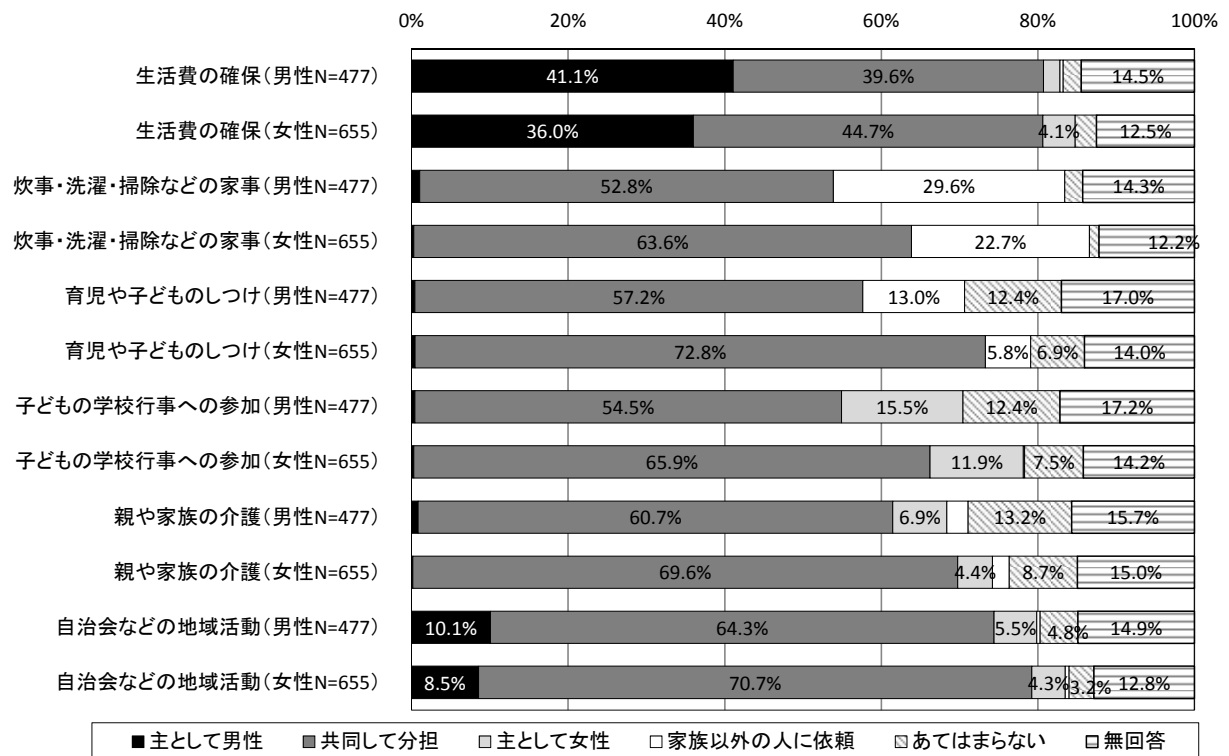
「親や家族の介護」については、男性では「共同で分担」が多く、女性では「主として女性」との回答が多くなっています。

「子どもの学校行事への参加」で、男性より女性のほうが「主として女性」との回答が多くなっています。



**問 12 あなたは、家庭での役割について主に男性、女性のどちらが担うほうが良いと思いますか。(回答は、それぞれ1つ)**

ほとんどの項目で男性よりも女性の方が「共同して分担」という回答が多くなっています。



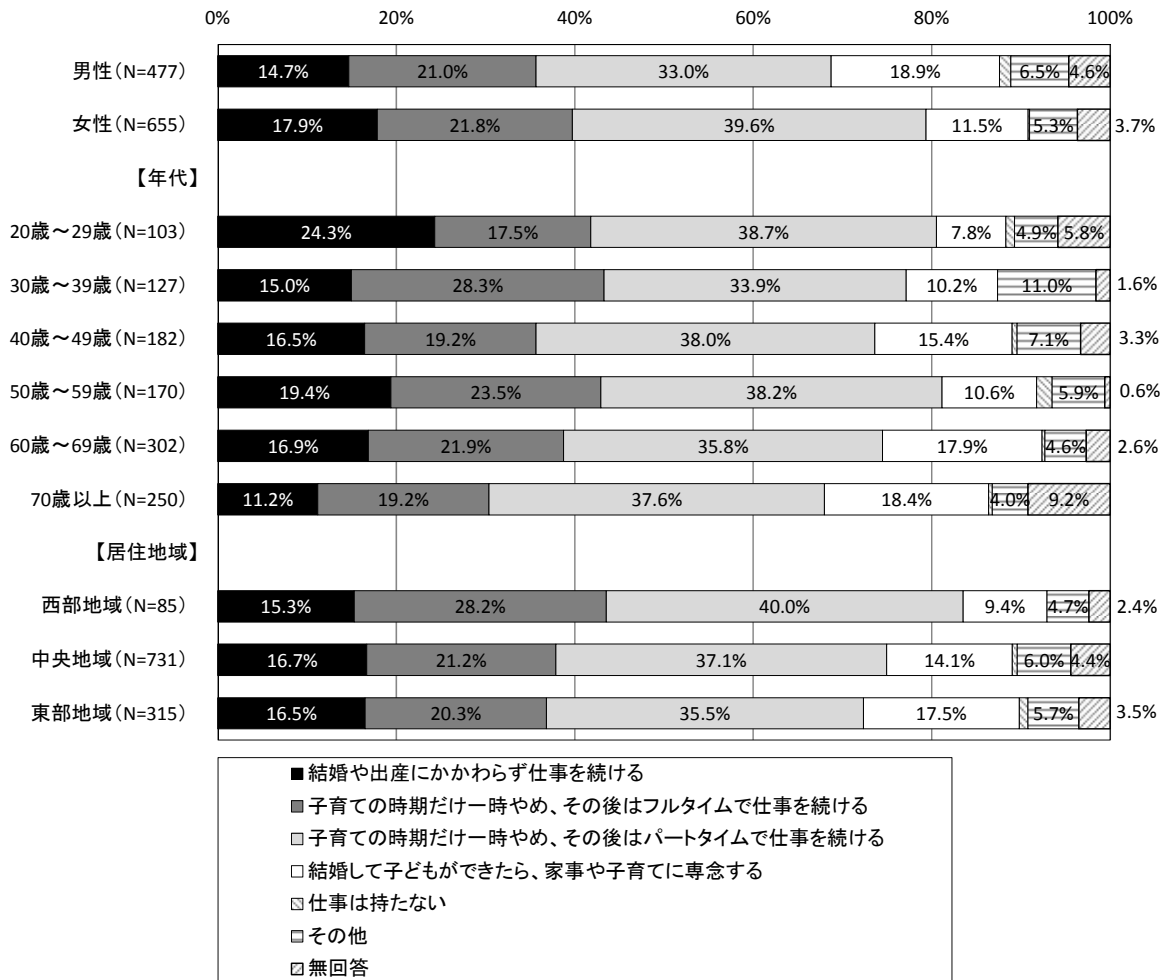
### 【3 就業について】

問 16 あなたは、女性の働きかたについて、理想はどうあるべきだと思いますか。(回答は、1つ)

男性より女性の方が、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける」との回答が多くなっています。

年代では、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が「30歳～39歳」で他の年代より多くなっています。

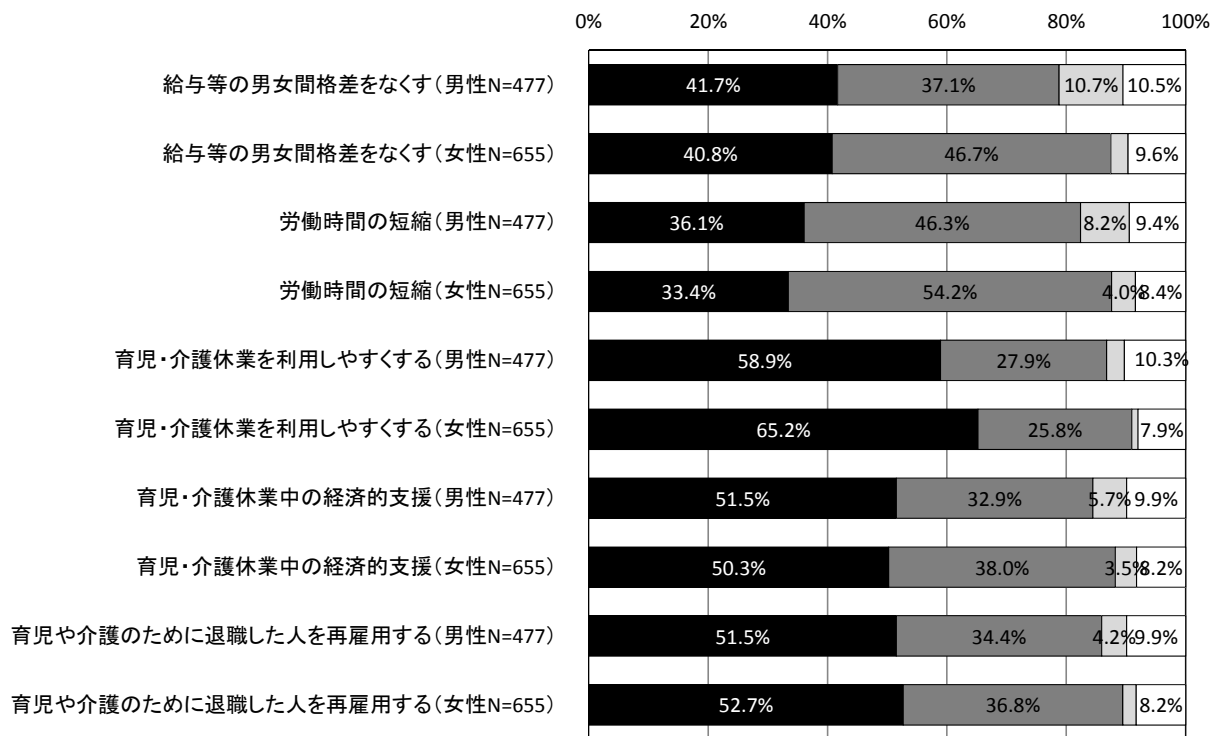
居住地域では、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける」が「西部地域」で他の地域より多くなっています。





問 19 あなたは、男女がともに仕事と家庭を両立していくために、次のような労働環境の整備はどの程度重要だと思いますか。(回答は、それぞれ1つ)

全ての項目で男性よりも女性の方が「とても重要」、「ある程度重要」という回答が多くなっていますが、「給与等の男女間格差をなくす」、「労働時間の短縮」ではその差が大きくなっています。



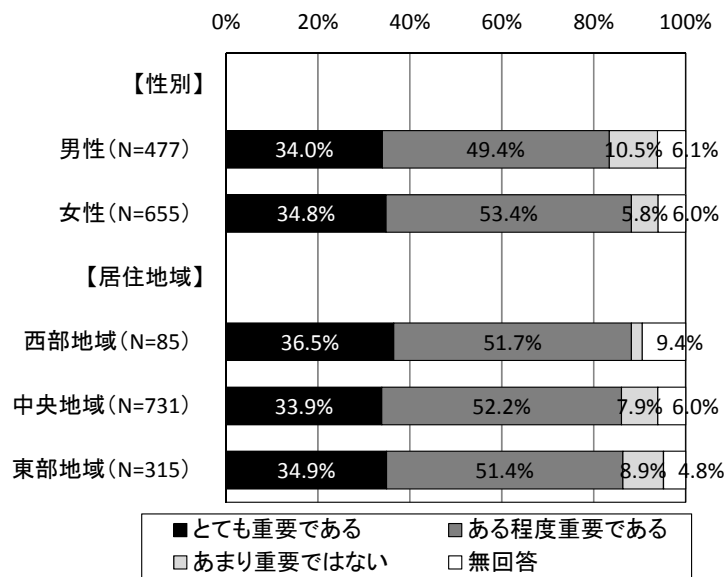
■とても重要である ■ある程度重要である □あまり重要ではない □無回答

## 【4 社会参加について】

問 20 あなたは、方針・政策決定の場に女性の参画をさらに促進するために、次のことはどの程度重要だと思いますか。（回答は、それぞれ1つ）

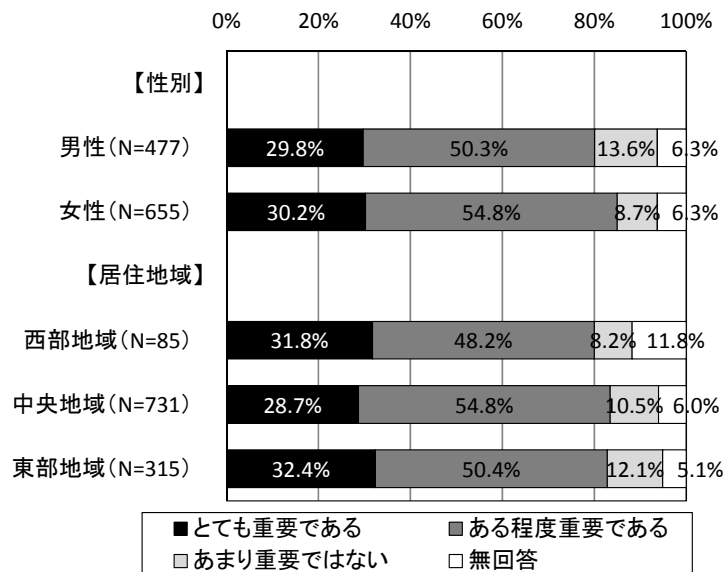
【行政の審議会などに、女性委員を積極的に登用する】

性別、居住地域ともあまり差はありませんでした。



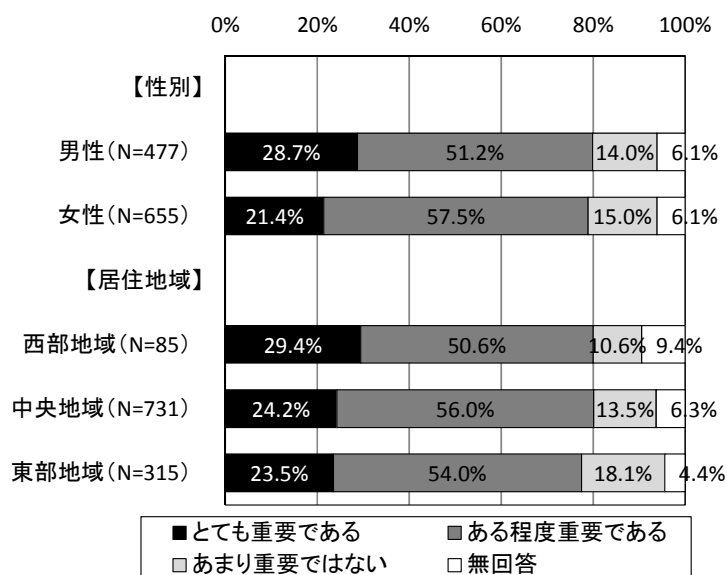
【行政・企業の管理職に、女性を積極的に登用する】

性別、居住地域ともあまり差はありませんでした。



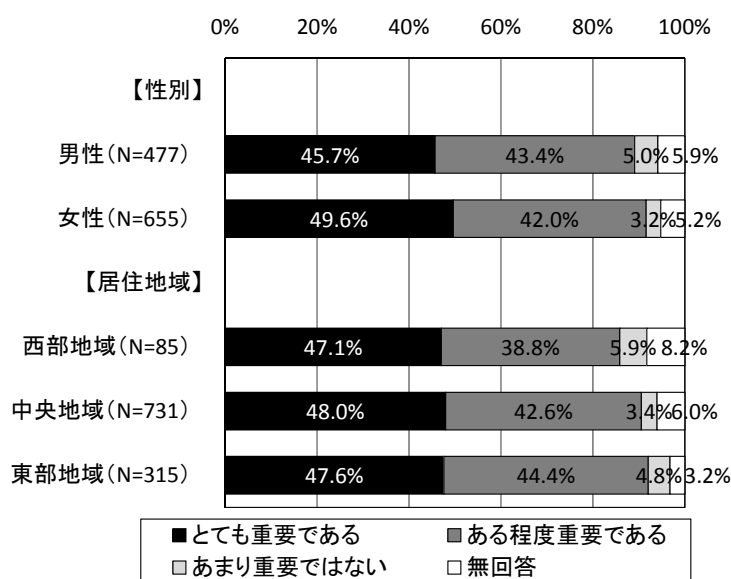
### 【自治会など地区団体の長や役員に女性を積極的に登用する】

女性より男性の方が、自治会など地区団体の長や役員に女性を積極的に登用することは「とても重要である」との回答が多くなっています。また、西武地区において、「とても重要である」という回答がやや多くなっています。



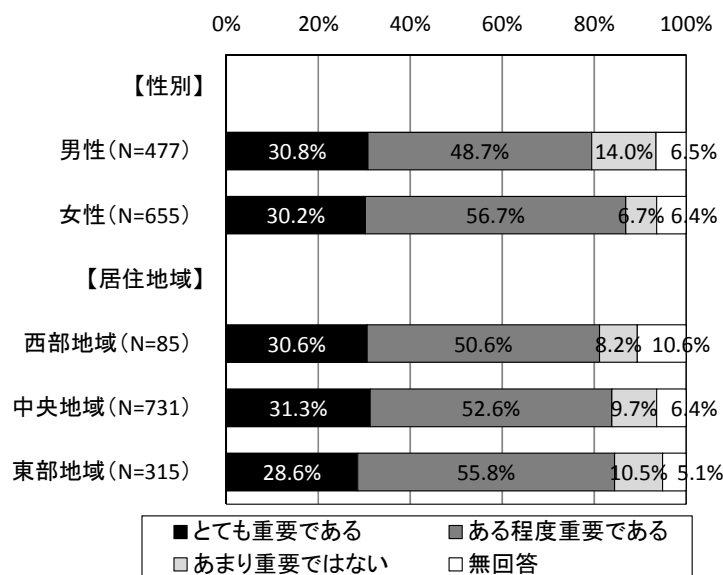
### 【家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かち合う】

性別、居住地域ともあまり差はありませんでした。



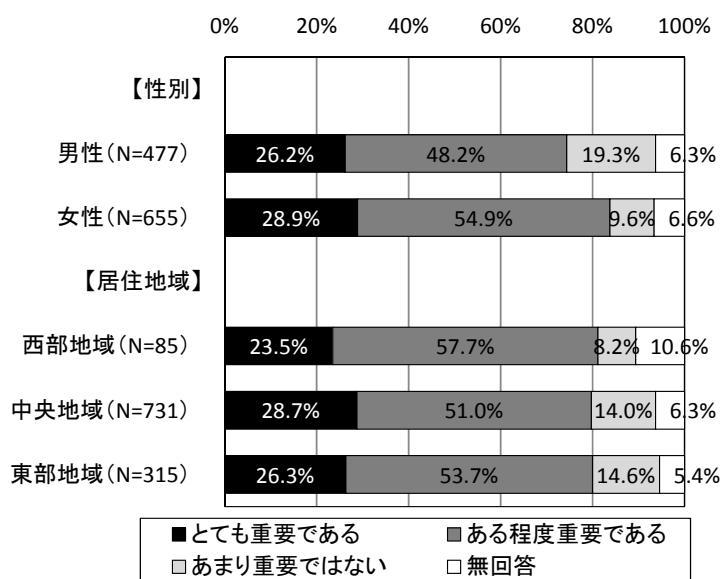
### 【女性の学習・研修の機会の充実】

男性より女性の方が、女性の学習・研修の機会の充実をすることは「ある程度重要である」との回答が多くなっています



### 【女性の起業に対する支援】

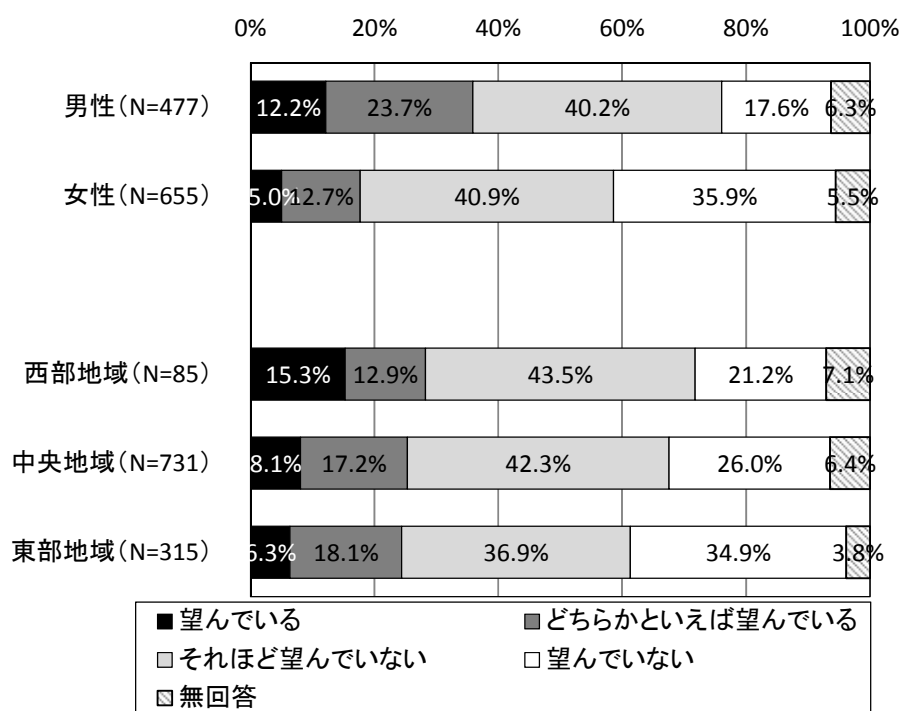
男性より女性の方が、女性の起業に対する支援することは「ある程度重要である」との回答が多くなっています



問 21 あなたは、方針・政策決定の場に女性が参画することについてどのように思いますか。女性のかたは自分自身が参画することについて、男性のかたは配偶者（または家族）が参画することについて回答してください。（回答は、それぞれ1つ）

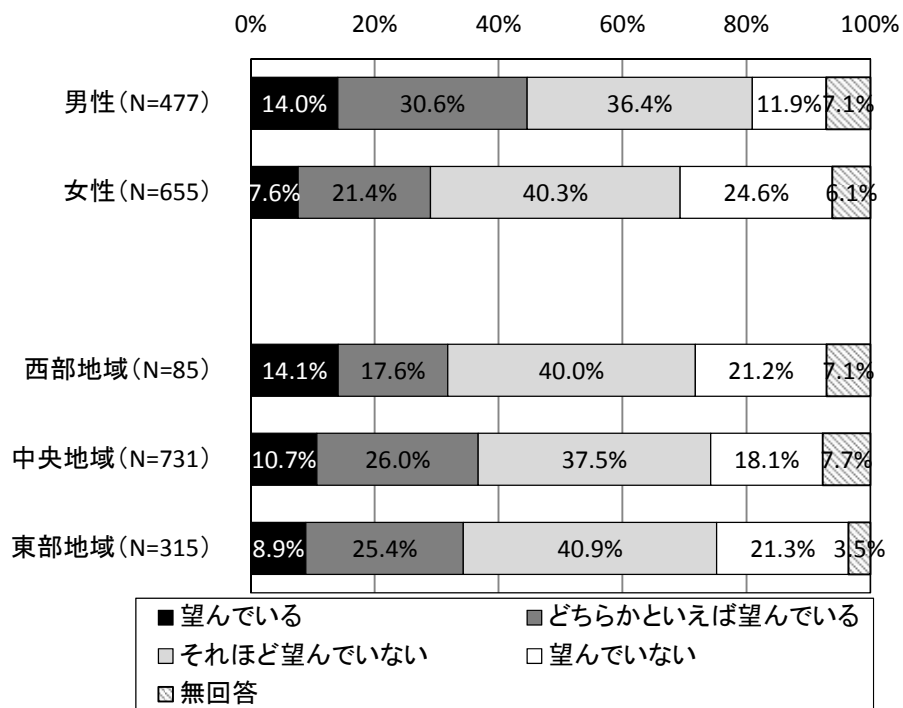
【自治会など地域団体の長や役員になること】

女性より男性の方が「（どちらかといえば）望んでいる」との回答が多くなっています。居住地区では、西部地域で「望んでいる」との回答が他の地域より多くなっています。



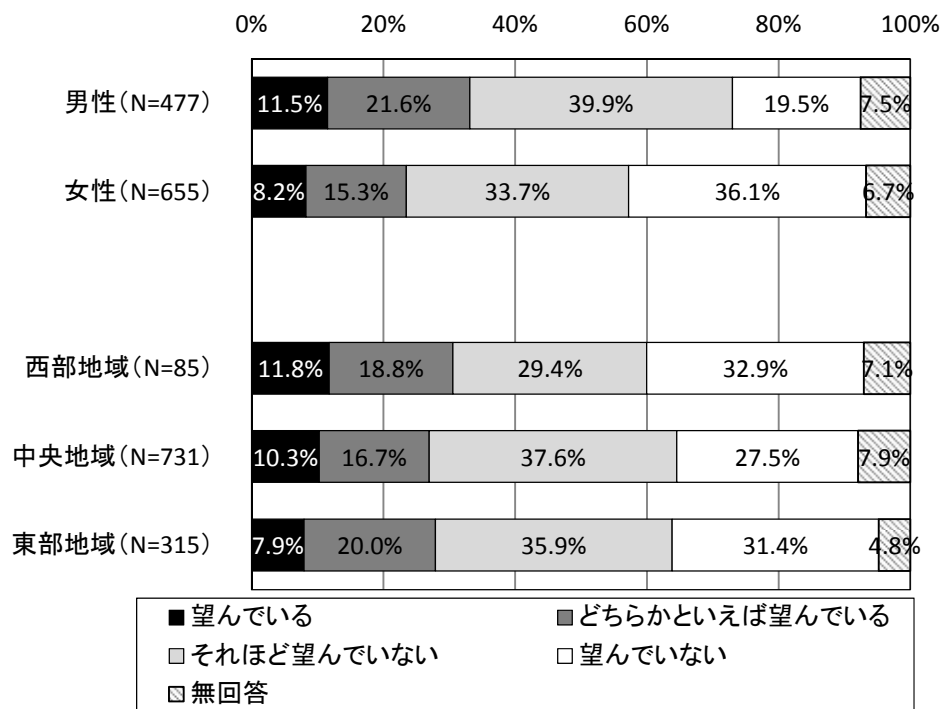
【職場において管理職・指導的立場に登用されること】

女性より男性の方が「(どちらかといえば) 望んでいる」との回答が多くなっています。居住地区では、西部地域で「望んでいる」との回答が他の地域より多くなっていますが、「どちらかといえば望んでいる」との回答が少なくなっています。



## 【起業すること】

女性より男性の方が「(どちらかといえば) 望んでいる」との回答が多くなっています。

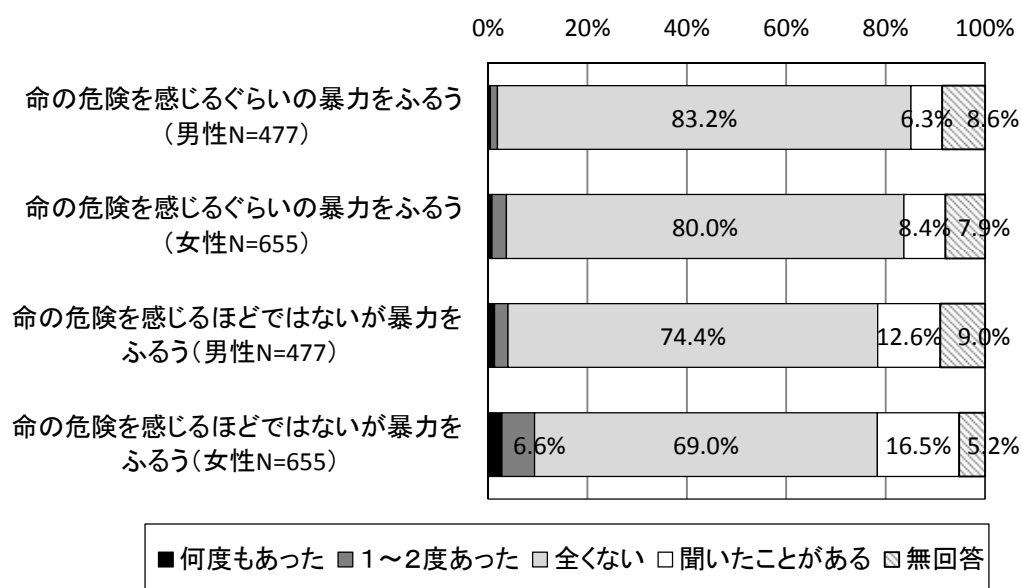


## 【5 配偶者などに対する暴力について】

問 26 あなたは、恋人、配偶者、パートナーから次のような行為をされたことがありますか。また、あなたの周りで聞いたことがありますか。(回答は、それぞれ1つ)

### 【身体的暴力】

「命の危険を感じるほどではないが暴力をふるう」で、男性より女性の方が「1～2度あった」との回答がわずかに多くなっています。

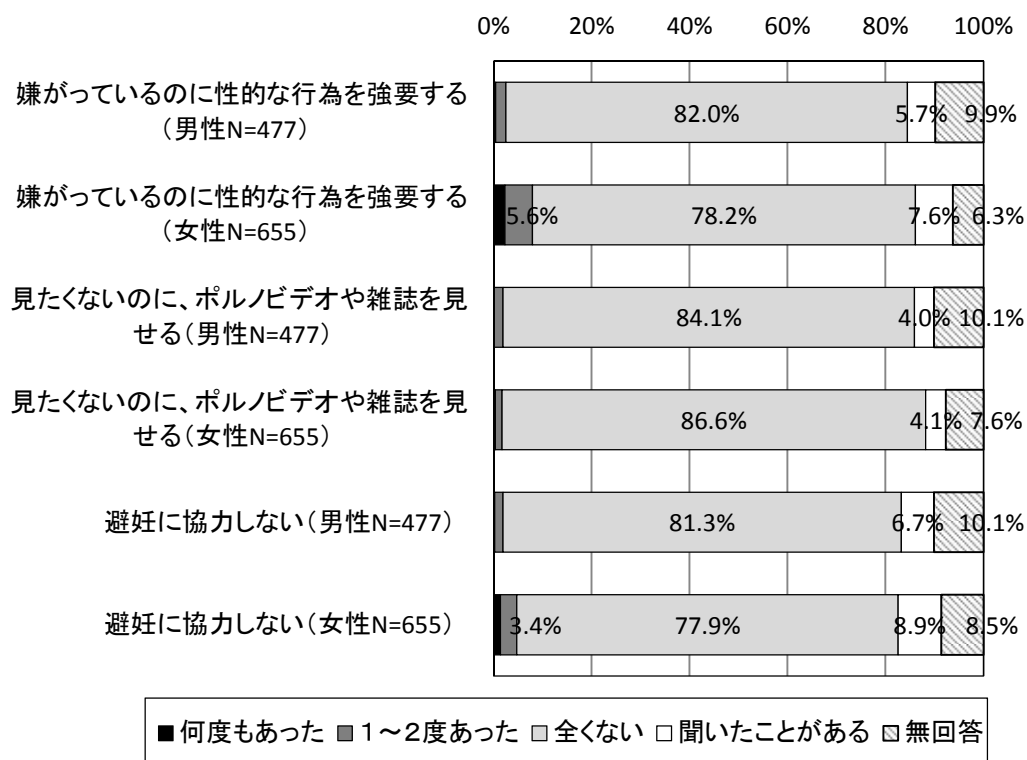




## 【性的暴力】

「嫌がっているのに性的な行為を強要する」で、男性より女性の方が「1～2度あった」との回答がわずかに多くなっています。

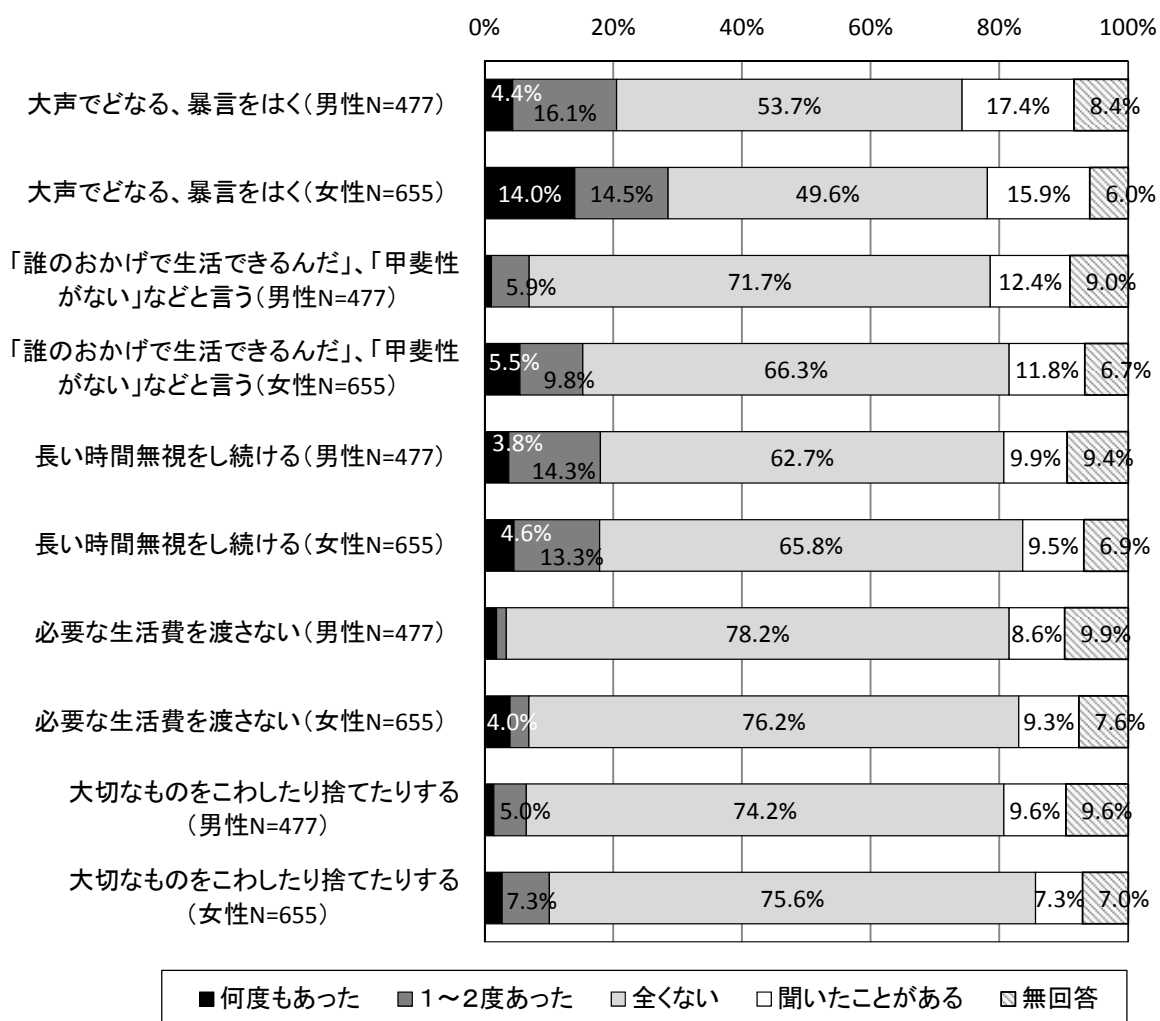
「避妊に協力しない」で、男性より女性の方が「1～2度あった」との回答がわずかに多くなっています。



## 【精神的暴力】

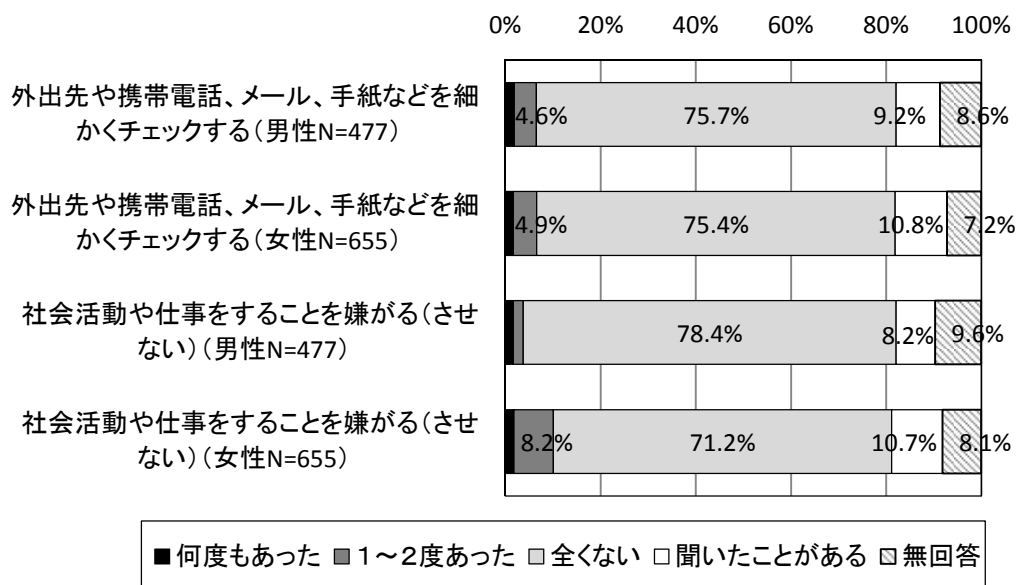
「大声でどなる、暴言をはく」で、男性より女性の方が「何度もあった」、「1～2度あった」との回答が多くなっています。

『誰のおかげで生活できるんだ』、『甲斐性がない』などと言う」で、男性より女性の方が「何度もあった」、「1～2度あった」との回答が多くなっています。



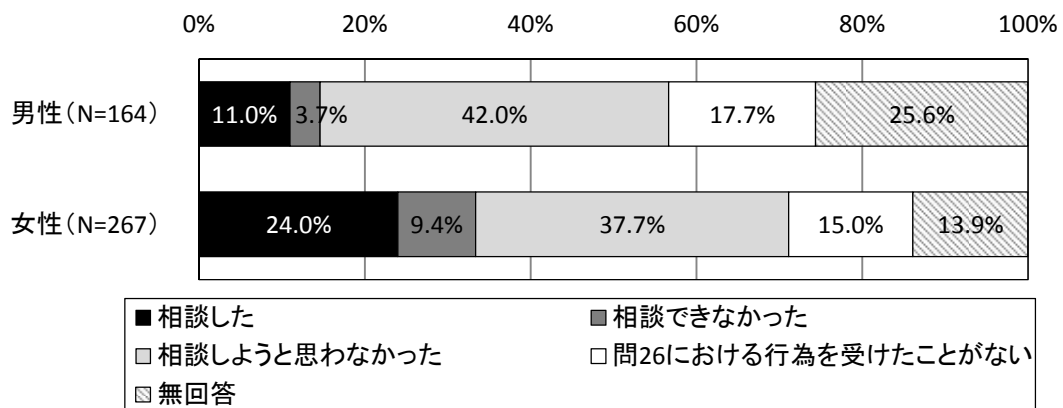
## 【干渉】

「社会活動や仕事をするのを嫌がる（させない）」で、男性より女性の方が「1～2度あった」との回答がわずかに多くなっています。



問 27 問 26 における行為を受けたとき、あなたは、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(回答は、1つ)

男性より女性の方が、「相談した」との回答が多くなっています。また、「相談できなかった」との回答も男性より女性の方が多くなっています。



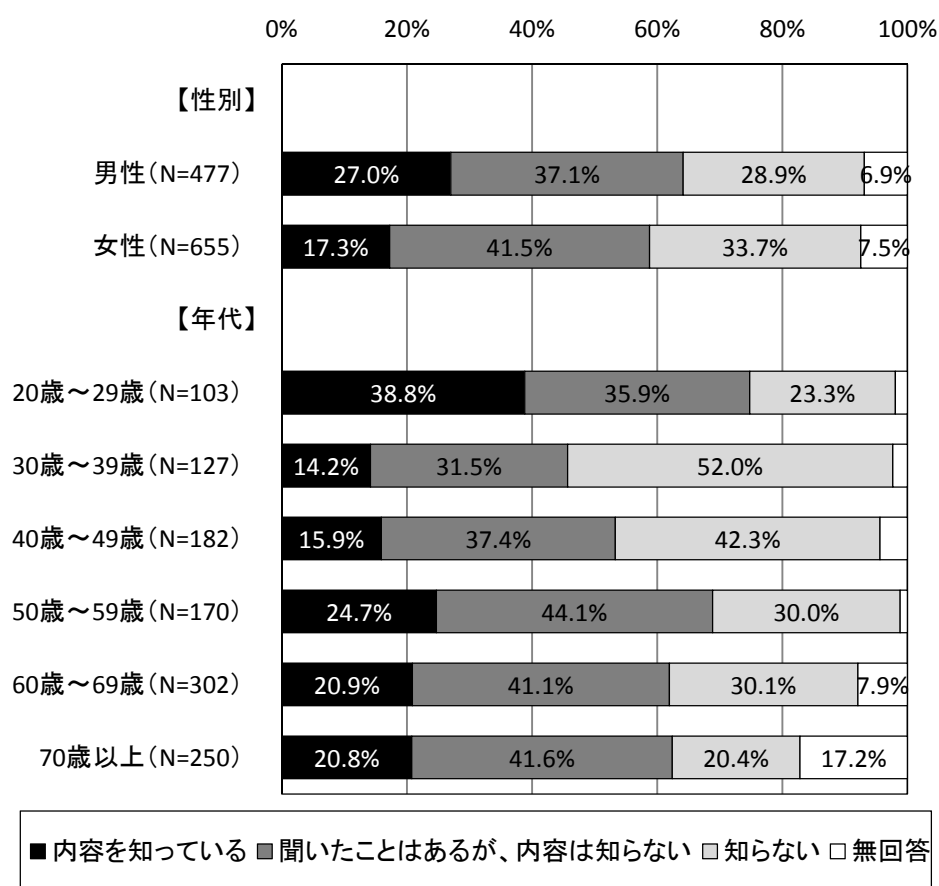
## 【6町の男女共同参画の推進に対する施策について】

問 28 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(回答は、それぞれ1つ)

【男女共同参画社会】

女性より男性の方が「内容を知っている」との回答が多くなっています。

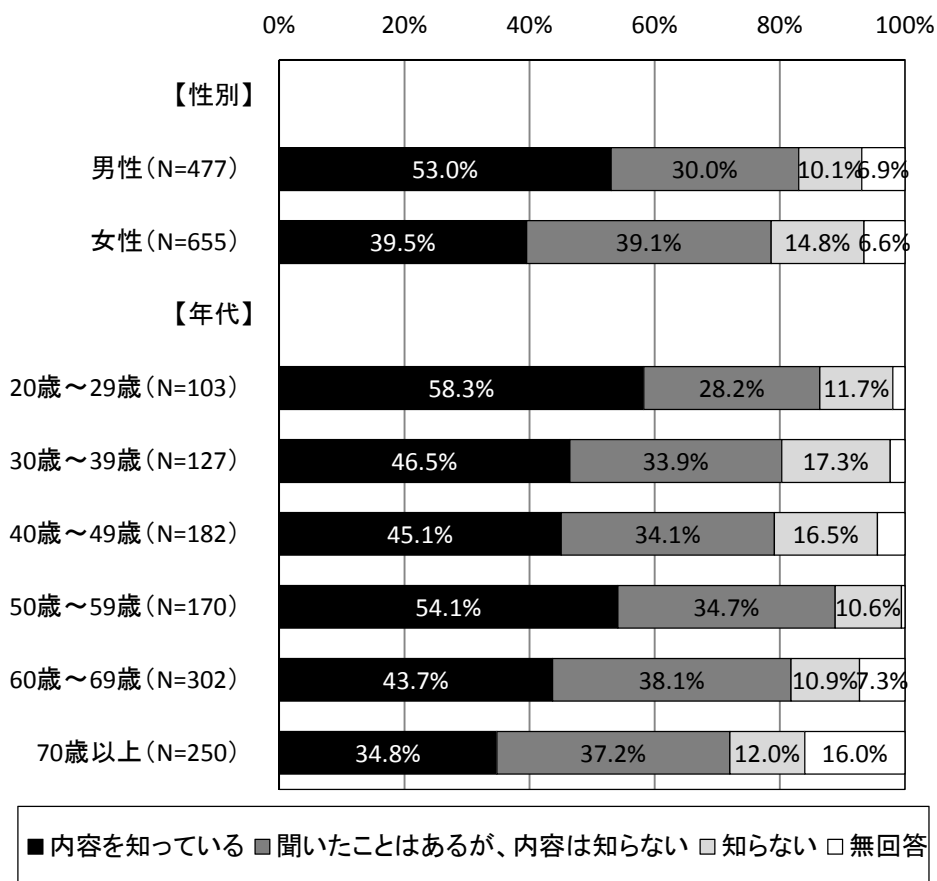
年代では、「20歳～29歳」で「内容を知っている」との回答が他の年代より多くなっています。



【男女雇用機会均等法】

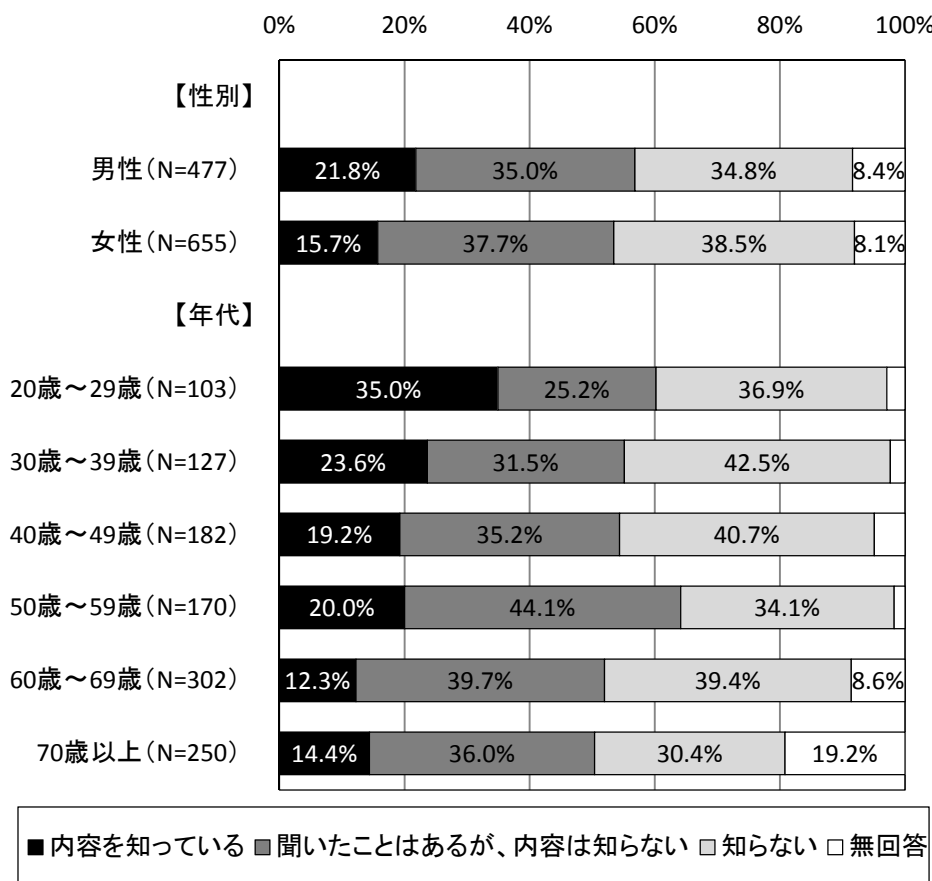
女性より男性の方が「内容を知っている」との回答が多くなっています。

年代では、「20歳～29歳」、「50歳～59歳」で「内容を知っている」との回答が他の年代より多くなっています。



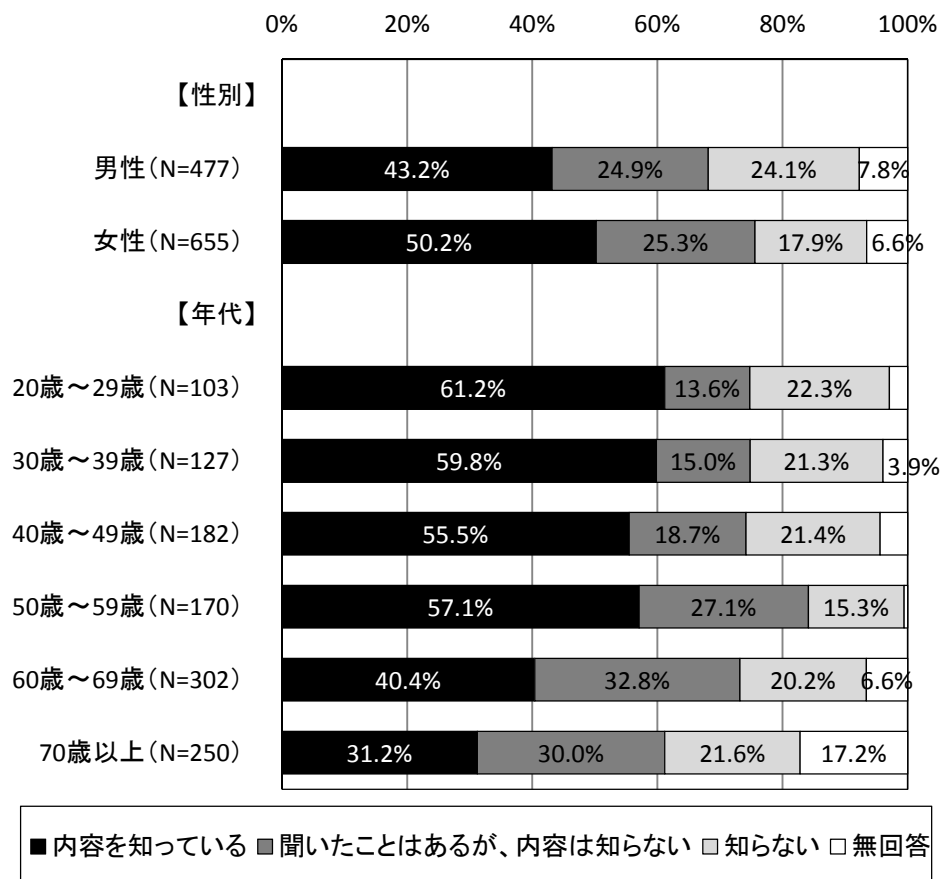
【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

女性より男性の方が「内容を知っている」との回答が多くなっています。  
 年代では、年齢が若くなるに従って「内容を知っている」との回答が多くなっています。



【ドメスティック・バイオレンス (DV)】

男性より女性の方が「内容を知っている」との回答が多くなっています。  
年代では、年齢が若くなるに従って「内容を知っている」との回答が多くなっています。

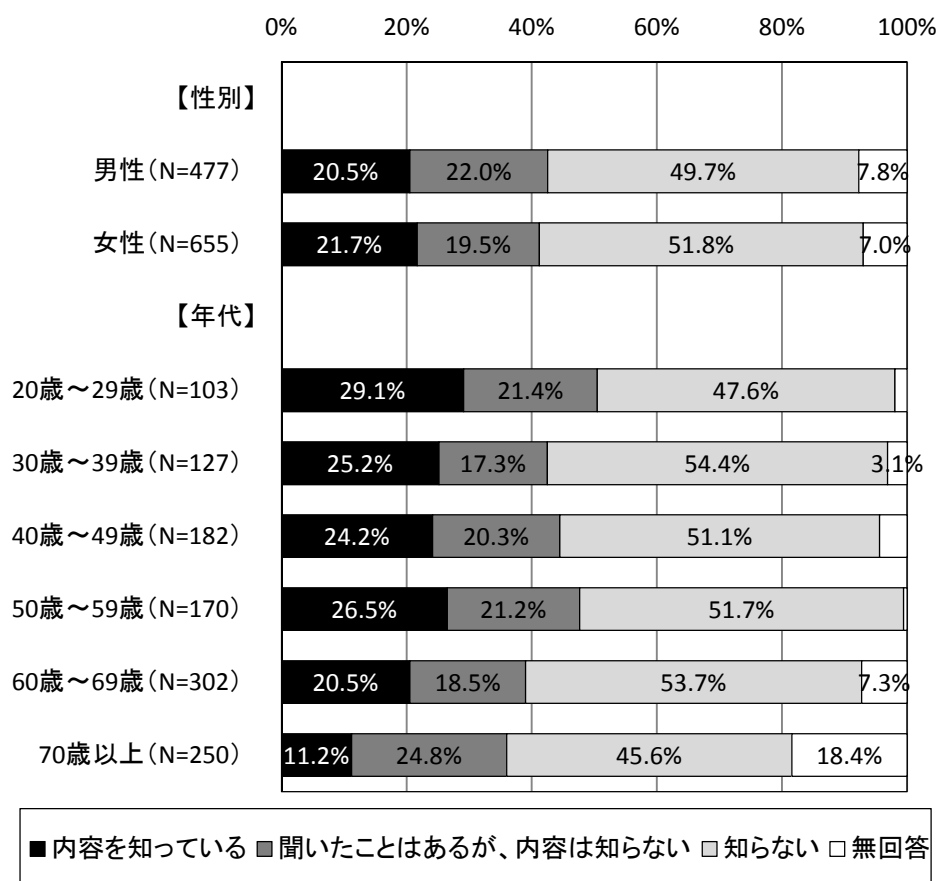




## 【デート DV】

性別ではあまり差はありませんでした。

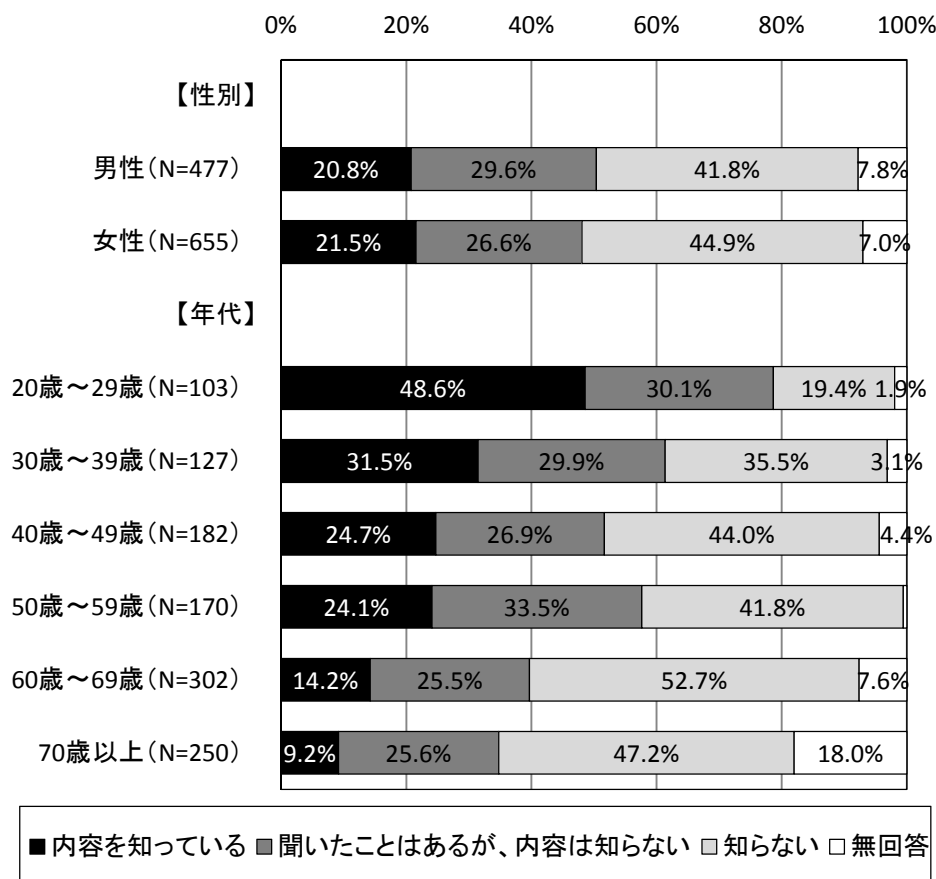
年代では、「20歳～29歳」で「内容を知っている」との回答が多く、59歳までは25%前後ですが、60歳を越えると「内容を知っている」との回答は少なくなっています。



## 【ジェンダー（社会的性別）】

性別ではあまり差はありませんでした。

年代では、年齢が若くなるに従って「内容を知っている」との回答が多くなっています。



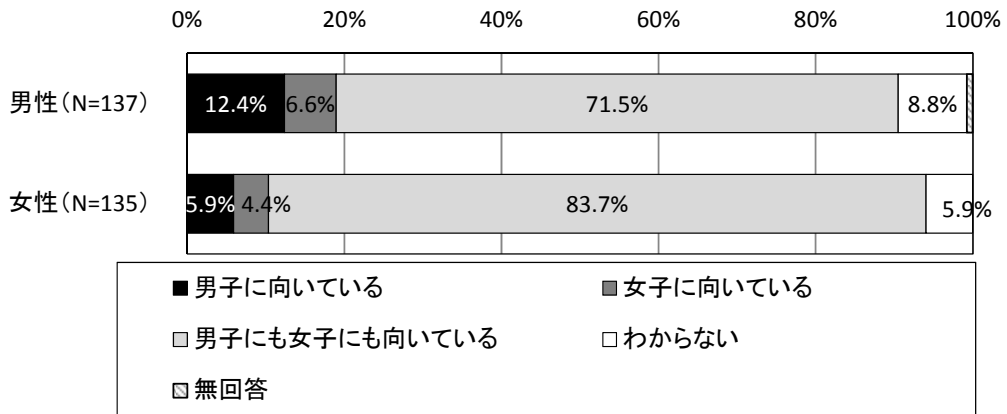
## 中学生アンケートクロス集計結果

---

**問2 次のことについてどう思いますか？（○はそれぞれ1つ）**

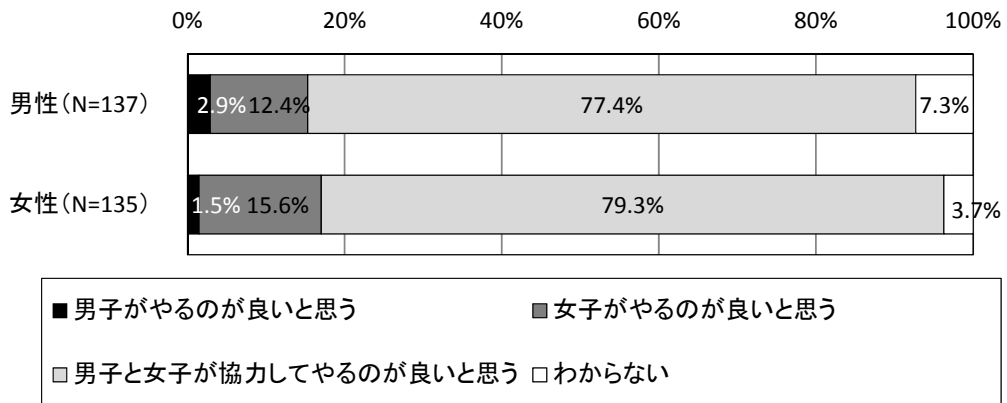
**④ 学級委員や生徒会長は、**

女性より男性の方が「男子に向いている」との回答が多くなっています。



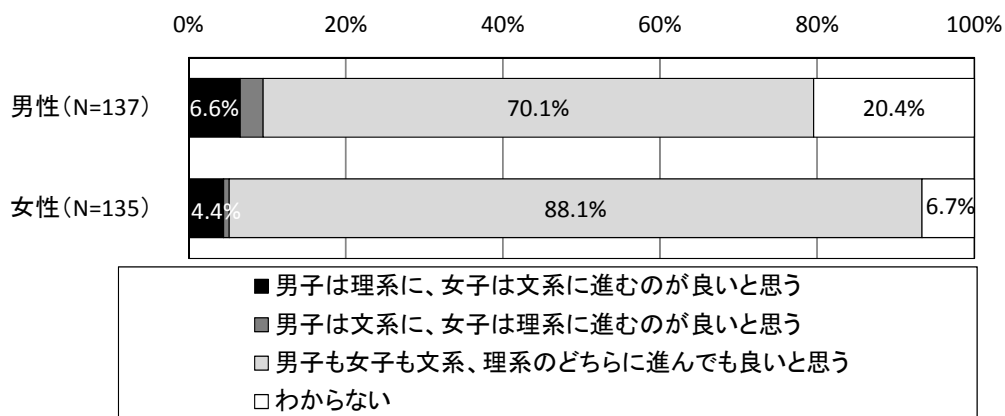
**⑤ 教室のそうじや整理整頓は、**

男性より女性の方が「女子がやるのが良いと思う」との回答がやや多くなっています。



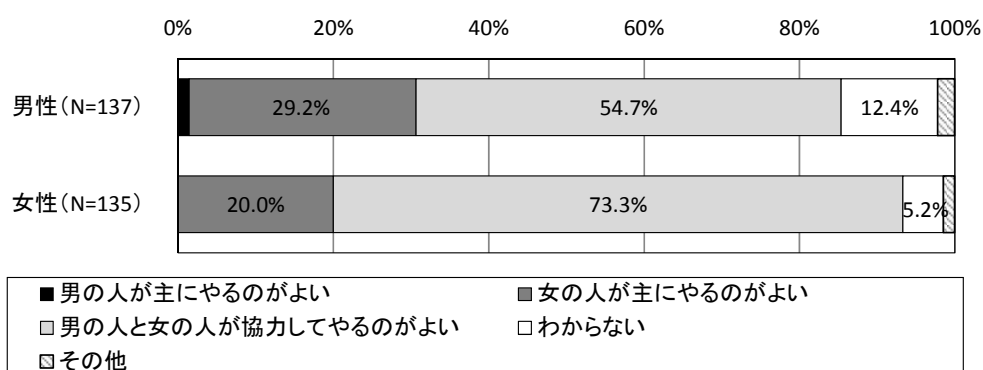
⑥ 進路を決めるとき、

男性より女性の方が「男子も女子も文系、理系のどちらに進んでも良いと思う」との回答が多くなっています。



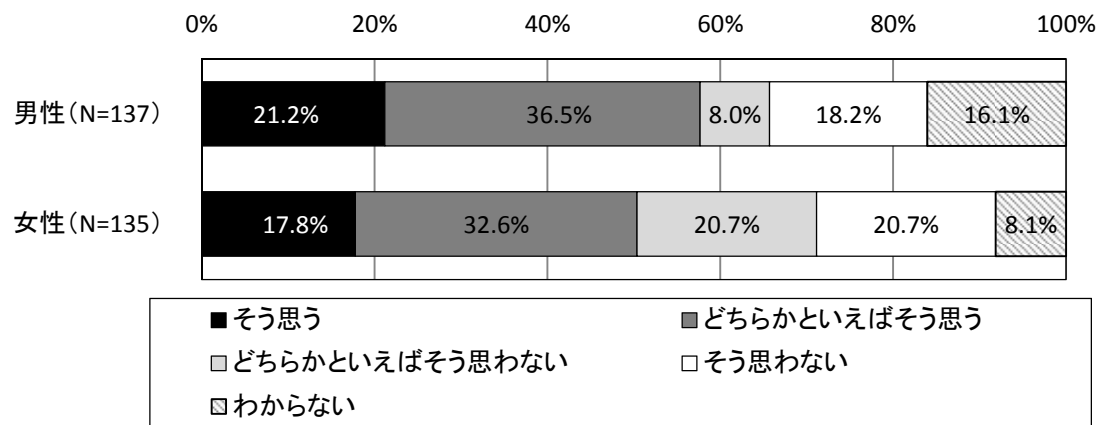
問3 あなたは家の中で、食事のしたくやそうじ、洗濯のような家事は、だれがやるのがよいと思いますか。(○は1つ)

男性より女性の方が「男の人と女の人が協力してやるのがよい」との回答が多くなっています。男性では、「女の人が主にやるのがよい」との回答が女性より多くなっています。



**問4 「男は仕事、女は家庭」という考えかたがありますが、この考え方についてどう思いますか。(○は1つ)**

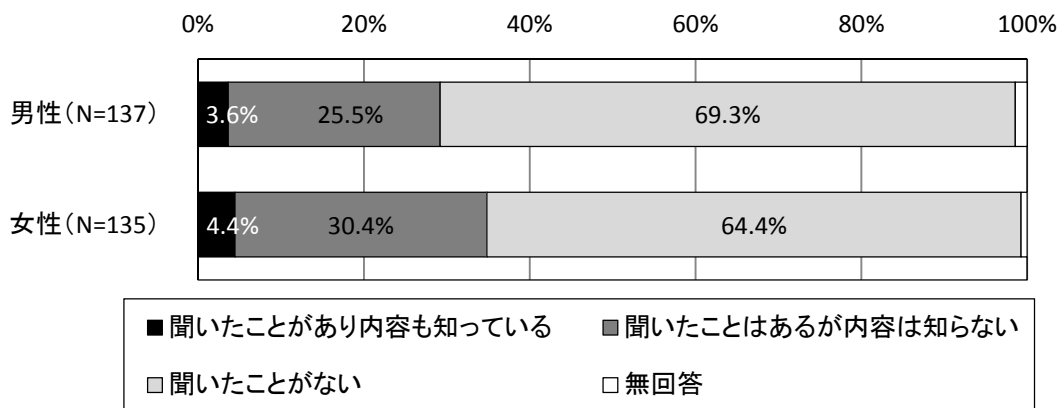
女性より男性の方が、「(どちらかといえば) そう思う」との回答が多くなっており、女性では、「(どちらかといえば) そう思わない」との回答が多くなっています。



**問6 あなたは次の言葉をきいたことがありますか？(○はそれぞれ1つ)**

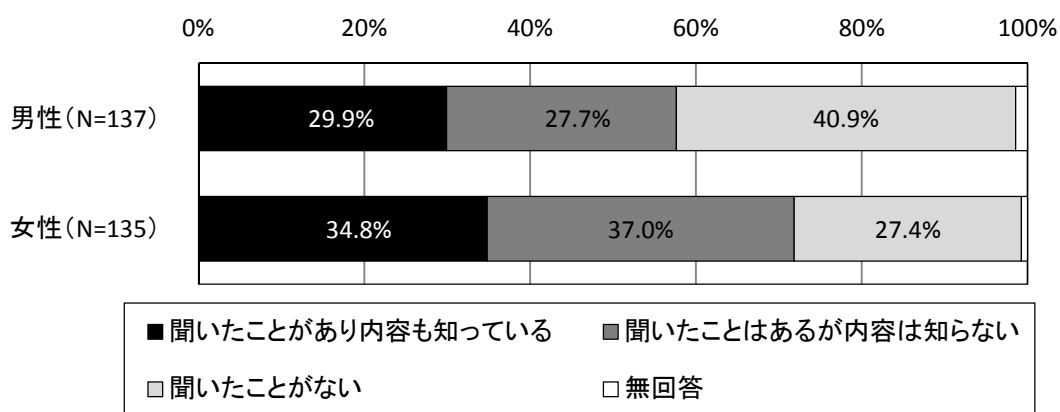
**④ 男女共同参画**

男性より女性の方が、「聞いたことはあるが内容は知らない」との回答がやや多くなっています。



### ⑤ DV（ドメスティック・バイオレンス）

男性より女性の方が、「聞いたことがあり内容も知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」との回答が多くなっています。



### ⑥ セクシャルハラスメント

男性より女性の方が、「聞いたことがあり内容も知っている」との回答が多くなっています。男性では、「聞いたことはあるが内容は知らない」との回答が多くなっています。

